

2016

がん対策の概況

公益財団法人 北海道対がん協会

目 次

I はじめに	1
II 管理部門	
1 普及啓発・受診勧奨	
1-1 普及啓発事業の目的	2
1-2 がん征圧運動	2
1-3 研修会、健康教育の実施	4
1-4 普及啓発資料の作成・配布、及び教育機材の貸し出し	7
1-5 北海道・市町村との連携	10
1-6 企業、地区組織、患者団体・ボランティア団体との連携	14
1-7 賛助会実績	17
1-8 受診勧奨	17
2 がん相談・患者会	
2-1 がん相談事業実績	18
2-2 小舟会（患者会）実績	19
3 精度管理体制	
3-1 精度管理体制	20
3-2 専門職の研鑽	20
3-3 施設認定	26
4 事後処理の流れ	27
5 事後管理の流れ	28
6 安全管理体制	29
7 検診車の保有状況	30
8 施設整備に対する助成金の受け入れ状況	31
9 委託事業	32
III 検診部門	
1 検診受診者数	33
2 各がん検診の成績	34
3 検診センターの精密検査成績	67
【参考資料】	
1 がん対策の背景	76
2 市町村が実施するがん検診における当協会の受託状況について	81
3 北海道対がん協会	83
3-1 概要	83
3-2 目的及び事業	84
3-3 検診センター及び細胞診センターの機能	85
3-4 機構図	87
3-5 役員等名簿	88
3-6 沿革概要	90
4 個人情報保護方針	93
5 検診センターにおける各種検診日	94
6 がん対策基金のご案内	95
7 がん征圧賛助会へのご入会案内	99

【利用上の注意】

『がん対策の概況2016』は、公益財団法人北海道対がん協会の平成28年度の事業を集録したものです。

なお、参考資料の一部で、年度が異なるものがあります。

Ⅱ 管理部門 … 平成28年度

Ⅲ 検診部門 … 平成28年度

【参考資料】

1 がん対策の背景 … 平成28年

2 市町村が実施する～ … 平成27年度

3～7 … 平成29年10月1日現在

また、Ⅲ 検診部門の 2 平成28年度一次検診の成績においては事後管理（要精検者への受診勧奨）を受託していない下記の団体について受診者数から除いています。（P 33の 1 平成28年度検診受診者数には含まれます。）

北海道教育庁 … 平成26～28年度

北海道職員 … 平成28年度

I は じ め に

北海道対がん協会はわが国で最初の対がん協会で、昭和4年（1929）に創設され、爾来80年余り、がん征圧を目指して普及、啓発、予防、早期発見、治療、研究につとめて参りました。日頃より当協会のがん検診、健康診査に深いご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

北海道におけるがんの年齢調整死亡率は、全国平均を大きく上回り、直近5年間では、いずれも全国上位に推移しています。一方で、がん検診の受診率は全国平均を下回っており、早急に包括的ながん対策が求められています。当協会としまして、道民の健康を守るという使命を遂行するために、がん検診の受診率をあげるよう日々努力しています。また、同時に精度の高い検診を実施し、より早期に、よりの確にがんを見つけられるよう努めることが重要な責務と考えています。

このたび、当協会の平成28年度の事業内容及び検診成績を集計、記録、解析した「2016がん対策の概況」を作成いたしましたので、本資料をご高覧の上、地域住民の皆様の保健予防や健康増進にお役立ていただければ幸甚でございます。

私達北海道対がん協会職員一同は、今後とも全力をあげて、検(健)診の改善、精度向上、受診率の向上、受診者の皆様の福祉の増進につとめ、道民のがん死亡を更に減少させる決意でおります。皆様の一層のご指導、ご支援を心よりお願い申し上げます。

平成30年2月

公益財団法人 北海道対がん協会

会長 長 瀬 清



Ⅱ 管理部門

1 普及啓発・受診勧奨

1-1 普及啓発事業の目的

公益財団法人北海道対がん協会では、広く道民にがんに関する正しい知識を普及し、併せてがん検診事業の推進を図ることを目的として、がん予防道民大会をはじめとした普及啓発事業に力をいれています。

また、最近では企業のCSR活動と連携し、新たな切り口で、がん早期発見のための検診の重要性を訴えています。

1-2 がん征圧運動

当協会本部である公益財団法人日本対がん協会は、日本医師会と共催で、9月を「がん征圧月間」と定め、全国でがん征圧運動を展開しています。

当協会では、上記のがん征圧月間運動に参加するとともに、北海道が9・10月に展開する「北海道がん征圧・がん検診受診促進月間」と連携し、行事を実施しています。

(1) 平成28年度がん征圧月間行事

開催日	開催場所	事業名	内容	参加者数等
9月初旬	道内医療機関、市町村、関係機関	がん征圧月間ポスターの配布	日本対がん協会からがん征圧月間ポスターを購入し、北海道医師会と連携して道内の関係機関へ配布	4,550枚
9／1(木)～30(金)	札幌市保健所・各区役所・保健センター、旭川市、釧路市ほか	がん征圧懸垂幕の掲示	がん早期発見の大切さを訴える懸垂幕・看板を、公的機関に掲示依頼	11機関
9／1(木)～30(金)	旭川市買物公園	がん検診の音声広告	「こちらは旭川がん検診センターです。9月はがん征圧月間です。がん検診はお済みですか?「だいじょうぶ」思い込まないで、がん検診を受けましょう。9月はがん征圧月間です。」	1日10回 1回15秒
9／16(金)	・大通三越前 ・北24条駅前	街頭PR (街頭ティッシュ配り)	札幌市北区健康をまもるつどいと連携し、街頭啓発を実施	2,200個
9／18(日)	釧路がん検診センター	日曜検診とがん予防普及パネル展	日曜検診(各種がん検診・特定健診)時にがん予防普及パネル展	延599名

9 / 24(土)	イオン旭川西ショッピングセンター	がん予防普及パネル展	がん予防普及パネル展	延130名
9 / 14(月)	朝日新聞	がん征圧月間特集	朝日新聞朝刊に2面に渡って特集記事を掲載	—
9 / 28(木)～ 30(金)	北海道庁1階道民ホール	がん予防普及パネル展	パネル・ポスター・パンフレットの配布、乳がん触知モデル体験など	延292名
10 / 14(金)	名寄市民文化センター	第48回がん予防道民大会 ・がん予防功労者表彰 ・特別講演 ・健康講話	・特別講演 「胃の検査について知ろう」 ・健康講話 「笑い与健康」	約650名

■第48回がん予防道民大会

がん予防道民大会は、がんに関する正しい知識の普及を目的として、「がん征圧・がん検診受診促進月間」の中心行事として、北海道、北海道健康づくり財団及び開催地の市町村との共催により、数多くの協賛・後援のもと毎年開催しています。

第48回となる今大会は、「若年層からのがん予防に対する正しい知識とがん検診の重要性についての普及啓発を図る」を開催テーマとし、10月14日（金）、名寄市民文化センター（EN-REYホール）で次のとおり開催し、全道から約650名が参加しました。又、健康教育の一環として地元高校生・大学生の参加もあり、盛会裡に終了しました。

10月14日（金） 13：00～16：00 名寄市民文化センター 約650名参加	【第48回がん予防道民大会】 大会の主な行事 ○がん予防功労者の表彰 受賞団体 滝川市・富良野市・白糠町 名寄市保健推進委員協議会 ○特別講演 「胃の検査について知ろう」 演者 （公財）北海道対がん協会 常務理事兼センター長 山口 由美子 ○健康講話 「笑い与健康」 演者 落語家 桂 枝光 氏
--	---



(2) リレー・フォー・ライフ・ジャパン2016 in 室蘭

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2016 とまこまい

8月27日（土）～28日（日）、「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2016 in 室蘭」にチームTAIGANとして36名で参加し、がん検診の啓発とタスキを繋ぎながら寄附を募りました。又、ヘリカルCT検診車を派遣して、チャリティー検診（低線量CT肺がん検診・内臓脂肪測定）を実施しました。

また、初めて開催された「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2016とまこまい」（7月30日（土）～31日（日））にも、ヘリカルCT検診車を派遣し、チャリティー検診を行いました。



(3) 禁煙運動への参加

北海道たばこ対策連絡協議会に所属し、5月31日の世界禁煙デーの啓発と、禁煙パレードを中心とする諸行事に参加協力しています。

1-3 研修会、健康教育の実施

企業、学校、関係団体等からの依頼に応じて、随時講師を派遣し、健康教育を実施しています。

開催日	主 催	研修会名	内 容	従 事 者	参加者数
4/26	岩内町	岩内町がん予防講演会	「がん予防のためにできること」	(札幌) 企画課 植村 絵美	23名
5/15	北海道薬剤師会	北海道薬剤師会薬学大会	「(公財) 北海道対がん協会の事業について」	(札幌) 企画課 植村 絵美	70名
5/24	北海道建設国民健康保険組合	北海道建設国民健康保険組合保健推進員研修会	「がんを早期発見するために～今、できること」	(札幌) 企画課 植村 絵美	62名
5/26	難治性がん啓発キャンペーン実行委員会	難治性がんキャンペーン2016「がんと共に生きること」	「子宮頸がんについて」	細胞診センター 所長 藤田 博正	30名
6/4	森町	森町平成28年度健康講演会	「がんを知る～がん征圧を目指して」	会長 長瀬 清	100名
7/2	北海道家族の健康を守る地域団体連合会 北海道食生活改善推進員協議会 北海道結核予防会 北海道対がん協会	第49回北海道家族の健康をまもる講習会	「内科のがん」 「ロコモ予防体操」	(釧路) 所長 松浦 邦彦 (札幌) 臨床検査部 市川 浩巳	67名

7 / 24	北海道薬剤師会	北海道薬剤師会健康サポート のための多職種連携研修会	「(公財) 北海道対がん協会の 事業について」	(札幌) 企画課 植村 絵美	31名
7 / 29	北電工業株式会社	北電工業株式会社 安全衛生大会	「健康講演」	(釧路) 所長 松浦 邦彦	60名
8 / 4	北海道岩見沢緑陵 高等学校	北海道岩見沢緑陵高等学校	「がんを早期発見するために ～今、できること」	(札幌) 企画課 植村 絵美	5名
8 / 17	りらいあコミュニケー ションズ株式会社 北海道支社	りらいあコミュニケーション ズ株式会社北海道支社講習会	「乳がん講習会」(6回)	(札幌) 企画課 植村 絵美 検診第2課 吉川 泰代 検診第2課 張山 朋恵	48名
8 / 18	札幌市医師会	札幌医師会マンモグラフィ技 術講習会	「マンモグラフィの精度管理」	(札幌) 放射線科 黒炭 邦夫	60名
8 / 25	りらいあコミュニケー ションズ株式会社 北海道支社	りらいあコミュニケーション ズ株式会社北海道支社講習会	「乳がん講習会」(3回)	(札幌) 企画課 植村 絵美 検診第2課 瀧澤 莉代	32名
8 / 27	函館放射線技師会	函館放射線技師会春季学術講 演会	「デジタルマンモグラフィの運 用と品質管理」	(札幌) 放射線科 黒炭 邦夫	60名
8 / 28	北海道薬剤師会	北海道薬剤師会健康サポート のための多職種連携研修会	「(公財) 北海道対がん協会の 事業について」	(札幌) 検診第2課 周東 百合子	95名
8 / 28	北海道薬剤師会	北海道薬剤師会健康サポート のための多職種連携研修会	「医療・保健・介護・福祉の資 源と役割の現状」	(釧路) 検診課 若松 邦子	48名
9 / 1	宗谷地域・職域連携推進 連絡会	宗谷地域・職域連携推進連絡 会	「北海道におけるがん検診の現 状と課題について」	専務理事 白川 賢一	22名
9 / 4	北海道薬剤師会	北海道薬剤師会健康サポート のための多職種連携研修会	「(公財) 北海道対がん協会の 事業について」	(札幌) 企画課 植村 絵美	95名
9 / 5	札幌放射線技師会	札幌放射線技師会学術研修会	「乳癌スクリーニングの現状と これから～MMG とUSの総合 判定を中心に～」	(札幌) 放射線科 黒炭 邦夫	50名
9 / 6	日本生命	日本生命 乳がん・子宮がんセミナー	「乳がん・子宮がんセミナー～ 現状と早期発見のための具体的 行動～」	(札幌) 企画課 植村 絵美	180名
9 / 15	岩見沢ヤクルト販売株式 会社	岩見沢ヤクルト販売株式会社 職員向け研修	「乳がん講習会」	(札幌) 企画課 植村 絵美	36名

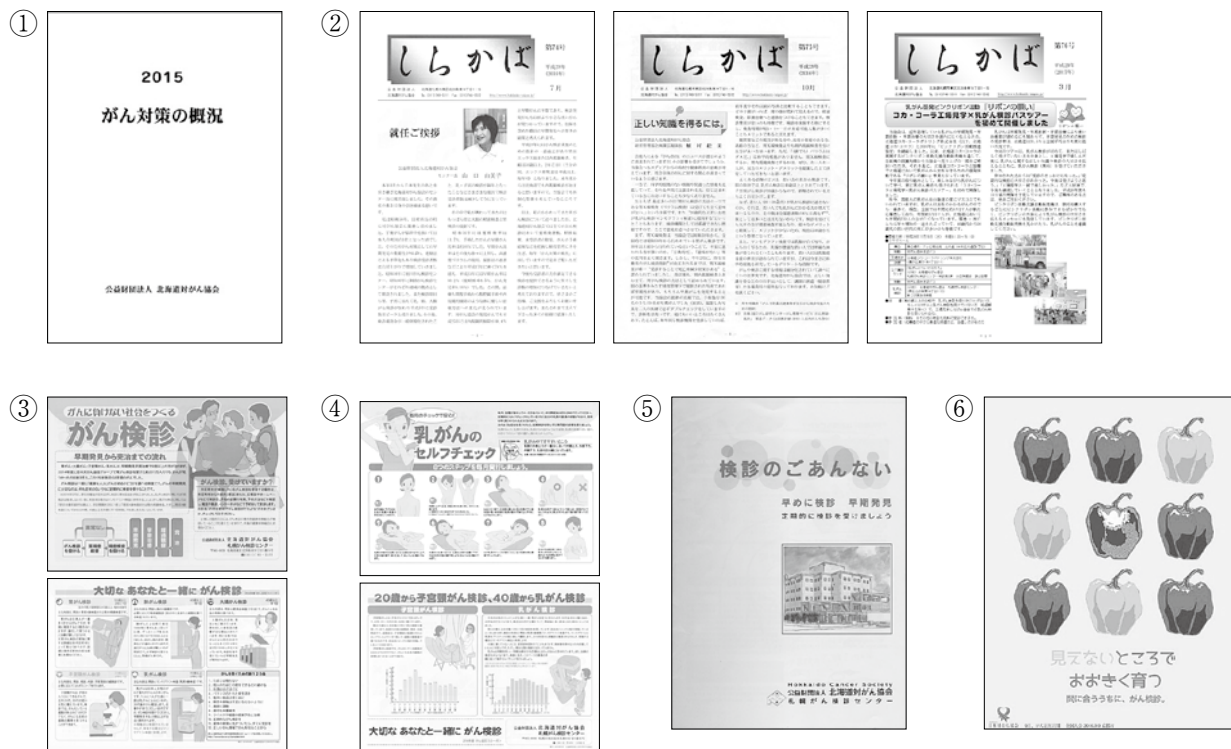
9/24	札幌放射線技師会	札幌放射線技師会マンモグラフィ技術講習会	「マンモグラフィの基礎」	(札幌) 放射線科 黒炭 邦夫	50名
10/1	新ひだか町	第19回新ひだか町総合ケアセンター健康まつり	「がん予防のためにできること」 「食事のバランスについて」	(札幌) 検診第2課 縣 有 検診第2課 浅川 聡子	30名
10/14	市町村職員共済組合	市町村職員共済組合研修会 平成28年度レディース健康セミナー	「乳がんと子宮がんについて」	(札幌) 企画課 植村 絵美	31名
10/20	日本生命	日本生命 乳がん・子宮がんセミナー	「乳がん・子宮がんセミナー～ 現状と早期発見のための具体的 行動～」	(札幌) 検診第2課 張山 朋恵	56名
10/26	市町村職員共済組合	市町村職員共済組合研修会 平成28年度レディース健康セミナー	「乳がんと子宮がんについて」	(札幌) 企画課 植村 絵美	18名
10/21	北区健康をまもる つどい	あなたに役立つがんのお話	「あなたに役立つがんのお話」	(札幌) 企画課 熊林 弘美	43名
10/30	北海道薬剤師会	北海道薬剤師会健康サポート のための多職種連携研修会	「(公財)北海道対がん協会の 事業について」	(旭川) 検診第2課 新関 おりえ	75名
11/5	北海道放射線技師会 札幌放射線技師会	市民公開講座	「画像診断によるがん検診の最 前線 ～乳がん検診～」	(札幌) 放射線科 黒炭 邦夫	40名
11/8	北海道静内高等学校	北海道静内高等学校	「がんと検診について」	(札幌) 企画課 植村 絵美	21名
12/14	旭川市シニア大学	旭川市シニア大学・大学院講 座	「がん検診のすすめ」	(旭川) 検診第2課 坂田 裕美	44名
12/21	釧路ロータリークラブ	釧路ロータリークラブ講演会	「健康講演」	(釧路) 所長 松浦 邦彦	60名
1/22	北海道薬剤師会	北海道薬剤師会健康サポート のための多職種連携研修会	「(公財)北海道対がん協会の 事業について」	(札幌) 企画課 植村 絵美	50名
2/21	西区保健センター	西区 ママのための健康講座	「乳がんと子宮がんについて」	(札幌) 企画課 植村 絵美	27名
2/22	釧路湿原シニア大学院	釧路湿原シニア大学院	「高齢者の『がん』・高齢者の 健康管理」	(釧路) 所長 松浦 邦彦	51名
3/8	栄東連合町内会	栄東連合町内会女性部健康教 室 (健康ウォーク歩こう運動会 員)	「がんを知る～がん征圧を目指 して」	会長 長瀬 清	24名

3/18	北海道薬剤師会	北海道薬剤師会健康サポートのための多職種連携研修会	「医療・保健・介護・福祉の資源と役割の現状」	(釧路) 検診課 若松 邦子	40名
3/24	札幌市	札幌市がん対策推進プランキックオフイベント	「子宮頸がん・乳がんミニ講話」	(札幌) 企画課 熊林 弘美	20名
3/27	歌志内市	平成28年度 第2回健康づくり推進委員研修会	「がんを知る～がん征圧を目指して」	会長 長瀬 清	26名

1-4 普及啓発資料の作成・配布、及び教育機材の貸し出し

(1) 普及啓発資料の作成・購入

	資料名	部数
①	2015がん対策の概況	800冊
②	機関紙「しらかば」 年3回発行	各2,300部
③	がんに負けない社会をつくる（日本対がん協会作成リーフレット）	4,000枚
④	乳がんのセルフチェック（日本対がん協会作成リーフレット）	6,000枚
⑤	検診のごあんない	3,000部
⑥	がん征圧月間ポスター（日本対がん協会作成ポスター）	4,550枚



(2) 教育機材の貸し出し

乳がんのしこりを体験できる「乳がん触知モデル（精密型）」のほか、乳房疾患模型、肺がん模型、喫煙タール模型、腸疾患模型などの各種疾患模型や、がん予防普及パネルなどの教育機材を無償で貸出しております。

平成28年度はピンクリボン活動団体や各市町村に貸出し、イベントや検（健）診時に活用していただきました。

市町村や企業、関係団体で行う健康イベント、研修会等で活用をご希望の際は、お問い合わせください。（担当：経営管理部企画課）

品 名	模 型 説 明	
乳がん触知モデル （精密型）	人体に近似した素材ですので、乳房自己診断技術の習得・実践に理想的なものになっています。片方の乳房には、一般的に乳がんの発生しやすい部分にいくつかのしこりを設けています。もう片方の乳房は比較しやすいよう正常なものにしてあります。 サイズ：37×24×17cm	
乳房疾患模型	断面にカットされた模型により、一般的な乳房疾患（腺癌、のう胞、線維線種）や、乳房の組織構造も学ぶことができます。 サイズ：16.5×11×7.5cm	
肺がん模型	健康な肺と、肺気腫・癌に侵された肺を比較しながら、色や形だけでなく、ポンプで空気を送り、膨らみ方の違いも比較することができます。 サイズ：55×43×30cm	 
喫煙タール模型	1日10本のたばこを吸う喫煙者の肺が、1年間の間に肺に取り込む発がん性物質、タール液がボトルに密封されています。 サイズ：9×9×13.5cm	
腸疾患模型	結腸と直腸の疾患（憩室、ポリープ、痔核、慢性炎症性疾患）と、がんは様々なステージや良性、悪性の変化を見ることができます。 サイズ：18.0×21.0×27cm	

(3) 普及啓発資材の作成・配布

がん検診の受診率向上を目的に、啓発用ステッカーを作成し、各がん検診センターほか北海道薬剤師会の協力を得て、北海道がん対策基金の周知用ステッカーとともに道内薬局に貼付していただきました。

また、札幌がん検診センターにおいて、受診を呼びかける普及啓発ポケットティッシュを作成し、街頭にて配布しました。市町村や地区組織にも提供し、啓発活動に役立てていただきました。

配布状況はP15 (2)地区組織との連携【街頭啓発】を参照してください。



がん検診啓発ステッカー



北海道がん対策基金ステッカー



普及啓発ポケットティッシュ

1-5 北海道・市町村との連携

(1) がん対策推進会議の実施

次年度の事業計画を円滑に推進するため、北海道と共催で、保健所・市町村・事業所関係者を対象に、次のとおり開催し、50団体から52名の参加が得られました。

10月28日（金） 13：00～15：30 ホテルポールスター 札幌	【がん対策推進会議】 ○ 報告事項 1 北海道からの報告 ・北海道のがん検診について 2 北海道対がん協会からの報告 ・平成29年度検診の実施計画について ・胃部エックス線検査の有効性について ・乳がん検診における視触診の現況について ・当協会の精度管理指標について ○ 講演 「北海道から肺がんの死亡をなくすために」 KKR札幌医療センター 病院長 磯部 宏 氏
--	--

(2) 各がん検診センター所在市町村とのがん検診打合せ会議

がん検診を円滑かつ効率的に実施するため、各センターが所在する札幌市、旭川市、釧路市と打ち合わせ会議を開催し、協議しました。

(3) 健康に関するイベントへの出席

自治体等が実施する健康に関するイベントへ出席し、がんに関する普及啓発を実施しました。

開催日	大会名	開催地	参加人数	内 容
4／20	～出張！あなたの街でけんしん &健康チェック会～ まちけん	定山溪 ビューホテル	121名	胃がん検診19名、大腸がん検診25名、 パネル展、乳がん触知モデル体験、 パンフ配布
6／4	旭川市健康まつり	旭川市	120名	骨検診、パネル展、乳がん触知モデル 体験、パンフ配布
6／12	いわみざわ健康まつり	岩見沢市	600名	パネル展、乳がん触知モデル体験、 パンフ配布
7／30	さとらんどアイスフェスタ	さとらんど 交流館	116名	パネル展、乳がん触知モデル体験、 疾患モデル展示、パンフ配布
9／3	手稲区健康っていいねフェア	手稲区民 センター	98名	胃がん検診48名、大腸がん検診56名、 パネル展、乳がん触知モデル体験、 疾患モデル展示、パンフ配布
9／4	帯広健康まつり	帯広市	1,200名	胃・肺・大腸がん検診、パネル展、 パンフ配布
9／4	釧路町健康福祉フェスティバル いきいきふれあいフェスタ 2016	釧路町	632名	骨検診、パンフ配布
9／10	清田区健康&介護予防フェア	清田区役所	150名	パネル展、乳がん触知モデル体験、 疾患モデル展示、パンフ配布

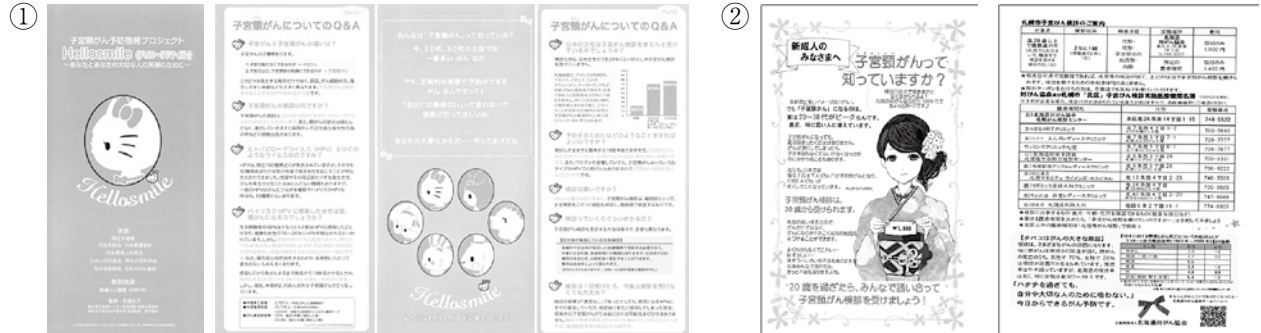
9／13	あつべつ健康・福祉フェスタ (プレフェスタ)	サンピアザ 光の広場	250名	パネル展、乳がん触知モデル体験、 パンフ配布
9／29	みんなでみに区る健康まつり	南区民 センター	120名	パネル展、乳がん触知モデル体験、 疾患モデル展示、パンフ配布
10／1	あつべつ健康・福祉フェスタ	厚別区民 センター	180名	パネル展、乳がん触知モデル体験、 疾患モデル展示、パンフ配布
10／2	東区北栄地区健康まつり	北27条会館	69名	乳がん触知モデル体験、パンフ配布
10／8	けんこうフェスタ2016inちゅう おう	中央区民 センター	60名	パネル展、乳がん触知モデル体験、 疾患モデル展示、パンフ配布
10／15	東区中沼小学校 わいわいフェスタ	中沼小学校 体育館	56名	乳がん触知モデル体験、疾患モデル 展示、パンフ配布
10／16	日高町健康まつり	日高町 保健センター	20名	乳がん触知モデル体験、疾患モデル 展示、パンフ配布
10／26	札幌市 がん検診受診促進キャンペーン	札幌駅前通 地下広場	250名	パネル展、乳がん触知モデル体験、 疾患モデル展示、パンフ配布
10／16	くしろ健康祭り2016	釧路市	489名	胃・肺・大腸がん検診、ヘリカルCT 検診、パネル展、乳がん触知モデル 体験、パンフ配布
1／21	白石すこやかフェスタ2016	白石区民 センター	156名	パネル展、乳がん触知モデル体験、 疾患モデル展示、パンフ配布、がん に関するDVDの放映
3／23	札幌市がん対策推進プラン キックオフイベント	札幌グランド ホテル	50名	ミニ講話、パネル展、乳がん触知モ デル体験、パンフ・啓発ポケット ティッシュ配布



(4) 成人の日式典における普及啓発（札幌市東区・北区）

平成29年1月9日（月）つどいむで行われた東区成人の日式典にて、新成人に20歳からの検診を呼びかけるため、子宮頸がんに関する手作りの資料①「子宮頸がん予防啓発プロジェクトHello Smile」、②「新成人のみなさまへ」、「Hello smileあなたの相談窓口カード」と「Hello kittyばんそうこう」を234セット配布しました。

北区成人の日式典（ニトリ文化ホール開催）では、50セット配置しました。



(5) がん予防学級の開催

昭和46年より、がんに関する正しい知識の普及を目的として、開催地の市町村の共催や協力を得て、がん予防学級を開催しています。

平成28年度は札幌・旭川・帯広・釧路で延198名の参加を得ました。

札幌	平成28年12月3日(土) 札幌がん検診センター 4階会議室 21名参加	第1講 「指針改定に伴う乳がん検診」 (公財) 北海道対がん協会札幌がん検診センター放射線技術部 放射線科長 黒蔵 邦夫 第2講 「大腸がんを経験して」 キャンサーサポート北海道 がんの語り手 井上 美智代 氏 第3講 「がんにかかわるお金のお話」 アフラック (アメリカンファミリー生命保険会社) 札幌総合支社 次長 桜井 順治 氏
旭川 ※	平成28年10月3日(月) イオンモール旭川駅前 4階イオンホール 84名参加	第1講 「がんを知るーがん征圧を目指して」 (公財) 北海道対がん協会 会長 長瀬 清 第2講 「歌とピアノにのせてー子宮頸がんを知ってください」 ピアノボーカル あまの ともみ 氏
釧路	平成28年9月30日(金) 釧路がん検診センター 46名参加	第1講 「子宮がん最新情報」 (公財) 北海道対がん協会細胞診センター 所長 藤田 博正 第2講 「乳がん最新情報」 釧路ろうさい病院 副院長 小笠原 和宏 氏 第3講 「がん検診最新情報」 (公財) 北海道対がん協会釧路がん検診センター 所長 松浦 邦彦
帯広 ※2	平成28年11月30日(水) 帯広市保健福祉センター 3階視聴覚室 47名参加	第1講 「子宮がんについて」 (公財) 北海道対がん協会細胞診センター 所長 藤田 博正 第2講 「乳がんについて」 帯広協会病院 院長 阿部 厚憲 氏 第3講 「内科のがん」 (公財) 北海道対がん協会釧路がん検診センター 所長 松浦 邦彦

※ 旭川がん予防学級については、このほかに「旭川市がん予防教室」を開催しているため、共催とはしていません。

※2 帯広がん予防学級については、市外の方にも参加していただくため、帯広市と共催ではなく後援としています。



(6) 北海道がん対策基金

「がんに負けない社会」の実現を目的として、平成27年2月9日に北海道が中心となり道内企業の協力のもと設立した「北海道がん対策基金」の事務局を担い、基金の管理・運営を行っています。基金に関する詳細はP95～98を参照してください。

1-6 企業、地区組織、患者団体・ボランティア団体との連携

(1) 企業との連携

ピンクリボン活動などを通じて、企業のCSR活動と連携し、一般市民向けの普及啓発イベントを実施しました。また、企業職員向けに健康教育を実施し、がんに対する意識の向上を図りました。

【北海道コカ・コーラボトリング株式会社】

平成22年5月に北海道コカ・コーラボトリング(株)と締結した「ピンクリボン活動推進協定」に基づき、道内でピンクリボン活動支援自動販売機の設置を推進し、これを原資に、乳がんから女性を守るための啓発活動を『リボンの願い』と称し、様々な事業を行っています。

①検診ツアーの実施

平成28年度初めての取り組みとして、11月16日(水)にコカ・コーラの工場見学、乳がんに関する正しい知識や検診について学ぶミニ講話と、乳がん検診(無料)を受診する「コカ・コーラ工場見学×乳がん検診ツアー」を開催しました。抽選により参加した19名の方からは高評価を得ることができ、次回から人数を増やして継続していくこととしました。



②啓発資材の購入・作製

実際に乳がんのしこりを触って体験できる模型「乳がん触知モデル」の購入や、乳がん検診の大切さを呼びかける啓発媒体として、ふせんメモや北海道オリジナルの「ひぐまピンクリボンバッジ」を作製しました。ふせんメモの内側には「増えてます 北海道の乳がん。」というメッセージとともに、北海道内の乳がん検診受診率が全国平均よりも低く、乳がんによる死亡が全国ワースト5位(2014年度)であることや、メモ用紙1枚1枚にも「定期的に受けようがん検診」と掲載し、メモを受け取った方々へ啓発が広がることを期待しています。



乳がん触知モデル



ふせん表紙



ふせん



ひぐまピンクリボンバッジ

③寄附金贈呈式

平成29年2月22日(水)、「2016年度ピンクリボン活動支援自動販売機寄附金贈呈式」を行い、コカ・コーラボトリング株式会社社長 佐々木様より当協会 長瀬会長へ、平成28年寄附金2,231,459円の日録が贈られました。当協会からは設置いただいた事業者の皆様へ感謝状を贈呈しました。

贈呈式終了後は、大通ビッセ地下1階でふせんメモを500個配布し、街頭啓発を行いました。



(左) 北海道対がん協会 長瀬会長
(右) 北海道コカ・コーラボトリング(株) 佐々木社長



自販機設置先様(11社)と長瀬会長(中央左)、佐々木社長(中央右)



ピンクリボン活動支援自動販売機
(デザインは一例です)

【その他のピンクリボン自動販売機設置協力企業】 (自販機を通してがん征圧のための寄附金を頂いています。)

- ・サントリービバレッジサービス株式会社
- ・株式会社アベックス
- ・エスシー・アベックス株式会社

【企業職員向けの健康教育】

- ・北海道薬剤師会（8回）…約504名
- ・北海道市町村職員共済組合（2回）…約49名
- ・北電工業株式会社…60名
- ・りらいあコミュニケーションズ株式会社札幌支社（9回）…約80名
- ・岩見沢ヤクルト販売株式会社…約36名



(2) 地区組織との連携

健康推進活動を行っている組織団体と連携し、講習会の開催や各種イベントでの街頭啓発を実施しました。

【第49回北海道家族の健康をまもる講習会】

北海道健康をまもる地域団体連合会、北海道食生活改善推進員協議会、公益財団法人北海道結核予防会と共催で、北海道の後援のもと、平成28年7月1日～2日の2日間、美瑛町国立大雪青少年交流の家において、全道から参加した67名の受講者に対し、がんや結核・栄養等に関する講習会を実施しました。



【街頭啓発】

北海道健康をまもる地域団体連合会、札幌市北区健康をまもるつどいと連携し、各団体のイベント時に当協会の普及啓発ティッシュを延2,300個、配布していただきました。

- ・ 5 / 7 第16回新川さくらフェスティバル音楽祭
- ・ 7 / 28、29 北区食育展（健康フェア）
- ・ 9 / 16 2016年がん征圧月間 街頭PR
- ・ 10 / 14 第48回がん予防道民大会
- ・ 11 / 4 北区女性部連絡協議会文化講演会
- ・ 3 / 1 厚生労働省提案女性の健康週間対応ピンクリボン運動



(3) 患者・ボランティア団体との連携

ピンクリボン活動や難治性がん、子宮頸がんに関する普及啓発に取り組んでいる市民団体を支援し、団体の協力のもと、がんに関する正しい知識の啓発を行いました。

【子宮頸がんに関する普及啓発プロジェクト】

平成26年度から3か年計画で行われた、札幌市保健所、市内大学、リボンムーブメント北海道（大学生の子宮頸がん啓発活動グループ）、MSD(株)からなる標記プロジェクトに実行委員として参加。大学生プロジェクトメンバーが、がんに関する正しい知識を学習する際に講師を派遣したほか、啓発活動をするにあたり協力を行いました。

- ・ 6／1 第1回 実行委員会（委員として出席）
- ・ 6／6 第1回 ワークショップ（講師派遣）
- ・ 3／13 第2回 実行委員会（委員として出席）



【難治性がん啓発キャンペーン実行委員会】

標記実行委員会が行なうがん撲滅チャリティーイベントに参加し、がんについての講演やパネル展とパンフレットを設置してがん検診の普及啓発を行いました。

- ・ 5／26 難治性がん啓発キャンペーン2016
「がんと共に生きること」
第1部：みんなが知りたいがんの話
講演：「子宮頸がんについて」
細胞診センター所長 藤田 博正



【ピンクリボン in SAPPORO】

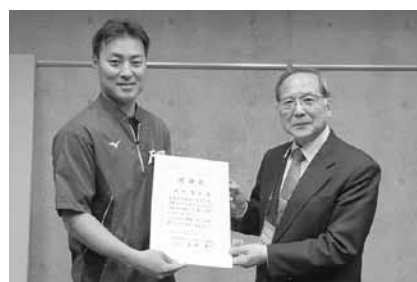
- ・ 2／12 ワーキング・サバイバーズ・フォーラム2017～がんと仕事～（ブース出展）
- ・ 『田中賢介選手ピンクリボンプロジェクト2016』

ピンクリボン in SAPPOROにより、北海道日本ハムファイターズの田中賢介選手がピンクリボン活動を行っており、今年度は約60万円ものご寄附をいただきました。そのご厚情に感謝の意を表し、下記のとおり感謝状の贈呈を行いました。

開催日時：平成29年3月25日（土）12：00

開催場所：札幌ドーム
（北海道札幌市豊平区羊ケ丘1）

内 容：北海道対がん協会会長 長瀬 清より
田中選手へ感謝状の贈呈



【プロジェクト概要】

田中賢介選手がピンクカラーの野球用具を身に着けていたことから、「ピンク」がご本人のイメージカラーとして定着したことをきっかけに、乳がんの早期発見、早期治療の大切さを伝えるピンクリボン活動に取り組まれるようになり、このプロジェクトが2008年からスタートしました。

2016シーズンは、「バッティングでチームの勝利に貢献する」という田中選手の決意の下、これまでは田中選手がアウトを取って検診をプレゼントするキャンペーンでしたが、ヒット1本につき2名分の乳がん検診の料金としてご寄附いただきました。

田中選手から当協会へのご寄附は、これまでで約550万円にのぼります。頂戴した尊い寄附金は、乳がん検診費用の補助に使われるほか、乳がんに関する正しい知識の普及啓発媒体の作成やがん検診事業の推進に役立てております。

1-7 賛助会実績

がん征圧運動を広げるため、賛助会制度を設けております。個人会員（年1口1,000円）、法人会員（年1口10,000円）で、口数に制限はありません。会員の皆様から頂く賛助会費は、主にがんの正しい知識の普及用教材としてパンフレット・リーフレット等を作成し、道民の皆様にごがん予防の資料としてお配りするほか、がんの研究にも一部援助させて頂いております。賛助会に関する詳細は99ページを参照してください。

平成28年度の会員数は個人会員379人、法人会員126件でした。

H28	札幌	旭川	釧路	計
個人	273	64	42	379
法人	68	27	31	126

1-8 受診勧奨

(1) 未受診者への受診勧奨

検診対象年齢でありながら一度も受診していない方への働きかけや、1年未受診者・2年未受診者への働きかけを積極的に勧めるため、新聞折り込みチラシ等約35.7万枚、未受診者勧奨はがきを約1.1万枚作成し、市町村へ提供しました。

(2) 事業所などへの検診勧奨

検診が未実施の小規模事業所に対し積極的に働きかけを行い、がん検診の定着化を勧めました。

(3) 日曜検診の実施

平日受けられない人などを対象に、3センターでがん検診と各種検診（健診）を16日間実施し、延べ2,545人が受診しました。

2 がん相談・患者会

2-1 がん相談事業実績

がん電話相談は、昭和59年11月に開設し、専任の相談員（保健師）が、これまでの30年間で延べ9,509件の電話相談に対応しています。平成28年度の相談内容は以下のとおりです。

近年は、メールによる問い合わせも増えてきており、随時対応しています。

①相談者数 ： 63件

②相談者の住所 ： （単位：件）

札幌市内	47
札幌市外	7
北海道外	1
不明	8

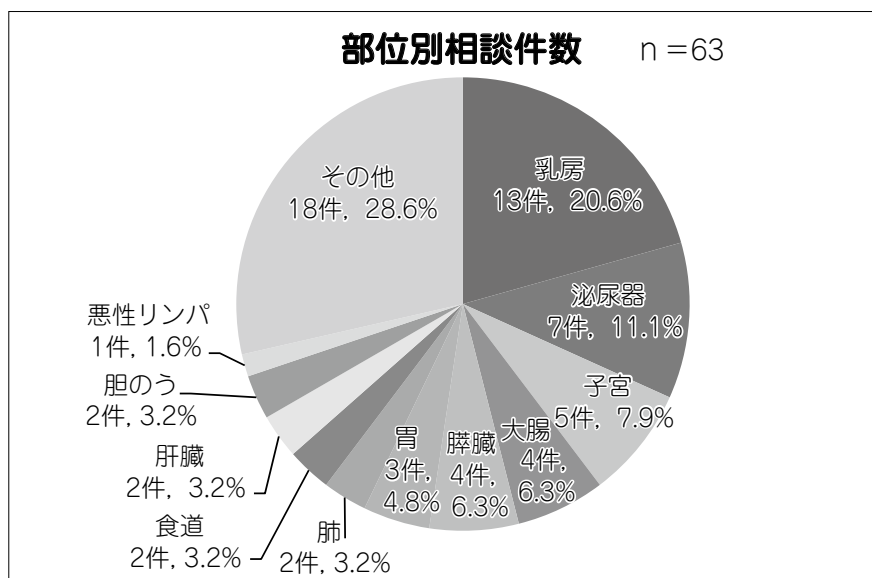
③相談者の属性 ： （単位：件）

本人	44
家族	18
その他	1

④相談者の年齢・性別 ： （単位：件）

年代	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	不明	総計
男性	0	0	0	1	4	6	2	13
女性	0	1	8	9	9	10	13	50
総計	0	1	8	10	13	16	15	63

⑤ 相談者のがん部位 ：



⑥相談内容（複数の場合は主なものを計上）：

内 容	件数	%
病気・治療に関すること	28	44.4
自覚症状あり不安に関すること	8	12.7
日常生活に関すること	7	11.1
医療への不満・不安に関すること	6	9.5
専門病院に関すること	2	3.2
心理的課題に関すること	2	3.2
経済的不安に関すること	1	1.6
その他	9	14.3

「病気・治療に関すること」が全体の44.4%と最も多く、例年同様である。中でも今の治療が自分に合っているのか、他の医療機関ではどうなのかなど、セカンドオピニオンを希望するケースが多い。また、医師との関係・コミュニケーションが築けない悩みも多く寄せられている。そのほか、検査についての説明を求める相談や、検査への不安を訴える内容が多い。

2-2 小舟会（患者会）実績

がん治療経験者や治療中の方とその家族を会員とするがん克服者の会として、昭和42年6月に発足して以来、当協会が事務局を担い、がんに関する正しい知識の伝達や、会員相互の理解と親睦を深めることを目的に、様々な働きかけを行ってきました。

現代のような情報がない時代において、がんや健康増進に関する研修会などの定期的な開催や、がんの不安・術後の悩みなどを語り合う会など、道内のがんサロン活動の先駆的な役割を果たしてきました。

しかし、近年は道内各地の病院にがんサロンが設置されるなどにより、会員数の減少や現会員の高齢化等から活動の継続が困難な状況となり、協議を重ねた結果、会の創立当初の目的は十分に果たしたという結論に至り、創立50周年をもって平成29年3月末日に閉会しました。

創立50周年記念誌を発行したほか、平成28年度の活動は以下のとおりです。



- ①役員会の開催 … 平成28年4月28日（木） 9名出席
平成29年1月10日（火） 10名出席
- ②第50回総会の開催 … 平成28年7月5日（火） 北海道対がん協会 7名出席
※出席者が少ないため講話会・懇親会は中止
- ③「がんを語り合う会」 … 3回開催、延21名出席
- ④行事の参加 … 平成28年8月27日（土）～28日（日）
リレー・フォー・ライフ・ジャパン2016室蘭 1名参加
- ⑤会報の発行 … 平成28年9月 第24号発行
- ⑥記念誌の発行 … 平成29年3月 創立50周年記念誌発行

3 精度管理体制

3-1 精度管理体制

国が推奨する「がん検診事業評価のためのチェックリスト」にそった精度の高いがん検診を実施するため、業務仕様書を作成し、遵守しています。

3-2 専門職の研鑽

(1) 資格保有状況（常勤職員）

■医師

資 格 名 称	人 数
日本消化器がん検診学会指導医	1
日本消化器内視鏡学会専門医	1
日本消化器内視鏡学会指導医	1
日本消化器病学会専門医	2
日本内科学会認定医	2
日本肝臓学会専門医	1
日本外科学会認定医	1
日本乳がん検診学会認定医	1
NPO法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会 認定マンモグラフィ読影医	2
日本臨床細胞学会細胞診専門医	2
国際細胞学会認定細胞診断医	1
日本産科婦人科学会専門医	2
日本医師会認定産業医	2
日本医師会認定健康スポーツ医	1

■放射線技師、臨床検査技師、保健師、看護師

資 格 名 称	人 数
胃がん検診専門技師	31
胃がん検診基準撮影法指導講師	1
胃がん検診基準撮影法指導員	5
マンモグラフィ撮影技術認定技師	29
乳房超音波講習会履修者	15

超音波検査士（消化器）	7
超音波検査士（体表臓器）	3
肺がんCT検診認定技師	7
放射線管理士	2
放射線機器管理士	1
細胞検査士	17
国際細胞検査士	10
健康運動指導士	2
健康食品管理士	1
人間ドック検診情報管理指導士	4
医療情報技師	2
医用画像情報専門技師	1
消化器内視鏡技師	4

(2) 学会・研修会活動

■学会等所属状況

学会・委員会名	活動内容
日本消化器がん検診学会	理事を擁し、日本における精度管理の中心的存在として活動しています。
日本消化器がん検診学会北海道支部	支部長及び事務局を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動しています。
日本消化器がん検診学会北海道支部 放射線研修委員会	事務局を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動しています。
日本放射線技術学会北海道支部	副支部長を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動しています。
NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構	委員を擁し、精度確立のため活動しています。
北海道臨床細胞学会	理事及び事務局を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動しています。
北海道細胞検査士会	役員及び事務局を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動しています。

■学会発表（平成28年度）

日 時	会 名	演 題	報 告 者			開催地	
			所 属		氏 名		
4 / 23	日本放射線技術学会北海道支部 第72回春季大会	明日から試せる胃X線撮影の工夫（初級編）	札幌	放射線技術部	荒井 雅昭	札幌市	
5 / 28 ～29	第57回日本臨床細胞学会総会	細胞診NILM、ASC-USでHPV16,18型陽性時のCIN2,3の頻度	札幌	細胞診センター 所長	藤田 博正	横浜市	
		細胞診NILM、ASC-USでHPV16,18型陽性ATHENA studyとの比較		臨床検査部	田上 稔		
6 / 9 ～12	第55回日本消化器がん検診学会総会	当センターの技師による一次チェックについて	釧路	放射線科	横堀 峰義	鹿児島市	
		胃X線検査における安全対策の現状について	札幌	放射線技術部	鈴木 康雄		
7 / 9	第46回日本消化器がん検診学会 北海道地方会	専門技師の1次チェックで指摘できなかった症例の分析	釧路	放射線科	仲野 悦徳	札幌市	
		北海道対がん協会が実施した平成26年度胃がん検診成績		所長	松浦 邦彦		
		北海道対がん協会が実施した平成26年度大腸がん検診成績					
10 / 1	平成28年医用画像管理学会 医用画像管理セミナー	デジタルマンモの品質管理	札幌	放射線技術部	黒蔵 邦夫	札幌市	
10 / 1 ～ 2	第 5 回日臨技北日本支部医学検査学会	子宮頸がん検診におけるASC-USフォローアップ体制の検討	札幌	臨床検査部	加藤 修	新潟市	
10 / 15	第11回オホーツクマンモグラフィ研究会	マンモグラフィの現状とこれから－マンモグラフィを取り巻く諸問題－	札幌	放射線技術部	黒蔵 邦夫	北見市	
11 / 4 ～ 6	第25回日本婦人科がん検診学会 総会・学術講演会	婦人科がん予防戦略の最前線	旭川	看護科	長谷川 優希	東京都	
11 / 4 ～ 6	第26回日本乳がん検診学会学術総会	地域での人材育成	札幌	放射線技術部	黒蔵 邦夫	久留米市	
11 / 18 ～19	第55回日本臨床細胞学会秋期大会	HPVジェノタイプ判定検査（クリニチップ）その評価と考察	札幌	臨床検査部	和田 恒之	別府市	
11 / 19 ～20	日本放射線技術学会北海道支部 第72回秋季大会	施設画像評価およびMMGとUSの総合判定に関して	札幌	放射線技術部	黒蔵 邦夫	帯広市	
3 / 11	第42回放射線研修委員会研修会 （平成28年度生活習慣病検診従事者指導講習会）	技師育成への取り組みと悩み	札幌	放射線技術部	山本 仁史	札幌市	
3 / 12	第12回北海道胃がん検診専門技師技術研修会	当施設の間診の現状報告	札幌	放射線技術部	阿部 春郎	札幌市	

■研修会参加（平成28年度）

日 時	研 修 会 名	主 催	報 告 者			開催地
			所 属	氏 名		
4 / 2	日本消化器がん検診学会北海道支部 第14回超音波研修会	日本消化器がん 検診学会	釧路	検査科	倉兼 俊之	札幌市
			札幌	放射線技術部	大谷 和泉	
				検査科	茂木 由紀	
4 / 14 ～17	日本放射線技術学会第72回総会学術大会	日本放射線技術学会	札幌	放射線技術部	黒炭 邦夫	横浜市
4 / 15	CT-colonography session	伏見製薬	旭川	放射線科	田中 伸一	横浜市
4 / 15 ～17	第14回内膜細胞診勉強会	内膜細胞勉強会	札幌	臨床検査部	阿部 里絵	京都府
4 / 20 ～24	第68回日本産科婦人科学会学術講演会	日本産科婦人科学会	札幌	細胞診センター 所長	藤田 博正	東京都
4 / 21	ABC分類運用オープンフォーラム		釧路	所長	松浦 邦彦	東京都
4 / 26	日本消化器がん検診学会北海道支部会	日本消化器がん 検診学会	釧路	所長	松浦 邦彦	札幌市
5 / 2 ～ 6 / 1	第16回国際細胞学会	国際細胞学会	旭川	検査科	石山 好人	横浜市
5 / 26 ～29	日本超音波医学会第89回学術集会	日本超音波医学会	札幌	臨床検査部	小西 加奈子	京都府
5 / 27 ～29	第57回日本臨床細胞学会総会春期大会	日本臨床細胞学会	札幌	細胞診センター 所長	藤田 博正	横浜市
				細胞診センター	佐々木 隆之	
				臨床検査部	田上 稔	
					市川 浩巳	
			釧路	検査科	三浦 務	
			旭川	検査科	石山 好人	
5 / 27 ～29	第89回日本超音波医学会学術大会	日本超音波医学会	札幌	放射線技術部	千葉 敏也	京都市
5 / 28	第1回釧路管内医療安全ネットワーク会議	公益社団法人北海道 看護協会釧路支部	釧路	検診課	小峰 園子	釧路市
6 / 9 ～12	日本消化器がん検診学会総会	日本消化器がん 検診学会	釧路	所長	松浦 邦彦	鹿児島市
				放射線科	横堀 峰義	
6 / 11 ～20	EUROGIN 2016	European Genital Infection and neoplasma congress	札幌	細胞診センター 所長	藤田 博正	オーストリア
7 / 4 ～16	第125回細胞検査士養成講習会	日本臨床細胞学会	札幌	臨床検査部	稲村 優衣	東京都

7 / 9 ～10	第46回日本消化器がん検診学会 北海道地方会	日本消化器がん検診 学会	旭川	放射線科	細川 肇	札幌市
					西田 大	
					畠山 佳那子	
					山崎 麻央	
			釧路	所長	松浦 邦彦	
				放射線科	仲野 悦徳	
			札幌	放射線技術部	山本 他多数	
7 / 16	東芝乳腺学術講演会	東芝メディカル	旭川	放射線科	山本 智美	札幌市
7 / 23 ～24	第72回細胞検査士ワークショップ	日本臨床細胞学会	札幌	検査科	横山・栄田	札幌市
			旭川		佐藤 利男	
7 / 24	マンモグラフィ技術更新講習会	NPO法人マンモグ ラフィ精度管理中央 委員会	釧路	放射線科	鷗野 雅浩	札幌市
					横堀 峰義	
8 / 27	第6回デジタルマンモグラフィを基礎から 学ぶセミナー	日本放射線技術学会	札幌	放射線技術部	荒井 歩柚美	札幌市
8 / 27	第19回北海道乳腺超音波研究会	札幌臨床検査技師会	旭川	検査科	平野 真理	札幌市
8 / 27 ～28	第71回細胞検査士教育セミナー	日本臨床細胞学会	釧路	検査科	倉兼 俊之	東京都
			旭川	検査科	佐藤 利男	
					永森 祐衣	
					石川 文秋	
9 / 15 ～16	第24回日本がん検診・診断学会総会	日本がん検診・ 診断学会	札幌	細胞診センター 所長	藤田 博正	東京都
9 / 30 ～10 / 3	第5回日本臨床衛生検査技師会 北日本支部医学検査学会	日本臨床衛生検査技 師会	札幌	臨床検査部長	加藤 修	新潟県
10 / 8 ～9	日本消化器がん検診学会理事会	日本消化器がん検 診学会	釧路	所長	松浦 邦彦	東京都
10 / 21	細胞研究会 道北支部	北海道臨床検査技師 会	旭川	臨床検査部	石山 好人	旭川市
11 / 3 ～5	第54回日本消化器がん検診学会大会 (JDDW2016)	日本消化器がん 検診学会	釧路	所長	松浦 邦彦	神戸市
11 / 4 ～5	第26回日本乳癌検診学会学術総会	日本乳癌検診学会	旭川	所長	菅野 普子	福岡県
11 / 5 ～6	第25回日本婦人科がん検診学会総会	日本婦人科がん 検診学会	旭川	看護科	長谷川 優希	東京都

11／17 ～20	第55回日本臨床細胞学会秋期大会	日本臨床細胞学会	札幌	細胞診センター 所長	藤田 博正	大分県
				臨床検査部	日野 順子	
					和田 恒之	
					茂木 由紀	
			旭川	検査科	中山 仁	
					平野 真理	
11／21 ～24	第36回医療情報学連合大会 (第17回日本医療情報学会学術大会)	日本医療情報学会	札幌	放射線技術部	荒井 雅昭	横浜市
11／25	日本消化器がん検診学会北海道支部 地域保健研修会	日本消化器がん検診 学会北海道支部 地域保健研修会	旭川	検診第2課	馬場 留理子	札幌市
11／27	第37回北海道臨床細胞学会・総会	北海道臨床細胞学会	旭川	検査科	中山 仁	札幌市
					平野 真理	
			釧路	検査科	和泉 東子	
			札幌	検査科	田上・加藤・ 日野・阿部・ 横山・小西・ 柴田	
1／14	日本超音波医学会超音波診断講習会	日本超音波医学会	札幌	検査科	横山 恵	横浜市
2／3 ～4	第24回日本CT検診学会学術集会	日本CT検診学会	札幌	放射線技術部	中川 栄志	徳島市
3／5	第29回細胞診従事者講習会	日本臨床細胞学会	札幌	検査科	加藤 他7名	札幌市
			旭川	検査科	中山 仁	
					平野 真理	
3／11	第42回放射線研修委員会研修会 (平成28年度生活習慣病検診従事者指導講習会)	日本消化器がん検診 学会北海道支部放射 線研修委員会	札幌	放射線技術部	鈴木 他多数	札幌市
			旭川	放射線科	田中・細川・ 福原・西田・ 山本・畠山・ 山崎	
3／11 ～12	第3回東京都予防医学協会 乳房超音波医師講習会	東京都予防医学協会	旭川	所長	菅野 普子	東京都
3／12	第12回北海道胃がん検診専門技師 技術研修会	日本消化器がん検診 学会北海道支部 放射線研修委員会	札幌	放射線技術部	鈴木 他多数	札幌市
			旭川	放射線科	田中・細川・ 福原・西田・ 山本・畠山・ 山崎	
3／17	日本消化器がん検診学会理事会	日本消化器がん 検診学会	釧路	所長	松浦 邦彦	東京都
3／25	第20回北海道乳腺超音波研究会	札幌臨床検査技師会	旭川	検査科	平野 真理	札幌市

3－3 施設認定

■日本消化器がん検診学会認定指導施設

■日本臨床細胞学会教育研修施設認定

■日本臨床細胞学会施設認定

■日本乳がん検診精度管理中央機構マンモグラフィ撮影施設認定（A評価）

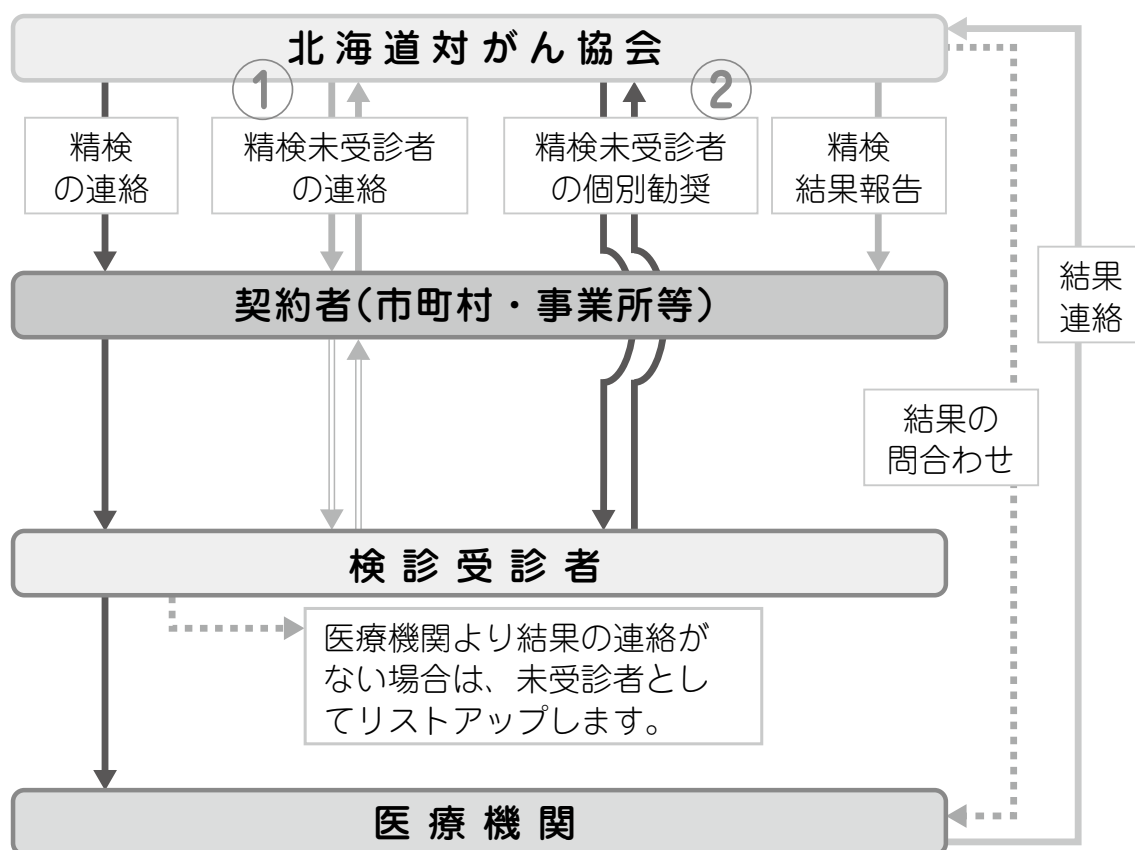
4 事後処理の流れ

厚生労働省「有効性評価に基づくがん検診ガイドライン」に準拠し、事後処理を行っています。

胃がん検診	札幌がん検診センターでは、開成病院・吉田クリニック・KKR札幌医療センターと、旭川がん検診センターでは、独立行政法人国立病院機構旭川医療センター・旭川赤十字病院・旭川厚生病院・くにもと病院と連携し、日本消化器がん検診学会認定医を加え、二重読影を行います。 また、過去に当協会で受診されている方は、必要に応じてその結果を参考に比較読影を行います。
子宮頸がん検診	日本臨床細胞学会の認定を受けた十分な経験を有する細胞検査士及び細胞診専門医が判定を行います。当協会では、細胞診結果の分類はBethesda systemによる分類を用います。過去に当協会で受診されている方は、必要に応じてその結果を参考にします。
子宮体がん検査	日本臨床細胞学会の認定を受けた十分な経験を有する細胞検査士及び細胞診専門医によりパパニコロウ染色を行い、顕微鏡下で観察します。細胞診結果は、「陰性」・「疑陽性」及び「陽性」に区分します。
乳がん検診	「検診マンモグラフィ読影認定医」A評価の医師を加え、二重読影を行います。また、過去に当協会で受診されている方は、必要に応じてその結果を参考に読影を行います。
肺がん検診	札幌がん検診センターは、独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター・KKR札幌医療センター・JCHO北海道病院・JR札幌病院と、旭川がん検診センターは、独立行政法人国立病院機構旭川医療センター・旭川医科大学病院・まつもと呼吸器内科クリニックと、釧路センターは、札幌医科大学附属病院・NTT東日本札幌病院と連携し、日本がん検診・診断学会がん検診認定医を加え、二重読影を行います。 また、判定結果により比較読影を行います。さらに、過去に当協会で受診されている方はその結果を参考にします。
喀痰細胞診	判定は日本臨床細胞学会認定の細胞検査士が実施し、異常が疑われる場合には標本を追加作成して、日本臨床細胞学会認定の細胞診専門医による再鏡検を実施します。同一検体から作成された2枚以上のスライドは、2名以上の技師によりスクリーニングします。 喀痰細胞診の結果の判定は、「肺癌集団検診の手びき」(日本肺癌学会集団検診委員会編)の「集団検診における喀痰細胞診の判定基準と指導区分」によって行います。
大腸がん検診	便潜血検査は、免疫便潜血検査2日法により行います。
基本健康診査	健診当日の診察結果・血液データ・心電図・眼底結果を基に医師が総合的に判定し、「標準的な健診・保健指導プログラム(改訂版)」に基づき、保健指導対象者の選定と階層化を行います。

5 事後管理の流れ

受診者への結果通知で終了とせず、精検未受診者に対して、検診に関する専門的な知識をもった保健師が契約者と連携し、受診後数回にわたってフォローアップをすることで、精検受診につなげ、疾病の早期発見に努めています。



①未受診者調査	検診受診後2カ月が経過しても医療機関より結果の連絡がない場合は、精検未受診者としてリストアップし、契約者へ送付して、契約者から未受診者へ受診勧奨を行っていただきます。
②アンケートの送付	①を実施後、一定期間過ぎても医療機関より結果の連絡がない場合は、対がん協会から未受診者へ直接アンケートを送付し、受診を勧奨します。
結果の問い合わせ	未受診者から医療機関を受診した情報を得た場合は、医療機関へ直接結果の問い合わせを行います。

6 安全管理体制

医療安全管理マニュアルを定め、日頃から事故防止に努めています。

事故が発生（または未遂）した場合は、原因を分析し、解決方法を記載した報告書を速やかに作成することとしており、報告書は全職員がシステム上で閲覧できるようになっています。また、医療安全推進会議（各科担当者）と医療安全管理委員会（課長級）をそれぞれ月1回開催し、報告書をもとに類似事例の発生予防につながる改善策を検討して、全職員へ還元しています。

7 検診車の保有状況

(単位：千円)

種 別		検診車名称	購入年月 (納入年月)	購入金額	財 源 内 訳			備 考
					道	中央補助金	自 己 資 金	
胃	1	しらかば 17号	H 4. 1	47,380	(札幌市) 27,246		20,134	12吋 I I X線 T V車 胃検診車
胃	2	〃 102号	H 6. 9	57,917	54,000		3,917	胃、肺併用車 12吋 I I X線 T V車
	3	〃 107号	H 8. 3	57,917	54,000		3,917	胃、肺併用車 12吋 I I X線 T V車
	4	〃 108号	H10. 3	59,220	33,811		25,409	胃、肺併用車 12吋 I I X線 T V車
	5	〃 109号	H12. 2	62,685	56,700		5,985	胃、肺併用車 12吋 I I X線 T V車
	6	〃 113号	H 6.11	57,917	54,000		3,917	胃、肺併用車 12吋 I I X線 T V車
	肺	7	〃 114号	H 5. 1	57,546	54,000		3,546
8		〃 115号	H 9. 1	59,740	54,000		5,740	胃、肺併用車 12吋 I I X線 T V車
9		〃 118号	H 6. 4	56,583			56,583	胃、肺併用車 12吋 I I X線 T V車
検	10	〃 120号	(H15. 5)	22,659			22,659	胃、肺併用車 12吋 I I X線 T V車
	11	〃 122号	(H18. 1)	30,030			30,030	胃、肺併用車 12吋 I I X線 T V車
	12	〃 123号	(H26. 3)	29,568			29,568	胃、肺併用車 13吋 I I X線 T V車
診	13	〃 163号	(H27.12)	3,240			3,240	胃、肺併用車 12吋 I I X線 T V車
	14	〃 201号	H13.12	60,900	56,700		4,200	胃、肺併用車 12吋 I I X線 T V車
	15	〃 202号	(H14.12)	62,790		日本宝くじ協会 62,790		胃、肺併用車 12吋 I I X線 T V車
車	16	〃 203号	H21. 2	91,140		日本宝くじ協会 63,000	28,140	胃、肺併用車 12吋 I I X線 T V車
	17	〃 204号	H27. 2	65,880		J K A 22,050	43,830	胃、肺併用車 13吋 I I X線 T V車
	18	〃 205号	H29. 2	69,660		日本宝くじ協会 69,660		胃、肺併用車 13吋 I I X線 T V車
	19	〃 206号	H29. 3	58,104			58,104	胃、肺併用車 13吋 I I X線 T V車
胸部検診車	1	胸 部 検 診 車	(H15.11)	0	譲 与			ミラーカメラ車
	2	エ ル ム 号	H19. 2	97,545		日本宝くじ協会 60,900	(リース) 36,645	低線量ヘリカル C T 検診車
婦人科検診車	1	しらゆり 2号	H 4. 7	29,767			14,767 (秋山愛生館) 15,000	超音波診断装置搭載
	2	〃 5号	H26.12	46,000			46,000	超音波診断装置搭載
乳房検診車	1	すずらん 3号	(H18. 2)	63,840		日本宝くじ協会 63,840		乳房 X線装置 (S M G 対応)
	2	〃 5号	H24. 2	65,520		J K A 11,550	53,970	乳房 X線装置 (S M G 対応)
	3	〃 6号	(H29. 4)	44,928			44,928	乳房 X線装置 (S M G 対応)
送迎バス	1	はまなす 1号	H22. 7	26,460			26,460	受診者送迎車
	2	〃 2号	H 6. 9	17,201			17,201	受診者送迎車
	3	〃 3号	H21. 4	6,031			6,031	受診者送迎車
	4	〃 4号	H29. 4	3,520			3,520	受診者送迎車
	5	〃 5号	H27. 3	5,908			5,908	受診者送迎車

(平成29年12月現在)

8 施設整備に対する助成金の受け入れ状況

(単位：円)

年度	助 成 機 関	助成対象				年 度 計
		検 診 車	センター建設	センター設備	基 本 財 産	
34	昭和33年度継承資金				128,699	
	北海道補助	253,550,000	769,900,000	98,500,000	300,000	
	札幌市補助	7,792,000	10,000,000	18,500,000	100,000	
	旭川市補助		45,000,000			
	郵政省配分金	37,500,000				
	郵政省ガン切手益金			10,080,000		
	日本自転車振興会	92,850,000	91,070,000	25,500,000		
	中央競馬社会福祉財団	17,000,000		15,000,000		
	日本ガン協会	3,000,000				
	日本小型自動車振興会	65,000,000	116,020,000	25,500,000		
	日本船舶振興会	38,750,000		4,600,000		
	釧路市補助			95,000,000		
63	市町村補助	3,980,000	20,617,041	22,569,884		
	一般寄付		54,240,952	81,706,454		
元	中央競馬社会福祉財団			4,750,000		2,023,755,030
2	日本宝くじ協会	55,620,000				4,750,000
	日本自転車振興会	21,630,000				77,250,000
3	北海道補助	33,849,000				
	札幌市補助	27,246,000				
	中央競馬社会福祉財団			6,400,000		67,495,000
4	北海道補助	33,849,000	40,000,000			
	旭川市補助		4,700,000			
	秋山愛生館	15,000,000				93,549,000
5	北海道補助	54,000,000				
	日本自転車振興会			5,072,000		
	中央競馬社会福祉財団			7,000,000		66,072,000
6	北海道補助	108,000,000				108,000,000
7	北海道補助	54,000,000				
	日本自転車振興会			12,823,000		
	中央競馬社会福祉財団			7,400,000		74,223,000
8	北海道補助	54,000,000	97,190,000			
	一般寄付		18,128,723			169,318,723
9	北海道補助	33,811,000	602,000,000	147,290,000		
	札幌市補助		287,744,000	73,645,000		
	日本自転車振興会	11,550,000				
	一般寄付		40,665,515			1,196,705,515
11	北海道補助	81,100,000				
	日本自転車振興会			13,335,000		
	中央競馬社会福祉財団			4,000,000		98,435,000
13	北海道補助	56,700,000				56,700,000
14	日本宝くじ協会	62,790,000				62,790,000
16	日本対がん協会			1,000,000		1,000,000
17	日本宝くじ協会	63,840,000				63,840,000
18	北海道補助			5,696,000		
	日本宝くじ協会	60,900,000				66,596,000
20	厚生労働省			95,550,000		
	日本宝くじ協会	63,000,000				158,550,000
21	日本対がん協会			2,000,000		2,000,000
23	J K A	11,550,000				11,550,000
26	J K A	22,050,000				22,050,000
28	日本宝くじ協会	69,660,000				69,660,000
累 計		1,513,567,000	2,197,276,231	782,917,338	528,699	4,494,289,268

(平成29年12月現在)

9 委 託 事 業

年 度	業 務 名（契約相手先）	契 約 額	業 務 内 容
平成25年度 ～ 平成29年度	北海道におけるHPV併用検診に関する臨床試験 （ロシュ・ダイアグノステイクス株式会社）	800万円	子宮がん検診受診者を対象に、コバス4800HPVテストでHPV DNA検査を併用実施し、子宮頸部病変の検出におけるHR-HPVの検出または遺伝子型16型／18型判別の有用性を検討
平成25年度～	乳がん検診データ収集業務 （国立大学法人東北大学）	400円 （1件あたり）	乳がん検診検査結果、精密検査、治療情報等のデータ収集

Ⅲ 検診部門

1 平成28年度 検診受診者数

(単位：人)

部位別		センター別	合 計	札 幌	旭 川	釧 路
胃 が ん		検 診 車	87,917	50,450	24,370	13,097
		検診センター	27,170	16,024	7,525	3,621
		計	115,087	66,474	31,895	16,718
子 宮 が ん		検 診 車	21,927	10,749	7,992	3,186
		検診センター	43,777	24,652	14,481	4,644
		計	65,704	35,401	22,473	7,830
乳 が ん		検 診 車	23,361	11,373	8,406	3,582
		検診センター	48,503	28,116	15,403	4,984
		計	71,864	39,489	23,809	8,566
肺 が ん		検 診 車	80,422	40,538	24,694	15,190
		検診センター	26,673	14,382	8,493	3,798
		計	107,095	54,920	33,187	18,988
大 腸 が ん		検 診 車	95,412	55,841	26,342	13,229
		検診センター	43,160	26,602	10,673	5,885
		計	138,572	82,443	37,015	19,114
前 立 腺 が ん		検 診 車	11,508	4,870	3,705	2,933
		検診センター	5,079	2,925	1,362	792
		計	16,587	7,795	5,067	3,725
特定健康診査		検 診 車	44,571	19,338	15,844	9,389
		検診センター	11,253	7,346	2,705	1,202
		計	55,824	26,684	18,549	10,591
定期健康診断		検 診 車	19,190	14,430	3,453	1,307
		検診センター	9,214	5,525	1,474	2,215
		計	28,404	19,955	4,927	3,522
協 会 け ん ぽ (生活習慣病 予防健診)		検 診 車	540	100	263	177
		検診センター	6,542	4,388	1,068	1,086
		計	7,082	4,488	1,331	1,263
人 間 ド ッ ク		検 診 車	88	—	88	—
		検診センター	2,065	1,484	396	185
		計	2,153	1,484	484	185
骨 検 診		検 診 車	1,209	921	71	217
		検診センター	9,547	6,552	2,521	474
		計	10,756	7,473	2,592	691
超音波検査	婦 人 科	検 診 車	17,351	7,396	7,632	2,323
		検診センター	39,734	21,287	14,198	4,249
		計	57,085	28,683	21,830	6,572
	腹 部	検 診 車	235	—	235	—
		検診センター	3,957	3,471	129	357
		計	4,192	3,471	364	357
合 計		検 診 車	403,731	216,006	123,095	64,630
		検診センター	276,674	162,754	80,428	33,492
		計	680,405	378,760	203,523	98,122

※肺がん検診は肺がんCT検査を含む

※事後管理を受託していない団体の受診数を含める（以降のページの受診数とは一致しない）

2 平成28年度 一次検診の成績

胃がん検診

平成28年度は、18台の検診車で124市町村¹⁾を延1,859日間²⁾巡回したほか、81事業所³⁾に延266日間⁴⁾巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、142名（平成29年12月1日現在）のがんを発見した。

1) 札幌58・旭川48・釧路18市町村 2) 札幌716・旭川664・釧路479日間 3) 札幌48・旭川20・釧路13事業所 4) 札幌146・旭川85・釧路35日間

	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ⁵⁾	97,421	54,446	28,017	14,958	25,711	15,615	6,729	3,367	71,710	38,831	21,288	11,591
事業所 ⁶⁾	9,618	4,023	3,857	1,738	1,344	331	776	237	8,274	3,692	3,081	1,501
個 人 ⁷⁾	122	79	21	22	115	78	20	17	7	1	1	5
合計	107,161	58,548	31,895	16,718	27,170	16,024	7,525	3,621	79,991	42,524	24,370	13,097

5) 実施主体が市町村のもの

6) 実施主体が事業所のもの

7) 上記以外のもの

【検診の受診状況】

受診総数107,161名のうち、検診センターでの施設検診は27,170名（25.4%）、検診車による巡回検診は79,991名（74.6%）であった。前年度に比べ、釧路管轄で265名の増加（増加率2.1%）があったが、全体として検診センターでは2,282名、検診車は7,296名の減少、減少率8.9%であった。

受診者別では、前年度よりも自治体で8,199名、事業所で1,391名の減少が見られた。

年齢別では、男女ともに60歳代以上から増加し、全体でおよそ70%を占めている。

【精密検査の受診状況】

要精検者数は4,863名で、要精検率は4.5%であった。精検受診数は4,254名、精検受診率は87.5%で、前年度より0.8ポイントの減少がみられた。

男女別の要精検率は男性5.9%、女性3.5%で男性が高い。精検受診率は男性83.4%、女性92.3%と男性が前年度より1.7ポイント減少した。しかし年齢別では、男性は30歳代と50歳代、女性は30歳代と、若い年齢層での精検受診率の低下がみられた。

【発見がんについて】

平成28年度の胃がん発見数は142名で、がん発見率は0.13%であった。男女別では、男性90名（0.20%）、女性52名（0.08%）であった。男女ともに、年齢が上がるにつれてがん発見率も高い傾向にある。

受診歴別では、初回受診が最も高く（0.18%）、次いで2年前受診と3年前受診（0.14%）、1年前受診（0.11%）の順に高い。

追跡調査による発見がんの内訳では、平成27年度の発見がん164名のうち、手術施行者は156名であった。手術結果の内訳は早期がん111名（71.1%）、進行がん44名（28.2%）であり、早期がんが全体のおよそ70%を占めている。

【まとめ】

平成28年度の受診状況として、新たに検診を受託した市町村や事業所が増えたが、全体の受診数は減少、特に60歳代以上の減少が目立った。厚生労働省の指針の改正（H28.2.4）で、胃がん検診の検査方法に内視鏡検査が追加され、導入した市町村があったためと考えられるが、高齢に伴い安全を考慮し受診を控える可能性もある。

ただ、厚生労働省の指針の改正（H28.2.4）では、内視鏡検査が追加されるとともに、対象年齢が引き上げられ、受診間隔が延長されたが、“当面の間、X線検査に関しては、40歳以上、年1回実施しても差支えない”という但し書きが付与されている。当協会としては、本道の広域性や医師の地域偏在の状況を鑑み、すべての市町村・事業所において早期に内視鏡検査へ切り替えるのは困難と考えることから、X線検査の有効性をアピールし、安全面に最大限の配慮をしながら、今後も質の高いX線検査を提供することで、胃がんの早期発見に寄与していきたい。

要精検者に対しては、特に50歳代男性の受診率が低下している。この年代は働き盛りで仕事や家庭での役割が非常に大きいことや、胃がんが増えてくる年齢層である。職場検診の開設などにより、積極的に検診の機会を提供し多くの方に受診していただくことは、胃がんの早期発見につなげていくうえで重要であるが、要精検となった場合は確実に精密検査を受けることも、がんを早期発見し生命をつなげるために、非常に重要であると考え。そのため、50歳代以下を中心に受診勧奨に力を入れ、精密検査の必要性を理解したうえで、受診行動を起こすための働きかけをしていきたい。

（保健師 高島 梓）

表1 胃がん検診実施状況及び精検結果（累計）

昭和38年度～平成28年度

年 度	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	精検 受診者数	精検 受診率 (%)	精 検 結 果 内 訳							
						胃がん	胃 ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍 瘢痕	十二指 腸潰瘍	胃炎	その他	異常なし
38～23	7,484,097	828,125	11.1	726,009	87.7	11,058	60,982	55,455	94,122	12,568	194,179	29,655	267,990
24	122,053	7,966	6.5	7,028	88.2	210	1,083	300	961	54	3,017	515	888
25	117,225	7,601	6.5	6,605	86.9	220	889	265	771	69	3,252	478	661
26	113,815	6,962	6.1	6,152	88.4	193	697	225	571	57	3,399	485	525
27	116,739	5,450	4.7	4,823	88.5	164	555	193	471	37	2,675	390	338
28	107,161	4,863	4.5	4,254	87.5	142	482	152	394	34	2,376	377	297
計	8,061,090	860,967	10.7	754,871	87.7	11,987	64,688	56,590	97,290	12,819	208,898	31,900	270,699

国の指標値（許容値） 11.0%以下 70.0%以上

※平成26年度よりシステム変更に伴い、これまで含まれていなかった事業所分・人間ドック分の受診者数を含めるように改変した。（胃がん・肺がん・大腸がん）

表2 胃がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

昭和38年度～平成28年度

年度	受 診 者 数			発 見 が ん 数						陽性反応 適中度 (%)
	総 数	検診 センター	検 診 車	総 数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
38～23	7,484,097	785,173	6,698,924	11,058	0.15	999	0.13	10,059	0.15	1.34
24	122,053	30,712	91,341	210	0.17	51	0.17	159	0.17	2.64
25	117,225	29,462	87,763	220	0.19	38	0.13	182	0.21	2.89
26	113,815	28,553	85,262	193	0.17	44	0.15	149	0.17	2.77
27	116,739	29,452	87,287	164	0.14	37	0.13	127	0.15	3.01
28	107,161	27,170	79,991	142	0.13	33	0.12	109	0.14	2.92
合計	8,061,090	930,522	7,130,568	11,987	0.15	1,202	0.13	10,785	0.15	1.39

国の指標値（許容値） 0.11%以上

1.0%以上

表3 胃がん検診実施状況及び発見がん数（平成28年度・管轄別）

管轄	受 診 者 数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車	発見 率 (%)	
札幌	58,548	16,024	42,524	2,417	4.1	582	3.6	1,835	4.3	2,139	88.5	81	0.14	20	0.12	61	0.14	3.35
旭川	31,895	7,525	24,370	1,672	5.2	384	5.1	1,288	5.3	1,444	86.4	37	0.12	9	0.12	28	0.11	2.21
釧路	16,718	3,621	13,097	774	4.6	130	3.6	644	4.9	671	86.7	24	0.14	4	0.11	20	0.15	3.10
合計	107,161	27,170	79,991	4,863	4.5	1,096	4.0	3,767	4.7	4,254	87.5	142	0.13	33	0.12	109	0.14	2.92

国の指標値（許容値） 11.0%以下

70%以上

0.11%以上

1.0%以上

表4 性・年齢別胃がん検診実施状況及び精検結果（平成28年度）

年齢	性別	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳							
					胃がん	胃ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍癒痕	十二指腸潰瘍	胃炎	その他	異常なし
～39	男	1,775	28	20	0	1	2	3	2	9	1	2
	女	1,319	13	9	0	1	0	0	0	6	0	2
	計	3,094	41	29	0	2	2	3	2	15	1	4
40～44	男	3,417	68	51	0	5	0	0	1	30	5	10
	女	4,121	58	49	3	4	2	4	1	21	5	9
	計	7,538	126	100	3	9	2	4	2	51	10	19
45～49	男	3,132	74	54	0	4	4	4	1	33	6	2
	女	3,891	82	71	1	9	3	7	3	33	6	9
	計	7,023	156	125	1	13	7	11	4	66	12	11
50～54	男	2,767	132	86	0	5	3	7	0	62	5	4
	女	4,459	97	91	0	18	4	7	1	48	8	5
	計	7,226	229	177	0	23	7	14	1	110	13	9
55～59	男	2,965	195	134	2	5	10	22	1	68	15	11
	女	5,379	154	139	4	15	9	10	4	79	10	8
	計	8,344	349	273	6	20	19	32	5	147	25	19
60～64	男	4,935	330	263	10	19	11	35	0	147	20	21
	女	8,914	322	297	4	38	13	33	1	151	30	27
	計	13,849	652	560	14	57	24	68	1	298	50	48
65～69	男	8,997	607	506	23	49	18	61	0	277	49	29
	女	13,339	542	498	9	61	15	34	4	310	33	32
	計	22,336	1,149	1,004	32	110	33	95	4	587	82	61
70～74	男	7,682	563	496	23	41	21	61	5	283	41	21
	女	10,824	471	447	14	69	6	17	3	259	45	34
	計	18,506	1,034	943	37	110	27	78	8	542	86	55
75～79	男	5,591	413	380	18	31	11	34	2	222	39	23
	女	6,701	300	279	11	54	6	15	2	151	19	21
	計	12,292	713	659	29	85	17	49	4	373	58	44
80～	男	3,743	247	227	14	29	6	28	3	107	22	18
	女	3,210	167	157	6	24	8	12	0	80	18	9
	計	6,953	414	384	20	53	14	40	3	187	40	27
合計	男	45,004	2,657	2,217	90	189	86	255	15	1,238	203	141
	女	62,157	2,206	2,037	52	293	66	139	19	1,138	174	156
	計	107,161	4,863	4,254	142	482	152	394	34	2,376	377	297

表5 年齢別受診者数と発見がん数（累計）
昭和38年度～平成27年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率（％）
～29	61,422	9	0.01
30～39	805,234	224	0.03
40～49	2,011,378	1,038	0.05
50～59	2,087,117	2,211	0.11
60～69	1,988,555	4,491	0.23
70～	1,000,057	3,872	0.39
年齢不詳	166	0	0.00
計	7,953,929	11,845	0.15

※10歳階級表

表6 性・年齢別受診者数と発見がん数（平成28年度）

年 齢	受 診 者 数			発見がん数			発見率（％）		
性 別	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性
～29	100	64	36	0	0	0	0.00	0.00	0.00
30～34	771	472	299	0	0	0	0.00	0.00	0.00
35～39	2,223	1,239	984	0	0	0	0.00	0.00	0.00
40～44	7,538	3,417	4,121	3	0	3	0.04	0.00	0.07
45～49	7,023	3,132	3,891	1	0	1	0.01	0.00	0.03
50～54	7,226	2,767	4,459	0	0	0	0.00	0.00	0.00
55～59	8,344	2,965	5,379	6	2	4	0.07	0.07	0.07
60～64	13,849	4,935	8,914	14	10	4	0.10	0.20	0.04
65～69	22,336	8,997	13,339	32	23	9	0.14	0.26	0.07
70～74	18,506	7,682	10,824	37	23	14	0.20	0.30	0.13
75～79	12,292	5,591	6,701	29	18	11	0.24	0.32	0.16
80～	6,953	3,743	3,210	20	14	6	0.29	0.37	0.19
計	107,161	45,004	62,157	142	90	52	0.13	0.20	0.08

※5歳階級表

表7 性・受診歴別受診者数及び発見がん数（平成28年度）

受診歴	受 診 者 数			発見がん数			発見率（％）		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
初 回	24,405	9,830	14,575	43	29	14	0.18	0.30	0.10
1 年 前	64,894	28,921	35,973	74	48	26	0.11	0.17	0.07
2 年 前	13,606	4,733	8,873	19	11	8	0.14	0.23	0.09
3 年 前	4,256	1,520	2,736	6	2	4	0.14	0.13	0.15
計	107,161	45,004	62,157	142	90	52	0.13	0.20	0.08

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

表8 追跡調査による発見がんの内訳（累計）

昭和38年度～平成27年度

年度	発見がん 数 (A)	手術施行 数 (B)	B/A (%)	手術施行内訳 (C)						(再掲) 内視鏡 切除数 (D)	D/B (%)	手術未 施行数 (E)	E/A (%)
				早期 がん	C/B (%)	進行 がん	C/B (%)	深達度 不明	C/B (%)				
38～23	11,058	10,341	93.5	6,159	59.6	3,988	38.6	194	1.9			717	6.5
24	210	192	91.4	151	78.6	41	21.4	0	0.0	62	32.3	18	8.6
25	220	203	92.3	164	80.8	38	18.7	1	0.5	83	40.9	17	7.7
26	193	182	94.3	132	72.5	48	26.4	2	1.1	83	45.6	11	5.7
27	164	156	95.1	111	71.2	44	28.2	1	0.6	60	38.5	8	4.9
計	11,845	11,074	93.5	6,717	60.7	4,159	37.6	198	1.8			771	6.5

表9 発見がんにおける手術施行者の深達度（平成26年度）

手術施行	早 期		進 行			深達度不明
	M	S M	M P	S S	S	
156	73	38	11	17	16	1

胃癌取扱い規約に準ずる。

子宮頸がん検診

平成28年度は、2台の検診車で122市町村¹⁾を延237日間²⁾巡回したほか、6事業所³⁾に延7日間⁴⁾巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、56名（平成29年12月10日現在）のがんを発見した。

1) 札幌66・旭川38・釧路18市町村 2) 札幌119・旭川81・釧路37日間 3) 札幌3・旭川1・釧路2事業所 4) 札幌3・旭川1・釧路3日間

	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ⁵⁾	55,572	29,644	19,644	6,270	35,086	19,470	12,088	3,528	20,486	10,174	7,570	2,742
事業所 ⁶⁾	7,984	4,106	2,465	1,413	6,587	3,535	2,083	969	1,397	571	382	444
個 人 ⁷⁾	2,148	1,651	350	147	2,104	1,647	310	147	44	4	40	0
合 計	65,704	35,401	22,473	7,830	43,777	24,652	14,481	4,644	21,927	10,749	7,992	3,186

5) 実施主体が市町村のもの 6) 実施主体が事業所のもの 7) 上記以外のもの

【子宮頸がん検診】

子宮頸がん検診の受診総数は65,704名で、検診車による巡回検診は21,927名（33%）、検診センターでの施設検診は43,777名（67%）を実施した。平成28年度の受診数は前年度の受診数と比較すると773名減となっており、巡回検診、施設検診共に減少している。

年齢階級別では30歳代、40歳代の受診が若干ではあるが増加した。しかし依然として20歳代、30歳代の受診割合は低い。

検診結果は平成22年度よりベセスダシステムによる細胞診分類を実施しており、細胞診陰性者が64,875名、細胞診陽性者が790名という結果であった。

精密検査該当者（要経過観察は除く）632名のうち、精密検査受診数は589名であり、精検受診率は93.2%、発見がん数は55名であった。また、経過観察の指示がでたものは一定期間経過を追っており、経過観察該当者217名のうち経過観察受診数は167名で、経過観察後1名のがんが見つかった。

発見がんを受診歴別で比べると初回受診者から見つかるがんの割合が高い。

平成28年度の発見がん56名のうち42名は上皮内がんであり、75%を占めている。年齢階級別の発見がん数では40歳代が25名と最も多く見られ、子宮頸がんの約半数を占めた。子宮頸がんは20歳以上を対象としているが、当協会では20歳代・30歳代の受診数は少ない。またこの年代の細胞診陽性率が高い。これらのことから、早期にがんを見つけるためには、若年層に検診の重要性を理解してもらえるよう働きかけていくことが必要である。

【子宮体がん検診】

子宮体がん検診の受診総数は2,461名で、検診車による巡回検診は459名、検診センターでの施設検診は2,002名を実施した。子宮体がん検診は不正出血等の症状のある者を対象とし、最終的には医師の判断で実施している。

子宮体がん検診からの精密検査該当者は18名で、精密検査該当者のうち全員が精密検査を受診し、精検受診率は100%、これは平成25年より続いている。

発見がん数は14名で、年齢階級別では60歳代で体がんが最も多く見つかり、発見率は1.04%であった。

（保健師 縣 有）

表1 子宮がん検診（頸部・体部）実施状況及び発見がん数（累計）

昭和41年度～平成28年度

年 度	受 診 者 数			発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
41～23	4,112,341	1,648,346	2,463,995	6,642	0.16	3,129	0.19	3,513	0.14	
24	68,050	45,098	22,952	98	0.14	64	0.14	34	0.15	17.56
25	67,282	43,853	23,429	104	0.15	75	0.17	29	0.12	10.11
26	66,145	43,808	22,337	91	0.14	55	0.13	36	0.16	9.35
27	66,477	44,507	21,970	78	0.12	59	0.13	19	0.09	9.89
28	65,704	43,777	21,927	72	0.11	46	0.11	26	0.12	10.23
合計	4,445,999	1,869,389	2,576,610	7,085	0.16	3,428	0.18	3,657	0.14	

※（別掲）S45～53まで実施した自己採取の実施数は7,179名、発見がん数は8名

表2 子宮がん検診（頸部）細胞診結果（累計）

昭和41年度～平成21年度

年 度	受診者数	ク ラ ス 分 類							
		Ⅰ	Ⅱ		Ⅲ			Ⅳ	Ⅴ
			Ⅱ	Ⅱ r	Ⅲ a	Ⅲ	Ⅲ b		
実 数									
41～16	3,579,330	2,219,770	1,327,347	8,413	13,740	960	5,711	2,304	1,085
17	78,393	31,378	46,098	226	527	0	137	11	16
18	71,549	27,549	43,200	181	432	0	140	31	16
19	78,037	29,947	47,260	238	419	0	140	22	11
20	73,109	26,007	46,185	287	426	0	167	20	17
21	80,255	31,264	48,130	216	401	0	187	33	24
計	3,960,673	2,365,915	1,558,220	9,561	15,945	960	6,482	2,421	1,169
率 (％)									
41～16	100	62.02	37.08	0.24	0.38	0.03	0.16	0.06	0.03
17	100	40.03	58.80	0.29	0.67	0.00	0.17	0.01	0.02
18	100	38.50	60.38	0.25	0.60	0.00	0.20	0.04	0.02
19	100	38.38	60.56	0.30	0.54	0.00	0.18	0.03	0.01
20	100	35.57	63.17	0.39	0.58	0.00	0.23	0.03	0.02
21	100	38.96	59.97	0.27	0.50	0.00	0.23	0.04	0.03
計	100	59.74	39.34	0.24	0.40	0.02	0.16	0.06	0.03

※自己採取を除く

平成22年度～平成28年度

年度	受診者数	ベセスダシステム											
		NILM	ASCUS	LSIL	ASC-H	HSIL	SCC	AGCNO	AGC	AIS	ADC	OTH	USAT
22～23	151,668	150,125	500	427	75	430	17	41	25	1	5	0	22
24	68,050	67,360	254	171	47	163	6	20	9	2	7	1	10
25	67,282	66,173	480	230	87	227	7	20	6	1	1	0	50
26	66,145	65,090	457	228	59	232	17	16	11	0	0	0	35
27	66,477	65,649	392	151	48	153	8	24	6	0	5	0	41
28	65,704	64,875	393	145	68	138	21	15	6	0	4	0	39
計	485,326	479,272	2,476	1,352	384	1,343	76	136	63	4	22	1	197

注）平成22年度よりベセスダシステムによる細胞診分類を実施
子宮頸部癌取り扱い規約に準ずる

表3 子宮がん（頸部）検診結果（累計）

昭和41年度～平成28年度

年 度	受診者数	有 所 見 者 数				
		要精検者数	要精検率 (%)	経過 観察者数	経過観察率 (%)	その他 有所見
41～23	4,112,341	23,210	0.6	45,479	1.1	555,066
24	68,050	438	0.6	329	0.5	8,278
25	67,282	859	1.3	327	0.5	8,958
26	66,145	850	1.3	253	0.4	1,548
27	66,477	619	0.9	232	0.3	1,729
28	65,704	632	1.0	217	0.3	1,368
計	4,445,999	26,608	0.6	46,837	1.1	576,947

国の指標値（許容値）

1.4%以下

※H25までその他に超音波所見を含む

表4 子宮がん検診（頸部）実施状況及び発見がん数（累計）

昭和41年度～平成28年度

年 度	受 診 者 数			発 見 が ん 数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
41～23	4,112,341	1,648,346	2,463,995							
24	68,050	45,098	22,952	75	0.11	46	0.10	29	0.13	15.07
25	67,282	43,853	23,429	86	0.13	60	0.14	26	0.11	9.08
26	66,145	43,808	22,337	75	0.11	40	0.09	35	0.16	8.24
27	66,477	44,507	21,970	57	0.09	44	0.10	13	0.06	8.56
28	65,704	43,777	21,927	56	0.09	33	0.08	23	0.10	8.70
合計	4,445,999	1,869,389	2,576,610	349	0.10	223	0.10	126	0.11	9.48

国の指標値（許容値）

0.05%以上

4.0%以上

※（別掲）S45～53まで実施した自己採取の実施数は7,179名、発見がん数は8名

表5 子宮がん検診（頸部）実施状況及び発見がん数（平成28年度・管轄別）

管 轄	受診者数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車	発見 率 (%)	
札幌	35,401	24,652	10,749	484	1.37	335	1.36	149	1.39	450	93.0	38	0.11	22	0.09	16	0.15	7.85
旭川	22,473	14,481	7,992	89	0.40	49	0.34	40	0.50	84	94.4	9	0.04	5	0.03	4	0.05	10.11
釧路	7,830	4,644	3,186	59	0.75	36	0.78	23	0.72	55	93.2	8	0.10	6	0.13	2	0.06	13.56
合計	65,704	43,777	21,927	632	0.96	420	0.96	212	0.97	589	93.2	55	0.08	33	0.08	22	0.10	8.70

国の指標値（許容値）

1.4%以下

70%以上

0.05%以上

4.0%以上

※経過観察からの発見がんを除く

表6 子宮がん検診（頸部）精密検査結果（累計）

昭和41年度～平成28年度

年 度	精密検査 該当数	精密検査 受診者数	精検受診 率（％）	組織診結果内訳						(別掲) がん 経過観察期 間を経た者 数
				が ん		異型上皮		良 性		
				数	率（％）	数	率（％）	数	率（％）	
41～23	23,210	22,859	98.5	4,588	20.1	4,931	21.6	13,330	58.3	
24	438	415	94.7	52	12.5	192	46.3	157	37.8	14
25	859	804	93.6	63	7.8	350	43.5	376	46.8	15
26	850	802	94.4	50	6.2	334	41.6	397	49.5	20
27	619	574	92.7	39	6.8	210	36.6	311	54.2	14
28	632	589	93.2	45	7.6	240	40.7	304	51.6	10
計	26,608	26,043	97.9	4,837	18.6	6,257	24.0	14,875	57.1	73

※組織診結果は確定診断ではない。自己採取を除く。

※この発見がん数は“組織診ののちすぐにがんと診断されたもの”の数であるため、表4・5とは一致しない。

表7 子宮がん検診（頸部）経過観察結果（累計）

昭和41年度～平成25年度

年 度	経過観察該当数	経過観察受診者数	率（％）	経過観察からの 発見がん
41～22	52,056	47,923	92.1	2,061
23	724	664	91.7	28
24	667	595	89.2	21
25	938	744	79.3	16
計	54,385	49,926	91.8	2,126

平成26年度～平成28年度

年 度	経過観察該当数	経過観察 受診者数	率（％）	経過観察からの 発見がん	該当月未到達
26	253	205	81.0	5	0
27	232	195	84.1	5	0
28	217	167	77.0	1	1
計	702	567	80.8	11	

※平成26年度よりシステム変更に伴い、経過観察該当数は当該年度に検診を受診し経過観察となった者のみとし、精検受診後に経過観察となった者や、前年度以前に検診を受診し経過観察中の者を含めないこととしたため、該当数が減少した。

表8 子宮がん検診（頸部）年齢別受診者数と発見がん数（累計）

昭和41年度～平成27年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～29	44,124	116	0.26
30～39	910,178	2,062	0.23
40～49	1,331,034	2,217	0.17
50～59	1,154,489	1,152	0.10
60～69	732,957	617	0.08
70～	205,634	176	0.09
計	4,378,416	6,340	0.14

※10歳階級表

※この発見がん数は体部で要精検になったもののうち頸部がんの診断を受けたものも含むため表4・5とは一致しない。

表10 子宮がん検診（頸部）受診歴別発見がん数（平成28年度）

受診歴	受診者数	発見がん数	発見率(%)
初 回	21,775	45	0.21
1 年前	17,772	1	0.01
2 年前	22,087	8	0.04
3 年前	4,070	2	0.05
計	65,704	56	0.09

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

表9 子宮がん検診（頸部）年齢別受診者数と発見がん数（平成28年度）

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～19	20	0	0.00
20～24	688	0	0.00
25～29	1,290	2	0.16
30～34	2,658	6	0.23
35～39	4,068	6	0.15
40～44	7,301	15	0.21
45～49	6,337	10	0.16
50～54	6,529	6	0.09
55～59	6,269	1	0.02
60～64	8,577	4	0.05
65～69	9,998	4	0.04
70～74	7,346	2	0.03
75～79	3,400	0	0.00
80～	1,223	0	0.00
計	65,704	56	0.09

※5歳階級表

※この発見がん数は体部で要精検になったもののうち頸部がんの診断を受けたものも含むため表4・5及び表10とは一致しない。

表11 子宮がん検診（頸部・体部）追跡調査による発見がんの内訳（累計）

年 度	発見がん数	内 訳					
		頸 部 が ん				体部がん	その他の がん
		上皮内 がん	浸潤がん		区分不能		
			I a	I b以上			
41～23	6,642	3,795	1,227	817	69	378	356
24	98	58	9	8	0	17	6
25	104	62	12	12	0	12	6
26	91	57	10	5	3	15	1
27	78	44	5	8	0	16	5
28	72	43	7	6	0	14	2
計	7,085	4,059	1,270	856	76	452	376

表11 【再掲】子宮がん検診（体部）発見がんの臨床病期

年度	発見がん数	0期	I a期	I b期	I c期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	肉腫	転移性腺がん	進行期不明	他	卵巣がん
62～28	451	12	162	150	28	30	38	3	13	1	14	7	9

表12 子宮がん（体部）検診結果（累計）

昭和62年度～平成28年度

年 度	受診者数	有 所 見 者 数					細胞診結果			発見がん数
		要精検者数	要精検率 (%)	経過 観察者数	経過観察率 (%)	精検不要	陰性	疑陽性	陽性	
62～23	97,511	1,609	1.7	2,039	2.1		94,136	3,105	270	378
24	3,359	36	1.1	108	3.2	3,215	3,218	131	10	17
25	3,597	26	0.7	207	5.8	3,364	3,371	216	10	12
26	3,373	33	1.0	246	7.3	3,094	3,094	270	9	15
27	3,095	25	0.8	230	7.4	2,840	2,841	163	4	15
28	2,461	18	0.7	136	5.5	2,307	2,307	73	6	14
計	113,396	1,747	1.5	2,966	2.6	14,820	108,967	3,958	309	451

※H25までその他に超音波所見を含む

表13 子宮がん検診（体部）実施状況及び発見がん数（累計）

昭和62年度～平成28年度

年 度	受 診 者 数			発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
62～23	97,511	72,843	24,668	378	0.39	277	5.38	101	0.41	
24	3,359	2,887	472	17	0.51	15	0.52	2	0.42	44.44
25	3,597	2,963	634	12	0.33	10	0.34	2	0.32	42.31
26	3,373	2,830	543	15	0.44	14	0.49	1	0.18	36.36
27	3,095	2,588	507	15	0.48	11	0.43	4	0.79	40.00
28	2,461	2,002	459	14	0.57	11	0.55	3	0.65	61.11
合計	113,396	86,113	27,283	451	0.40	338	0.39	113	0.41	43.48

表14 子宮がん検診（体部）実施状況及び発見がん数（平成28年度・管轄別）

管轄	受診者数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車	発見 率 (%)	
札幌	1,573	1,366	207	9	0.57	8	0.59	1	0.48	9	100.0	8	0.51	7	0.51	1	0.48	87.50
旭川	812	602	210	7	0.86	5	0.83	2	0.95	7	100.0	2	0.25	2	0.33	0	0.00	28.57
釧路	76	34	42	2	2.63	1	2.94	1	2.38	2	100.0	1	1.32	0	0.00	1	2.38	50.00
合計	2,461	2,002	459	18	0.73	14	0.70	4	0.87	18	100.0	11	0.45	9	0.45	2	0.44	61.11

※陽性反応適中度は経過観察からの発見がんをのぞいて算出。

表15 子宮がん検診（体部）精密検査結果（累計）

平成23年度～平成28年度

年 度	精密検査 該当数	精密検査 受診者数	精検受診 率（％）	組織診結果内訳						(別掲) がん 経過観察期 間を経た者 数
				が ん		子宮内膜増殖症		良性		
				数	率（％）	数	率（％）	数	率（％）	
23	34	31	91.2	13	41.9	4	12.9	14	0.5	0
24	36	34	94.4	15	44.1	2	5.9	16	0.5	1
25	26	26	100.0	10	38.5	2	7.7	13	0.5	1
26	33	33	100.0	12	36.4	2	6.1	19	0.6	0
27	25	25	100.0	10	40.0	1	4.0	14	0.6	0
28	18	18	100.0	9	50.0	0	0.0	7	0.4	2
計	172	167	97.1	69	41.3	11	6.6	83	0.5	4

※組織診結果は確定診断ではない。自己採取を除く。

※この発見がん数は“組織診ののちすぐにごんと診断されたもの”の数であるため、表12～14とは一致しない。

表16 子宮がん検診（体部）経過観察結果（累計）

平成23年度～平成28年度

年度	経過観察該当数	経過観察受診者数	率（％）	経過観察からの 発見がん
23	110	98	89.1	4
24	108	99	91.7	1
25	207	188	90.8	1
26	246	235	95.5	3
27	230	219	95.2	5
28	135	126	93.3	3
計	1,036	965	93.1	17

表17 子宮がん検診（体部）年齢別受診者数と発見がん数（累計）

昭和62年度～平成27年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～29	15	0	0.00
30～39	497	4	0.80
40～49	7,229	50	0.69
50～59	21,261	294	1.38
60～69	17,423	156	0.90
70～	6,475	59	0.91
計	52,900	563	1.06

※10歳階級表

※この発見がん数は頸部で要精検になったもののうち体部がんの診断を受けたものも含むため表12・13とは一致しない。

表19 子宮がん検診（体部）受診歴別発見がん数（平成28年度）

受診歴	受診者数	発見がん数	発見率(%)
初 回	1,561	6	0.38
1 年前	372	1	0.27
2 年前	434	6	1.38
3 年前	94	1	1.06
計	2,461	14	0.57

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

表18 子宮がん検診（体部）年齢別受診者数と発見がん数（平成28年度）

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～29	0	0	0.00
30～34	2	0	0.00
35～39	6	0	0.00
40～44	80	1	1.25
45～49	204	0	0.00
50～54	414	2	0.48
55～59	347	2	0.58
60～64	423	6	1.42
65～69	461	2	0.43
70～74	347	3	0.86
75～79	143	0	0.00
80～	34	0	0.00
計	2,461	16	0.65

※5歳階級表

※この発見がん数は頸部で要精検になったもののうち体部がんの診断を受けたものも含むため表12～14及び表19とは一致しない。

乳がん検診

平成28年度は、3台の検診車で120市町村¹⁾を延307日間²⁾巡回したほか、8事業所³⁾に延13日間⁴⁾巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、248名（平成29年12月11日現在）のがんを発見した。

1) 札幌63・旭川38・釧路19市町村 2) 札幌156・旭川105・釧路46日間 3) 札幌6・釧路2事業所 4) 札幌10・釧路3日間

	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ⁵⁾	59,136	32,756	19,359	7,021	36,799	21,841	11,193	3,765	22,337	10,915	8,166	3,256
事業所 ⁶⁾	7,258	3,843	2,271	1,144	6,289	3,390	2,080	819	969	453	191	325
個 人 ⁷⁾	5,470	2,890	2,179	401	5,415	2,885	2,130	400	55	5	49	1
合 計	71,864	39,489	23,809	8,566	48,503	28,116	15,403	4,984	23,361	11,373	8,406	3,582

5) 実施主体が市町村のもの 6) 実施主体が事業所のもの 7) 上記以外のもの

【検診の受診状況】

受診総数71,864名のうち、検診車による巡回検診は23,361名（32.5%）、検診センターでの施設検診は48,503名（67.5%）であった。国の指針による40歳以上のマンモグラフィ併用検診対象者は隔年受診のため、平成26年度の受診数と比較すると3,555名増（検診車1,596名増、検診センター1,959名増、増加率5.2%）であった。受診歴別にみると、初回受診者数は1,568名増（増加率6.5%）、1年前受診者数は997名増（増加率6.6%）、2年前受診者数は1,237名増（増加率5.0%）、3年前受診者数は247名減（減少率5.3%）、となっている。50～64歳の受診数は減少がみられるが、全体的に受診数の増加がみられた。

要精検者は2,285名（要精検率3.2%）、経過観察者は67名であった。

【発見がんの状況】

平成28年度の発見がん数は248名、乳がん発見率0.35%、陽性反応適中度10.85%であった。

発見率を年齢階級別にみると、75～79歳以上が0.55%と最も高く、ついで60～64歳で0.46%、65～69歳で0.43%となっている。全体的には、60歳以上の発見率が高いが、45～49歳代の発見率も0.39%と高い傾向がみられる。

また、受診歴別にみると、初回受診者は0.51%と最も多く、次いで3年前受診者は0.43%、2年前受診者が約0.28%、1年前受診者で0.16%であった。平成23年度から平成27年度では、Ⅰ期以下の早期がん割合は67.7%、そのうち非浸潤癌の割合は30.4%であった。

【まとめ】

ここ数年、タレントの乳がん告白などにより乳がんに関する注目が大きく、メディアでも多くの情報が流れており、その影響もあるのか平成27年度から受診数は増加している。メディアによる情報に惑わされず、受診者が正しい知識を持って検診を受けられるよう、今後も啓発活動・ピンクリボン活動など積極的に参加していき、北海道の受診率向上に役立てていきたい。

（保健師 吉川 泰代）

表1 乳がん検診結果（累計）

昭和48年度～平成28年度

年度	受診者数	有所見者数						有所見内訳					精検検査方法内訳		
		要精検者数	要精検率 (%)	経過観察者数	(%)	良性	(%)	乳がん	発見率 (%)	乳腺症	乳腺線維腺腫	その他	XP	超音波	細胞診
48～23	2,298,017	133,919	5.8	17,900	0.8	58,964	2.6	6,840	0.30	138,180	7,142	60,812	69,152	63,957	12,568
24	70,009	3,384	4.8	244	0.3	606	0.9	336	0.48	1,072	234	2,643	505	1,257	116
25	68,885	2,953	4.3	131	0.2	586	0.9	308	0.45	962	229	1,975	345	811	109
26	68,309	2,764	4.0	149	0.2	389	0.6	299	0.44	403	212	1,909	331	810	91
27	71,505	2,618	3.7	75	0.1	354	0.5	323	0.45	303	160	1,846	269	661	92
28	71,864	2,285	3.2	67	0.1	93	0.1	248	0.35	204	107	1,735	361	805	89
計	2,648,589	147,923	5.6	18,566	0.7	60,992	2.3	8,354	0.32	141,124	8,084	70,920	70,963	68,301	13,065

国の指標値（許容値）

11.0%以下

0.23%以上

※有所見内訳と有所見総数は1人で2つ以上の所見を有する場合があります一致しない。

※精検検査方法内訳と要精検者数は1人で2つ以上を実施する場合があります一致しない。

表2 乳がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

昭和48年度～平成28年度

年度	受診者数			発見がん数						陽性反応 適中度 (%)
	総数	検診 センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
48～23	2,298,017	1,331,809	966,208	6,840	0.30	4,940	0.37	1,900	0.20	
24	70,009	48,142	21,867	336	0.48	241	0.50	95	0.43	9.04
25	68,885	46,927	21,958	308	0.45	229	0.49	79	0.36	8.74
26	68,309	46,907	21,402	299	0.44	214	0.46	85	0.40	9.95
27	71,505	49,322	22,183	323	0.45	229	0.46	94	0.42	11.23
28	71,864	48,503	23,361	248	0.35	187	0.39	61	0.26	10.46
合計	2,648,589	1,571,610	1,076,979	8,354	0.32	6,040	0.38	2,314	0.21	

国の指標値（許容値）

0.23%以上

2.5%以上

※平成17年度よりマンモグラフィを全員に実施。

※陽性反応適中度は経過観察からの発見がんを除いて算出。

表3 乳がん検診実施状況及び発見がん数（平成28年度・管轄別）

管轄	受診者数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車	発見 率 (%)	
札幌	39,489	28,116	11,373	1,009	2.6	706	2.5	303	2.7	992	98.3	127	0.32	101	0.36	26	0.23	11.60
旭川	23,809	15,403	8,406	793	3.3	505	3.3	288	3.4	789	99.5	102	0.43	74	0.48	28	0.33	13.50
釧路	8,566	4,984	3,582	483	5.6	355	7.1	128	3.6	466	96.5	19	0.22	12	0.24	7	0.20	3.11
合計	71,864	48,503	23,361	2,285	3.2	1,566	3.2	719	3.1	2,247	98.3	248	0.35	187	0.39	61	0.26	10.46

国の指標値（許容値）

11.0%以下

80%以上

0.23%以上

2.5%以上

※陽性反応適中度は経過観察からの発見がんを除いて算出。

表4 乳がん検診要組織診結果（累計）

昭和53年度～平成25年度

年 度	要 組 織 診 該 当 数	組 織 診 受 診 数	有 所 見							
			乳 が ん	(%)	乳 腺 症	(%)	乳腺線維腺腫	(%)	そ の 他	(%)
53～21	34,089	33,343	5,233	15.4	10,679	31.3	2,468	7.2	14,342	42.1
22	2,504	2,464	362	14.5	368	14.7	121	4.8	1,573	62.8
23	2,157	2,116	285	13.2	309	14.3	92	4.3	1,395	64.7
24	2,414	2,355	330	13.7	289	12.0	109	4.5	1,629	67.5
25	2,370	2,295	302	12.7	241	10.2	106	4.5	1,606	67.8
計	43,534	42,573	6,512	15.0	11,886	27.3	2,896	6.7	20,545	47.2

※組織診受診者数と有所見は1人で2つ以上の所見を有する場合がありますが一致しない。

※この表の有所見内訳は、経過観察期間を経ずに診断された件数であり、表1の内訳とは一致しない。

表5 乳がん検診要精検結果（累計）

平成26年度～平成28年度

年 度	要精検者数	精検 受診者数	有 所 見 内 訳							
			乳 が ん	(%)	乳 腺 症	(%)	乳腺線維腺腫	(%)	そ の 他	(%)
26	2,764	2,713	297	10.7	287	10.4	209	7.6	1,828	66.1
27	2,618	2,568	314	12.0	303	11.6	152	5.8	1,814	69.3
28	2,285	2,247	248	10.9	204	8.9	107	4.7	1,735	75.9
計	7,667	7,528	859	11.2	794	10.4	468	6.1	5,377	70.1

※平成26年度よりシステム変更に伴い、要組織診該当数の算出が困難となったため、表4から表5へと変更した。

※精検受診者数と有所見内訳は1人で2つ以上の所見を有する場合がありますが一致しない。

※この表の有所見内訳は、経過観察からの発見がんを除く。

表6 年齢別受診者数と発見がん数（累計）

昭和48年度～平成27年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～29	16,147	16	0.10
30～39	335,261	375	0.11
40～49	703,152	2,232	0.32
50～59	739,997	2,255	0.30
60～69	586,070	2,244	0.38
70～	196,098	984	0.50
計	2,576,725	8,106	0.31

※10歳階級表

表7 年齢別受診者数と発見がん数

(平成28年度)

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～29	648	0	0.00
30～34	1,696	0	0.00
35～39	2,905	4	0.14
40～44	9,121	21	0.23
45～49	7,516	29	0.39
50～54	7,683	22	0.29
55～59	7,108	19	0.27
60～64	9,827	45	0.46
65～69	11,314	49	0.43
70～74	8,475	31	0.37
75～79	4,022	22	0.55
80～	1,549	6	0.39
計	71,864	248	0.35

※5歳階級表

表8 受診歴別発見がん数（平成28年度）

受診歴	受診者数	発見がん数	発見率(%)
初回受診	25,517	130	0.51
1年前受診	16,185	26	0.16
2年前受診	25,738	73	0.28
3年前受診	4,424	19	0.43
計	71,864	248	0.35

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

表9 がん発見時の受診状況（累計）

昭和48年度～平成27年度

年度	発見がん数	発見時の内訳		
		初回受診	経過観察	再受診
48～22	6,547	3,119	976	2,452
23	293	172	27	94
24	336	191	30	115
25	308	147	50	111
26	299	157	24	118
27	323	182	25	116
計	8,106	3,968	1,132	3,006

※再受診とは・・・前回の検診から3年以内に検診を受診し、
1ヶ月以上の経過観察指示を受けずに乳癌と診断された方

表10 追跡調査による発見がんの病期区分（累計）

昭和48年度～平成27年度

年 度	総 数	病 期 分 類								
		早 期 が ん				進 行 が ん				不 明
		計	O	I	旧分類O	計	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	
48～22	6,547	3,751	645	3,051	55	2,745	2,328	357	60	51
23	293	187	49	138	0	101	86	9	6	5
24	336	229	46	183	0	102	91	9	2	5
25	308	217	55	162	0	85	79	5	1	6
26	299	202	39	163	0	91	79	7	5	6
27	323	221	57	164	0	95	84	8	3	7
合計	8,106	4,807	891	3,861	55	3,219	2,747	395	77	80

乳癌取扱い規約に準ずる。

肺がん検診

平成28年度は、18台の検診車で121市町村¹⁾を延1,777日間²⁾巡回したほか、23事業所³⁾に延23日間⁴⁾巡回し、検診を実施した。胸部CT検査に関しては、1台の検診車で22市町村を延49日間巡回したほか、5事業所に延8日間巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、胸部X線検査では81名、胸部CT検査では16名（平成29年12月11日現在）のがんを発見した。

1) 札幌57・旭川45・釧路19市町村 2) 札幌684・旭川615・釧路478日間 3) 札幌13・旭川4・釧路6事業所 4) 札幌10・旭川4・釧路9日間

胸部 X線検査	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ⁵⁾	82,794	33,316	31,614	17,864	17,437	5,495	8,201	3,741	65,357	27,821	23,413	14,123
事業所 ⁶⁾	1,149	329	188	632	126	101	24	1	1,023	228	164	631
個 人 ⁷⁾	6,993	6,886	82	25	6,981	6,885	75	21	12	1	7	4
合 計	90,936	40,531	31,884	18,521	24,544	12,481	8,300	3,763	66,392	28,050	23,584	14,758

胸部 CT検査	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ⁵⁾	2,099	507	1,228	364	185	66	119	0	1,914	441	1,109	364
事業所 ⁶⁾	250	243	3	4	103	96	3	4	147	147	0	0
個 人 ⁷⁾	1,912	1,742	71	99	1,841	1,739	71	31	71	3	0	68
合 計	4,261	2,492	1,302	467	2,129	1,901	193	35	2,132	591	1,109	432

5) 実施主体が市町村のもの 6) 実施主体が事業所のもの 7) 上記以外のもの

【胸部X線検査】

受診数は前年度に比べ3,079名減少している。減少の内訳としては、実施主体別では市町村が85.2%と大部分を占め、実施形態別では検診車の割合が54.9%と若干多い。受診歴別では、1年前受診者が全体の半分以上を占めている（60.2%）。性・年齢階級別の受診状況では、男女ともに60～70歳代の受診が多く、受診層に変わりは見られない。精検受診率やがん発見率は例年と大きく変わりなく、いずれも国の指標値を大きく上回っている。発見がんのうち、I期の割合は半分以上を占めている（52.6%）。早期がんの発見のためにも、今後も受診拡大や継続受診にむけたアプローチをしていく。

【胸部CT検査】

受診数は昨年度よりも増加している（123名増、増加率3.0%）。精検受診率は大きく変わりなく、高い割合を維持している。肺がん発見率は例年より低いですが、現時点で追跡調査中のケースも多く、今後増加していくものと予想される。発見がんのうちI期の割合は76.2%で、平成14年度からの総計をみても0～I期の割合は80.1%と大部分が早期で発見されている。胸部X線検査と比較して早期で発見される割合は大きいですが、要精検者や擬陽性で経過観察になるケースも多いため、デメリットも理解したうえで受診できるよう十分な配慮が必要である。

（保健師 横内 紫乃）

表1 肺がん検診結果（累計）

昭和51年度～平成28年度

年 度	受 診 者 数		要精検者数	要精検率 (%)	有所見者数	有所見率 (%)	精検受診数	精検受診率 (%)
		(再掲) 喀痰実施数						
51～23	2,611,794	209,655	91,375	3.5	311,046	11.9	84,648	92.6
24	94,169	3,781	2,223	2.4	10,270	10.9	2,011	90.5
25	91,329	3,419	2,091	2.3	10,608	11.6	1,933	92.4
26	90,431	2,592	2,040	2.3	10,642	11.8	1,896	92.9
27	94,015	2,454	1,829	1.9	11,633	12.4	1,676	91.6
28	90,936	2,329	2,386	2.6	11,762	12.9	2,221	93.1
計	3,072,674	224,230	101,944	3.3	365,961	11.9	94,385	92.6

国の指標値（許容値）

3.0%以下

指標なし

70%以上

※平成26年度よりシステム変更に伴い、これまで含まれていなかった事業所分・人間ドック分の受診者数を含めるように改変した。（胃がん・肺がん・大腸がん）

表2 肺がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

昭和51年度～平成28年度

年 度	受 診 者 数			発 見 が ん 数						陽性反応 適中度 (%)
	総 数	検診 センター	検 診 車	総 数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
51～23	2,611,794	464,954	2,146,840	1,931	0.07	412	0.09	1,519	0.07	2.11
24	94,169	26,625	67,544	87	0.09	23	0.09	64	0.09	3.91
25	91,329	25,778	65,551	85	0.09	20	0.08	65	0.10	4.07
26	90,431	24,982	65,449	91	0.10	22	0.09	69	0.11	4.46
27	94,015	25,934	68,081	76	0.08	15	0.06	61	0.09	4.16
28	90,936	24,544	66,392	81	0.07	14	0.06	67	0.10	3.39
合計	3,072,674	592,817	2,479,857	2,351	0.08	506	0.09	1,845	0.07	2.31

国の指標値（許容値）

0.03%以上

1.3%以上

表3 肺がん検診実施状況及び発見がん数（平成28年度・管轄別）

管轄	受 診 者 数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車	発見 率 (%)	
札幌	40,531	12,481	28,050	628	1.5	171	1.4	457	1.6	586	93.3	40	0.10	7	0.06	33	0.12	6.37
旭川	31,884	8,300	23,584	1,391	4.4	94	1.1	1,297	5.5	1,295	93.1	23	0.07	5	0.06	18	0.08	1.65
釧路	18,521	3,763	14,758	367	2.0	55	1.5	312	2.1	340	92.6	18	0.10	2	0.05	16	0.11	4.90
合計	90,936	24,544	66,392	2,386	2.6	320	1.3	2,066	3.1	2,221	93.1	81	0.09	14	0.06	67	0.10	3.39

国の指標値（許容値）

3.0%以下

70%以上

0.03%以上

1.3%以上

表4 喀痰細胞診実施結果（累計・抜粋）

昭和62年度～平成28年度

年 度	喀痰検査 実施数	要精検者数	要経過 観察者数	判 定 区 分					肺がん	その他の がん
				A	B	C	D	E		
62～23	192,961	399	3,144	657	188,791	3,125	211	177	222	38
24	3,781	9	35	5	3,732	35	5	4	6	1
25	3,419	4	30	3	3,382	29	3	2	4	1
26	2,592	2	25	2	2,566	22	1	1	3	0
27	2,454	0	9	2	2,447	5	0	0	0	0
28	2,329	2	5	1	2,321	5	1	1	0	1
計	207,536	416	3,248	670	203,239	3,221	221	185	235	41

表5 年齢別受診者数と発見がん数（累計）

昭和38年度～平成27年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～39	203,648	4	0.002
40～49	484,700	62	0.01
50～59	687,880	229	0.03
60～69	959,660	978	0.10
70～	645,850	997	0.15
計	2,981,738	2,270	0.08

※10歳階級表

表6 性・年齢別受診者数と発見がん数（平成28年度）

年 齢	受 診 者 数			発見がん数			発見率 (%)		
性 別	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性
～39	2,364	1,107	1,257	0	0	0	0.00	0.00	0.00
40～44	4,618	1,645	2,973	0	0	0	0.00	0.00	0.00
45～49	4,388	1,556	2,832	0	0	0	0.00	0.00	0.00
50～54	4,987	1,590	3,397	0	0	0	0.00	0.00	0.00
55～59	6,278	1,899	4,379	1	0	1	0.02	0.00	0.02
60～64	11,775	3,687	8,088	10	6	4	0.08	0.16	0.05
65～69	20,753	7,933	12,820	20	13	7	0.10	0.16	0.05
70～74	17,360	6,848	10,512	21	12	9	0.12	0.18	0.09
75～79	11,448	5,010	6,438	14	10	4	0.12	0.20	0.06
80～	6,965	3,562	3,403	15	11	4	0.22	0.31	0.12
総 数	90,936	34,837	56,099	81	52	29	0.09	0.15	0.05

※5歳階級表

表7 性・受診歴別受診者数および発見がん数（平成28年度）

受診歴	受診者数			発見がん数			発見率（％）		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
初 回	36,165	12,690	23,475	34	19	15	0.09	0.15	0.06
1 年 前	54,771	22,147	32,624	47	33	14	0.09	0.15	0.04
計	90,936	34,837	56,099	81	52	29	0.09	0.15	0.05

※初回受診には、2年以上受診のなかった方も含む

表8 追跡調査による発見がんの病期区分（累計）

昭和51年度～平成27年度

年 度	発見がん数	病 期 分 類						
		〇 C	〇	I	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	不 明
51～22	1,858	2	20	1,000	127	445	220	44
23	73	0	0	44	8	11	10	0
24	87	0	1	50	9	13	12	2
25	85	0	0	49	6	15	13	2
26	91	0	0	40	12	22	15	2
27	76	0	0	40	4	15	12	5
計	2,270	2	21	1,223	166	521	282	55

肺癌取扱い規約準ずる。

C T肺がん検診

表1 C T肺がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

平成14年度～平成28年度

年度	受診者数			要精検者数						発見がん数					
	総数	検診センター	検診車	総数	要精検率(%)	検診センター	要精検率(%)	検診車	要精検率(%)	総数	発見率(%)	検診センター	発見率(%)	検診車	発見率(%)
14～23	17,253	12,090	5,163	1,051	6.1	801	6.6	250	4.8	89	0.52	60	0.50	29	0.56
24	3,907	2,076	1,831	125	3.2	81	3.9	44	2.4	23	0.59	16	0.77	7	0.38
25	3,908	2,027	1,881	162	4.1	113	5.6	49	2.6	20	0.51	16	0.79	4	0.21
26	3,766	1,947	1,819	111	2.9	78	4.0	33	1.8	13	0.35	8	0.41	5	0.27
27	4,138	2,140	1,998	144	3.5	78	3.6	66	3.3	21	0.51	13	0.61	8	0.40
28	4,261	2,129	2,132	248	5.8	112	5.3	136	6.4	16	0.38	9	0.42	7	0.33
合計	37,233	22,409	14,824	1,841	4.9	1,263	5.6	578	3.9	182	0.49	122	0.54	60	0.40

表2 C T肺がん検診結果（累計）

平成14年度～平成28年度

年 度	受診者数		要精検者数	要精検率(%)	有所見者数	有所見率(%)	精検受診数	精検受診率(%)
	(再掲) 略痰実施数							
14～23	17,253	3,445	1,051	6.1	12,249	71.0	1,001	95.2
24	3,907	546	125	3.2	3,155	80.8	119	95.2
25	3,908	579	162	4.1	3,221	82.4	155	95.7
26	3,766	398	111	2.9	3,233	85.8	105	94.6
27	4,138	455	144	3.5	3,453	83.4	136	94.4
28	4,261	378	248	5.8	3,497	82.1	237	95.6
計	37,233	5,801	1,841	4.9	28,808	77.4	1,753	95.2

注）平成18年度より政管・ドック分も含む

表3 C T肺がん検診略痰細胞診結果（累計・抜粋）

平成14年度～平成28年度

年 度	略痰検査実施数	要精検者数	要経過観察者数	判 定 区 分					肺がん	その他のがん
				A	B	C	D	E		
14～23	3,445	7	81	14	3,350	76	4	1	2	0
24	546	1	4	2	539	4	1	0	0	0
25	579	0	4	3	572	3	1	0	0	0
26	398	0	6	3	392	3	0	0	0	0
27	455	0	2	0	453	2	0	0	0	0
28	378	0	2	0	376	2	0	0	0	0
計	5,801	8	99	22	5,682	90	6	1	2	0

表4 追跡調査による発見がんの病期区分（ＣＴ検診発見分・累計）

平成14年度～平成27年度

年 度	発見がん数	病 期 分 類						
		ＯＣ	Ｏ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	不明
14～22	72	0	0	56	4	7	5	0
23	17	0	0	16	0	1	0	0
24	23	0	0	17	5	1	0	0
25	20	0	0	16	1	2	1	0
26	13	0	2	10	0	1	0	0
27	21	0	0	16	0	3	2	0
計	166	0	2	131	10	15	8	0

注）平成18年度より政管・ドック分も含む

大腸がん検診

平成28年度は、127市町村¹⁾、1,999事業所²⁾で検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、394名（平成29年12月11日現在）のがんを発見した。

1) 札幌59・旭川46・釧路21市町村 2) 札幌1215・旭川431・釧路353事業所

	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ³⁾	118,718	66,776	34,720	17,222	33,891	20,564	9,058	4,269	84,827	46,212	25,662	12,953
事業所 ⁴⁾	10,462	15,080	2,156	1,842	8,503	5,453	1,480	1,570	1,959	1011	676	272
個 人 ⁵⁾	776	587	139	50	766	585	135	46	10	2	4	4
合 計	129,956	73,827	37,015	19,114	43,160	26,602	10,673	5,885	86,796	47,225	26,342	13,229

3) 実施主体が市町村のもの

4) 実施主体が事業所のもの

5) 上記以外のもの

【最近の動向について】

平成28年度、がん死亡数は372,281名（大腸がん死亡数50,077名）で昨年度よりも増加していた^{※1}。また部位別死亡数順位（2015）は、大腸がんが男性3位、女性1位、がん罹患数全国推計値（2013）は男性3位、女性2位であった^{※2}。※1 厚労省人口動態統計 ※2 最新がん統計

【検診の受診状況】

受診総数は129,956名（前年比10,225名減、増加率-7.3%）で、検診車による巡回検診が86,796名（前年比増加率-8.9%）、検診センターでの施設検診が43,160名（前年比増加率-5.5%）であった。とりわけ、札幌管轄の巡回検診(5,880名)における減少が多かった。受診歴別にみると、初回受診者（過去3年間、当協会における大腸がん検診の受診歴がない者）の割合は全体の23.6%であった。

【精密検査の受診状況】

要精検者は9,814名（検診車6,930名、検診センター2,884名）で、要精検率は7.6%、精検受診率は83.1%であった。また男女ともに若年であるほど精検受診率は低く、最低65.5%（～39歳）、最高90.0%（75～79歳）と世代間の差が大きかった。また、性別の精検受診率は男性80.6%、女性85.4%と性別間でも差が見られた。

【発見がんについて】

平成28年度の発見がんの総数は394名（男性217名、女性177名）で、がん発見率は0.30%、陽性反応適中度は4.01であった。男女共に初回受診者において、また、高齢になるほどがん発見率が高かった。検診で発見されたがんのうち約7割が早期がんであった。

【まとめ】

受診数は昨年に比べて減少したが、2年度前までの実施数と同等であった。減少した年齢層は55～64歳が大半で、同世代の特徴としてがんが発見される人が多いことから、継続受診を勧めていくことが必要である。また精検未受診で検診を受診する者もいるので、正しい受診を勧めていきたい。

（保健師 能田 真結）

表1 大腸がん検診結果及び精検結果（累計）

昭和62年度～平成28年度

年 度	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	精検受診者数	精検受診率(%)	精 検 結 果 内 訳					
						大腸がん	炎症	潰瘍	ポリープ	そ の 他	異常なし
62～23	2,431,829	255,375	10.5	216,927	84.9	7,405	2,682	203	84,471	27,333	94,833
24	126,494	8,898	7.0	7,641	85.9	402	152	11	3,643	1,161	2,273
25	124,216	9,614	7.7	8,333	86.7	436	165	12	4,147	1,260	2,314
26	130,777	10,701	8.2	9,119	85.2	445	149	8	4,596	1,351	2,570
27	140,181	11,128	7.9	9,317	83.7	465	148	11	4,749	1,445	2,531
28	129,956	9,814	7.6	8,157	83.1	394	139	7	4,060	1,321	2,236
計	3,083,453	305,530	9.9	259,494	84.9	9,547	3,435	252	105,666	33,871	106,757

国の指標値（許容値）

7.0%以下

70.0%以上

表2 大腸がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

昭和62年度～平成28年度

年 度	受 診 者 数			発 見 が ん 数						陽性反応 適中度 (%)
	総 数	検診 センター	検 診 車	総 数	%	検診 センター	%	検 診 車	%	
62～23	2,431,829	642,817	1,789,012	7,406	0.30	1,858	0.29	5,548	0.31	2.90
24	126,494	40,301	86,193	402	0.32	120	0.30	282	0.33	4.52
25	124,216	40,107	84,109	436	0.35	118	0.29	318	0.38	4.54
26	130,777	43,103	87,674	445	0.34	118	0.27	327	0.37	4.16
27	140,181	45,673	94,508	465	0.33	124	0.27	341	0.36	4.18
28	129,956	43,160	86,796	394	0.30	107	0.25	287	0.33	4.01
合計	3,083,453	855,161	2,228,292	9,548	0.31	2,445	0.29	7,103	0.32	3.13

国の指標値（許容値）

0.13%以上

1.9%以上

表3 大腸がん検診実施状況及び発見がん数（平成28年度・管轄別）

管轄	受 診 者 数			要 精 検 者 数						精検受診者数		発 見 が ん 数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	%	検診 センター	%	検診車	%	総数	%	総数	%	検診 センター	%	検診車	%	
札幌	73,827	26,602	47,225	5,427	7.4	1,667	6.3	3,760	8.0	4,531	83.5	213	0.29	50	0.19	163	0.35	3.92
旭川	37,015	10,673	26,342	2,805	7.6	745	7.0	2,060	7.8	2,333	83.2	116	0.31	31	0.29	85	0.32	4.14
釧路	19,114	5,885	13,229	1,582	8.3	472	8.0	1,110	8.4	1,293	81.7	65	0.34	26	0.44	39	0.29	4.11
合計	129,956	43,160	86,796	9,814	7.6	2,884	6.7	6,930	8.0	8,157	83.1	394	0.30	107	0.25	287	0.33	4.01

国の指標値（許容値）

7.0%以下

70%以上

0.13%以上

1.9%以上

※陽性反応適中率は経過観察からの発見がんをのぞいて算出した。

表4 性・年齢別大腸がん検診実施状況及び精密検査結果（平成28年度）

年齢	性別	受診者数	要精検者数	精検 受診者数	精 検 結 果 内 訳					
					大腸がん	炎症	潰瘍	ポリープ	その他	異常なし
～39	男	1,628	78	54	0	4	0	19	7	24
	女	1,630	87	54	0	3	0	12	12	27
	計	3,258	165	108	0	7	0	31	19	51
40～44	男	3,078	146	86	1	3	0	34	20	28
	女	5,035	275	198	7	4	0	56	27	104
	計	8,113	421	284	8	7	0	90	47	132
45～49	男	2,781	168	122	5	4	0	54	13	46
	女	4,856	262	204	6	15	0	49	36	98
	計	7,637	430	326	11	19	0	103	49	144
50～54	男	2,778	185	107	9	1	0	58	9	30
	女	5,677	271	213	7	4	0	77	41	84
	計	8,455	456	320	16	5	0	135	50	114
55～59	男	3,146	240	162	8	5	1	89	27	32
	女	6,609	335	279	12	9	0	105	48	105
	計	9,755	575	441	20	14	1	194	75	137
60～64	男	5,331	442	335	26	3	1	199	46	60
	女	11,494	626	542	16	12	0	213	92	209
	計	16,825	1,068	877	42	15	1	412	138	269
65～69	男	10,585	946	768	51	10	1	463	111	132
	女	17,379	1,039	912	47	12	1	403	152	297
	計	27,964	1,985	1,680	98	22	2	866	263	429
70～74	男	9,137	965	820	61	13	0	513	108	125
	女	13,990	1,025	923	34	8	0	438	179	264
	計	23,127	1,990	1,743	95	21	0	951	287	389
75～79	男	6,635	787	703	33	5	1	436	105	123
	女	8,713	709	644	34	10	0	289	115	196
	計	15,348	1,496	1,347	67	15	1	725	220	319
80～	男	4,858	726	618	23	9	1	360	88	137
	女	4,616	502	413	14	5	1	193	85	115
	計	9,474	1,228	1,031	37	14	2	553	173	252
合計	男	49,957	4,683	3,775	217	57	5	2,225	534	737
	女	79,999	5,131	4,382	177	82	2	1,835	787	1,499
	計	129,956	9,814	8,157	394	139	7	4,060	1,321	2,236

表5 年齢別受診者数と発見がん数（累計）
昭和62年度～平成27年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率（％）
～29	4,987	1	0.02
30～39	59,829	33	0.06
40～49	417,292	413	0.10
50～59	678,722	1,367	0.20
60～69	1,067,171	3,910	0.37
70～	725,496	3,430	0.47
計	2,953,497	9,154	0.31

※10歳階級表

表6 性・年齢別受診者数と発見がん数（平成28年度）

年 齢	受 診 者 数			発見がん数			発見率（％）		
性 別	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性
～29	180	103	77	0	0	0	0.00	0.00	0.00
30～34	707	355	352	0	0	0	0.00	0.00	0.00
35～39	2,371	1,170	1,201	0	0	0	0.00	0.00	0.00
40～44	8,113	3,078	5,035	8	1	7	0.10	0.03	0.14
45～49	7,637	2,781	4,856	11	5	6	0.14	0.18	0.12
50～54	8,455	2,778	5,677	16	9	7	0.19	0.32	0.12
55～59	9,755	3,146	6,609	20	8	12	0.21	0.25	0.18
60～64	16,825	5,331	11,494	42	26	16	0.25	0.49	0.14
65～69	27,964	10,585	17,379	98	51	47	0.35	0.48	0.27
70～74	23,127	9,137	13,990	95	61	34	0.41	0.67	0.24
75～79	15,348	6,635	8,713	67	33	34	0.44	0.50	0.39
80～	9,474	4,858	4,616	37	23	14	0.39	0.47	0.30
総 数	129,956	49,957	79,999	394	217	177	0.30	0.43	0.22

※5歳階級表

表7 性・受診歴別受診者数及び発見がん数（平成28年度）

受診歴	受 診 者 数			発見がん数			発見率（％）		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
初 回	30,626	11,695	18,931	195	110	85	0.64	0.94	0.45
1 年 前	78,804	31,954	46,850	144	76	68	0.18	0.24	0.15
2 年 前	15,547	4,696	10,851	32	16	16	0.21	0.34	0.15
3 年 前	4,979	1,612	3,367	23	15	8	0.46	0.93	0.24
計	129,956	49,957	79,999	394	217	177	0.30	0.43	0.22

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

表8 追跡調査による発見がんの内訳（累計）

昭和62年度～平成27年度

年度	発見がん数 (A)	手術施行数 (B)	B/A (%)	手術施行内訳 (C)						(再掲) 内視鏡 切除数 (D)	D/B (%)	手術 未施行 (E)	E/A (%)
				早期 がん	C/B (%)	進行 がん	C/B (%)	深達度 不明	C/B (%)				
62～22	7,033	7,368	104.8	4,671	63.4	2,276	30.9	27	0.4	3,362	45.6	59	0.8
23	373	369	98.9	237	64.2	132	35.8	0	0.0	171	46.3	3	0.8
24	402	397	98.8	276	69.5	121	30.5	0	0.0	208	52.4	7	1.7
25	436	430	98.6	305	70.9	125	29.1	0	0.0	227	52.8	7	1.6
26	445	439	98.7	300	68.3	137	31.2	2	0.5	224	51.0	7	1.6
27	465	457	98.3	310	67.8	147	32.2	0	0.0	224	49.0	8	1.7
計	9,154	9,066	99.0	6,099	67.3	2,938	32.4	29	0.3	4,416	48.7	91	1.0

表9 発見がんにおける手術施行者の深達度（平成27年度）

手術施行	早 期 が ん		進 行 が ん				深達度不明
	m	s m	m p	s s	s e (a)	s i (a i)	
457	207	103	46	72	24	5	0

大腸癌取扱い規約に準ずる。

前立腺がん検診

平成28年度は、67市町村¹⁾、4事業所²⁾を巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、137名（平成29年12月11日現在）のがんを発見した。

1) 札幌25・旭川28・釧路14市町村 2) 札幌4事業所

	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ³⁾	12,396	4,996	3,783	3,617	1,193	354	154	685	11,203	4,642	3,629	2,932
事業所 ⁴⁾	613	310	240	63	511	280	169	62	102	30	71	1
個 人 ⁵⁾	3,578	2,489	1,044	45	3,375	2,291	1,039	45	203	198	5	0
合 計	16,587	7,795	5,067	3,725	5,079	2,925	1,362	792	11,508	4,870	3,705	2,933

3) 実施主体が市町村のもの 4) 実施主体が事業所のもの 5) 上記以外のもの

【検診の受診状況】

対象者は基本的に50歳以上と定められているが、実施主体によっては50歳以下も対象とし、PSA（前立腺特異抗原）の検査を実施している。受診総数は平成18年度より年々増加しており、平成28年度も同様であり、379名の増加（増加率2.3%）であった。

【精密検査の受診状況】

要精検者数は724名で、要精検率は4.4%であった。そのうち精検受診者数は601名であり、精検受診率は83.0%で、例年と大きな差はなかった。

【発見がんについて】

発見がん（率）は137名（0.83%）で、検診センター50名、検診車87名であった。

年齢階級別にみると、50歳～54歳の階級以降からがんが発見されており、65歳～69歳の階級で発見率はピークとなっている。

受診歴別発見がんでは、初回受診者のがん発見率が最も高く、次いで3年前の受診者の発見率が高かった。

【まとめ】

前立腺がんは高齢化に伴って急増しており、現在は男性の11人に1人が罹患するといわれている。

前立腺がん検診は血液検査で行い、食事制限もないことから、健康診査等と同時に受診しやすい。特に50歳以上の働き盛りの世代を中心に、他のがん検診や健康診査等とあわせて受診するよう勧奨していきたい。

（保健師 松原 由布子）

表1 前立腺がん検診実施状況及び精検結果（累計）

平成9年度～平成28年度

年 度	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	精検 受診者数	精検受診率 (%)	精 検 結 果 内 訳			
						前立腺がん	前立腺肥大	そ の 他	異常なし
9～23	97,696	6,346	6.5	4,777	75.3	1,073	1,755	1,178	771
24	14,073	805	5.7	640	79.5	151	211	173	105
25	14,220	787	5.5	627	79.7	124	213	173	117
26	14,825	776	5.2	624	80.4	137	177	175	135
27	16,208	770	4.8	641	83.2	162	167	175	137
28	16,587	724	4.4	601	83.0	137	161	183	120
計	173,609	10,208	5.9	7,910	77.5	1,784	2,684	2,057	1,385

※平成26年度よりシステム変更に伴い、これまで含まれていなかった人間ドック分の受診者数を含めるように改変した。

表2 前立腺がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

平成9年度～平成28年度

年 度	受 診 者 数			発 見 が ん 数						陽性反応 適中度 (%)
	総 数	検診 センター	検診車	総 数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
9～23	97,696	30,397	67,299	1,073	1.10	382	1.26	691	1.03	16.91
24	14,073	4,351	9,722	151	1.07	39	0.90	112	1.15	18.76
25	14,220	4,830	9,390	124	0.87	51	1.06	73	0.78	15.76
26	14,825	4,974	9,851	137	0.92	47	0.94	90	0.91	17.65
27	16,208	5,113	11,095	162	1.00	53	1.04	108	0.97	21.04
28	16,587	5,079	11,508	137	0.83	50	0.98	87	0.76	18.92
計	173,609	54,744	118,865	1,784	1.03	622	1.14	1,161	0.98	

表3 前立腺がん検診実施状況及び発見がん数（平成28年度・管轄別）

管轄	受 診 者 数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反応 適中度 (%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車	発見 率 (%)	
札幌	7,795	2,925	4,870	341	4.4	120	4.1	221	4.5	287	84.2	72	0.92	28	0.96	44	0.90	21.11
旭川	5,067	1,362	3,705	207	4.1	53	3.9	154	4.2	167	80.7	30	0.59	12	0.88	18	0.49	14.49
釧路	3,725	792	2,933	176	4.7	33	4.2	143	4.9	147	83.5	35	0.94	10	1.26	25	0.85	19.89
総数	16,587	5,079	11,508	724	4.4	206	4.1	518	4.5	601	83.0	137	0.83	50	0.98	87	0.76	18.92

表4 年齢別受診数と発見がん数（累計）
平成9年度～平成27年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～39	959	0	0.00
40～49	5,550	2	0.04
50～59	27,032	63	0.23
60～69	65,513	599	0.91
70～	57,938	983	1.70
年齢不詳	30	0	0.00
総 数	157,022	1,647	1.05

※10歳階級表

表6 受診歴別発見がん数（平成28年度）

受診歴	受診者数	発見がん数	発見率(%)
初 回	5,419	89	1.64
1 年前	8,961	28	0.31
2 年前	1,636	13	0.79
3 年前	571	7	1.23
計	16,587	137	0.83

初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む。

表5 年齢別受診数と発見がん数
（平成28年度）

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～39	106	0	0.00
40～44	300	0	0.00
45～49	346	0	0.00
50～54	1,043	2	0.19
55～59	1,341	4	0.30
60～64	2,232	11	0.49
65～69	4,608	40	0.87
70～74	3,459	38	1.10
75～79	2,040	30	1.47
80～	1,112	12	1.08
総 数	16,587	137	0.83

※5歳階級表

健康診査

各市町村と契約がある国民健康保険加入者、その他の健康保険組合被扶養者の特定健康診査ならびに後期高齢者の健康診査、市町村の一般健康診査を実施している。

平成29年度は、86市町村¹⁾を巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりである。

1) 札幌37・旭川32・釧路17市町村

	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ²⁾	55,824	26,684	18,549	10,591	11,253	7,346	2,705	1,202	44,571	19,338	15,844	9,389
その他 ³⁾	4,597	2,824	1,235	538	3,616	2,281	868	467	981	543	367	71
合 計	60,421	29,508	19,784	11,129	14,869	9,627	3,573	1,669	45,552	19,881	16,211	9,460

2) 実施主体が市町村国民健康保険、後期高齢者健康保険組合、市町村のもの

3) 実施主体がその他の健康保険組合のもの

【表について】

特定健診が開始された平成20年度以降は、健康増進法施行規則第4条の2に基づき、集計項目を表2のとおり変更した。

要指導・要医療の基準値については、厚生労働省健康局や各専門学会のガイドラインを参考に定めている。

また、現在治療中の者は要医療に含めている。

貧血検査、腎機能検査については、市町村の選択項目であるため、市町村によって対象者が異なる。

【受診動向について】

平成28年度の受診総数は55,824名であり、前年度より1,230名減少した。検診車による巡回健診は44,571名、検診センターでの施設健診は11,253名であり、巡回健診受診人数は増加したが、施設健診受診数は減少した。

健診結果別にみると、「異常なし」は3,092名、「要指導」は15,921名、「要医療（治療継続を含む）」は36,811名で、「要指導」・「要医療」をあわせると約94.5%となり、ほとんどの者が、いずれかの項目で要指導以上の判定となっている。

【各項目について】

各項目において、予備群以上に該当する者・有病者ともに、脂質異常、高血圧、糖尿病、肝疾患の順に多かった。喫煙率（総受診数における現在喫煙している者の数）は14.3%と前年度と変わらない。

【まとめ】

メタボリックシンドロームによる動脈硬化性疾患の発症を予防するためには、特定健診を受診し自身の健康状況を知ることが重要である。受診率向上のため各市町村と連携しながら、健診の周知・受診勧奨・受診しやすい環境づくり等に力を入れていきたい。

（保健師 吉川 泰代）

表1 基本健康診査

平成5年度～平成19年度

年 度	受診者数	異常なし	要指導	要医療	要 医 療 内 訳						
					循環器疾患	貧 血	肝疾患	糖尿病	尿路系疾患	腎機能障害	その他
5～15	203,295	35,450	57,453	110,392	86,568	4,467	18,718	14,006	13,884	2,007	22,284
16	34,512	5,184	11,020	18,308	15,075	772	2,815	2,641	1,719	463	5,061
17	36,581	5,442	12,199	18,940	15,771	792	3,067	2,878	1,645	589	4,380
18	45,650	6,395	12,919	26,336	22,633	1,052	3,377	4,307	1,962	905	6,130
19	50,399	7,548	14,269	28,582	23,234	1,237	3,930	4,735	2,037	769	7,516
計	370,437	60,019	107,860	202,558	163,281	8,320	31,907	28,567	21,247	4,733	45,371

注) 1人で2以上の疾患を有するものがあるため要医療と要医療内訳の計は一致しない。

要医療はすでに治療継続中も含む。

平成20年度より、健康増進法施行規則第4条の2に基づき、表2の健診診査に変わった。

表2 健康診査

平成20年度～平成28年度

年度	受診 者数	異常 なし	要指導	要医療	要指導・要医療内訳													喫煙率 (%)
					高 血 圧			脂質異常		糖 尿 病			肝疾患(疑いを含む)		貧血 (注1) (疑いを含む)	腎機能 障害 (注1) (疑いを含む)		
					(再 掲)		(再掲)	(再掲)	(再掲)	(再掲)								
					予備群	有病者					予備群	有病者						
20～23	187,617	9,566	68,078	109,973	92,581	38,616	53,965	31,153	4,207	130,636	121,127	9,509	43,748	25,841	13,419	5,029	13.3	
24	49,633	2,900	16,528	30,205	23,559	10,242	13,317	8,134	1,178	29,478	27,194	2,284	12,015	6,873	2,940	1,642	11.7	
25	49,329	3,193	15,606	30,530	23,288	10,066	13,222	8,070	1,071	12,219	10,096	2,123	11,845	6,505	2,806	2,013	11.5	
26	52,299	3,304	14,201	33,277	25,219	10,794	14,425	32,410	16,703	21,454	17,836	3,618	12,692	9,487	2,873	2,318	14.3	
27	57,054	3,360	16,459	37,235	28,537	11,933	16,604	35,547	18,641	24,497	20,303	4,194	13,710	10,231	3,416	2,872	14.3	
28	55,824	3,092	15,921	36,811	28,712	11,744	16,968	34,296	17,561	24,029	19,806	4,223	13,291	9,878	3,192	2,776	14.3	
計	451,756	25,415	146,793	278,031	221,896	93,395	128,501	149,610	59,361	242,313	216,362	25,951	107,301	68,815	28,646	16,650		

※1人で2つ以上の疾患を有する場合があるため、要医療と要医療内訳の計は一致しない。

※要医療はすでに治療継続中も含む。

※平成20年度より、健康増進法施行規則第4条の2に基づき、表2の健診診査に変わった。

注1) 貧血検査と腎機能検査は、市町村が実施対象者を選択するため全数ではない。

3 検診センターの精密検査成績

1 精密検査実施状況

センター別 部位別	計	平成28年度			計	平成27年度		
		札幌	旭川	釧路		札幌	旭川	釧路
胃	4,923	2,867	1,465	591	5,001	3,044	1,298	659
子宮	1,564	1,105	248	211	1,817	1,298	289	230
乳	1,592	704	886	2	1,405	403	993	9
肺	947	241	602	104	871	293	476	102
大腸	1,985	1,390	414	181	2,123	1,598	215	310
合計	11,011	6,307	3,615	1,089	11,217	6,636	3,271	1,310

2 部位別内訳

(1) 胃がん

センター別 部位別		計	平成28年度			計	平成27年度		
			札 幌	旭 川	釧 路		札 幌	旭 川	釧 路
検 査 日 数		699	261	241	197	651	266	184	201
精検受診者数		4,923	2,867	1,465	591	5,001	3,044	1,298	659
延べ内 訳	X線直接撮影	54	17	0	37	76	27	0	49
	内 視 鏡	4,979	2,913	1,498	568	5,006	3,078	1,314	614
	組 織 診	912	660	222	30	1,076	782	248	46
発 見 が ん 数		69	44	18	7	65	47	11	7
(別掲)その他のがん		(5)	(5)	(0)	(0)	(5)	(3)	(1)	(1)

(2) 子宮がん（卵巣も含む）

センター別 部位別		計	平成28年度			計	平成27年度		
			札 幌	旭 川	釧 路		札 幌	旭 川	釧 路
検 査 日 数		471	203	223	45	515	204	263	48
精検受診者数		1,564	1,105	248	211	1,817	1,298	289	230
延 べ 内 訳	再検査(細胞診)	1,765	1,220	266	279	2,071	1,467	292	312
	頸 部 組 織 診	241	143	64	34	279	154	93	32
	体 部 組 織 診	16	9	7	0	18	8	9	1
超 音 波		1,357	964	227	166	1,473	1,033	268	172
HPVウイルス		366	161	181	24	398	164	207	27
発 見 が ん 数		36	18	12	6	34	21	7	6

(3) 乳がん

センター別 部位別		計	平成28年度			計	平成27年度		
			札 幌	旭 川	釧 路		札 幌	旭 川	釧 路
検 査 日 数		490	235	253	2	505	246	251	8
精検受診者数		1,592	704	886	2	1,405	403	993	9
延 べ 内 訳	X 線 撮 影	1,281	564	717	0	1,110	340	767	3
	超 音 波	1,727	764	961	2	1,488	429	1,052	7
	細 胞 診	141	0	141	0	122	0	122	0
	触 診 再 検 査	1,063	378	685	0	955	295	657	3
発 見 が ん 数		211	101	96	14	123	22	75	26

(4) 肺がん

センター別 部位別		計	平成28年度			計	平成27年度		
			札 幌	旭 川	釧 路		札 幌	旭 川	釧 路
検 査 日 数		219	50	92	77	215	47	92	76
精検受診者数		947	241	602	104	871	293	476	102
延 べ 内 訳	X線直接撮影	809	40	703	66	687	34	577	76
	C T	1,104	296	703	105	1,013	333	577	103
	喀 痰 細 胞 診	2	0	2	0	7	2	5	0
発 見 が ん 数		27	14	7	6	23	11	9	3
(別掲)その他のがん		(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(1)

(5) 大腸がん

センター別 部位別		計	平成28年度			計	平成27年度		
			札 幌	旭 川	釧 路		札 幌	旭 川	釧 路
検 査 日 数		479	194	166	119	491	236	85	170
精検受診者数		1,985	1,390	414	181	2,123	1,598	215	310
延 べ 内 訳	X線注腸撮影	6	0	0	6	5	0	0	5
	内 視 鏡	1,981	1,390	414	177	2,121	1,598	215	308
	組 織 診	52	37	15	0	143	29	3	111
発 見 が ん 数		82	57	16	9	80	54	10	16
(別掲)その他のがん		(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(1)

3 精密検査結果

(1) 胃がん

札幌がん検診センター

昭和45年度～平成28年度

年度	精 検 受診者数	精 検 結 果 内 訳							
		胃 が ん	胃 ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍 癒痕	十二指腸 潰瘍	胃 炎	その他	異常なし
45～23	188,643	3,237(269)	21,674	9,744	47,542	2,351	21,965	14,112	68,018
24	3,763	50(9)	787	116	818	20	1,161	604	207
25	3,512	55(16)	826	115	563	17	1,407	394	135
26	3,052	44(10)	868	78	517	8	1,203	236	98
27	3,078	50(3)	766	57	461	38	1,422	168	116
28	2,867	44(12)	481	58	365	1	1,502	321	95
計	204,915	3,480(319)	25,402	10,168	50,266	2,435	28,660	15,835	68,669

旭川がん検診センター

昭和56年度～平成28年度

年度	精 検 受診者数	精 検 結 果 内 訳							
		胃 が ん	胃 ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍 癒痕	十二指腸 潰瘍	胃 炎	その他	異常なし
56～23	77,665	1,382(231)	12,769	3,005	12,487	1,071	18,553	3,623	24,775
24	1,669	47(5)	241	34	245	29	472	162	439
25	1,762	30(3)	218	22	185	25	656	194	432
26	1,971	33(2)	254	25	194	39	858	220	348
27	1,298	11(2)	168	10	104	12	771	139	83
28	1,465	18(0)	244	23	100	9	813	199	59
計	85,830	1,521(243)	13,894	3,119	13,315	1,185	22,123	4,537	26,136

釧路がん検診センター

昭和60年度～平成28年度

年度	精 検 受診者数	精 検 結 果 内 訳							
		胃 が ん	胃 ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍 癒痕	十二指腸 潰瘍	胃 炎	その他	異常なし
60～23	34,074	559(72)	4,234	1,282	4,946	530	11,519	3,394	7,610
24	735	14(2)	104	18	69	3	352	125	50
25	719	14(1)	87	27	50	4	368	128	41
26	674	16(5)	89	15	54	1	345	110	44
27	659	7(1)	79	9	39	3	379	92	51
28	605	7(2)	89	13	38	1	349	70	38
計	37,466	617(83)	4,682	1,364	5,196	542	13,312	3,919	7,834

注) () 内数字は経過観察者より発見した「がん」の再掲、発見がん数には悪性リンパ腫を含む。

精検受診者数には他医療機関からの紹介患者及び経過観察者を含む。

(平成28年度は、札幌 2,475人、旭川 1,051人、釧路 491人)

(2) (再掲) 精密検査より発見した胃がんの進行度と手術状況

札幌がん検診センター

平成28年度

			総 数			一次検診受診者			※その他		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数			39(13)	30(10)	9(3)	32(11)	24(9)	8(2)	7(2)	6(1)	1(1)
手術施行	計		38(13)	29(10)	9(3)	32(11)	24(9)	8(2)	7(2)	6(1)	1(1)
	早期	内視鏡切除術	11(8)	9(6)	2(2)	9(7)	8(6)	1(1)	2(1)	1(0)	1(1)
		開 腹 手 術	15(3)	11(2)	4(1)	12(2)	8(1)	4(1)	3(1)	3(1)	0(0)
	進 行		9(1)	7(1)	2(0)	7(1)	5(1)	2(0)	2(0)	2(0)	0(0)
	調 査 中		3(1)	2(1)	1(0)	4(1)	3(1)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
手術未施行			1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

旭川がん検診センター

平成28年度

			総 数			一次検診受診者			※その他		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数			18(0)	10(0)	8(0)	9(0)	3(0)	6(0)	9(0)	7(0)	2(0)
手術施行	計		17(0)	10(0)	7(0)	9(0)	3(0)	6(0)	8(0)	7(0)	1(0)
	早期	内視鏡切除術	6(0)	2(0)	4(0)	4(0)	1(0)	3(0)	2(0)	1(0)	1(0)
		開 腹 手 術	6(0)	4(0)	2(0)	3(0)	1(0)	2(0)	3(0)	3(0)	0(0)
	進 行		3(0)	2(0)	1(0)	2(0)	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)	0(0)
	調 査 中		2(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(0)	2(0)	0(0)
手術未施行			1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)

釧路がん検診センター

平成28年度

			総 数			一次検診受診者			※その他		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数			7(2)	5(2)	2(0)	5(2)	4(2)	1(0)	2(0)	1(0)	1(0)
手術施行	計		5(2)	4(2)	1(0)	3(2)	3(2)	0(0)	2(0)	1(0)	1(0)
	早期	内視鏡切除術	3(2)	3(2)	0(0)	2(2)	2(2)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)
		開 腹 手 術	2(0)	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)
	進 行		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	調 査 中		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
手術未施行			2(0)	1(0)	1(0)	2(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)

注) 発見胃がん数には悪性リンパ腫・肉腫を含む。

() 内数字は経過観察者より発見した胃がん再掲。

※その他は一次検診を受けずに直接精検を希望した方や、医療機関からの紹介患者及び他機関の一次検診を受け、要精検となった方など。

(3) 大腸がん精密検査

札幌がん検診センター

昭和56年度～平成28年度

年 度	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳					
		大 腸 が ん	炎 症	潰 瘍	ポ リ ー プ	そ の 他	異 常 な し
56～23	54,705	1,779(27)	470	54	24,102	2,446	25,854
24	1,834	57(2)	21	3	1,067	99	587
25	1,731	45(4)	21	2	1,043	152	468
26	1,350	53(6)	15	2	883	77	320
27	1,350	54(2)	13	1	1,008	131	389
28	1,390	57(2)	7	3	859	116	348
計	62,606	2,045(43)	547	65	28,962	3,021	27,966

旭川がん検診センター

昭和56年度～平成28年度

年 度	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳					
		大 腸 が ん	炎 症	潰 瘍	ポ リ ー プ	そ の 他	異 常 な し
56～23	17,868	661(35)	241	4	10,589	1,275	5,098
24	590	37(1)	6	0	359	116	72
25	601	27(1)	9	0	395	75	95
26	504	23(2)	6	0	340	47	88
27	215	10(0)	2	0	131	44	28
28	414	16(0)	5	1	247	106	39
計	20,192	774(39)	269	5	12,061	1,663	5,420

釧路がん検診センター

昭和60年度～平成28年度

年 度	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳					
		大 腸 が ん	炎 症	潰 瘍	ポ リ ー プ	そ の 他	異 常 な し
60～23	11,760	339(16)	47	12	6,924	200	4,238
24	315	19(1)	2	0	178	0	116
25	335	20(0)	1	0	176	3	135
26	308	15(1)	4	1	172	2	114
27	310	16(1)	2	0	153	2	137
28	181	9(0)	0	0	102	0	70
計	13,209	418(19)	56	13	7,705	207	4,810

注) 精密検査受診者数には他医療機関からの紹介患者及び経過観察者を含む。

(平成28年度は、札幌 522人、旭川 90人、釧路 80人)

() 内数字は経過観察者より発見した大腸がん再掲。

(4) (再掲) 精密検査より発見した大腸がんの進行度と手術状況

札幌がん検診センター

平成28年度

			総 数			一次検診受診者			※その他		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数			57(2)	33(2)	24(0)	55(2)	33(2)	22(0)	2(0)	0(0)	2(0)
手術施行	計		57(2)	33(2)	24(0)	55(2)	33(2)	22(0)	2(0)	0(0)	2(0)
	早期	内視鏡切除術	28(2)	15(2)	13(0)	27(2)	15(2)	12(0)	1(0)	0(0)	1(0)
		開 腹 手 術	14(0)	11(0)	3(0)	14(0)	11(0)	3(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	進 行		14(0)	7(0)	7(0)	13(0)	7(0)	6(0)	1(0)	0(0)	1(0)
	調 査 中		1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
手術未施行			0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

旭川がん検診センター

平成28年度

			総 数			一次検診受診者			※その他		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数			16(0)	9(0)	7(0)	15(0)	8(0)	7(0)	1(0)	1(0)	0(0)
手術施行	計		16(0)	9(0)	7(0)	15(0)	8(0)	7(0)	1(0)	1(0)	0(0)
	早期	内視鏡切除術	3(0)	1(0)	2(0)	3(0)	1(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)
		開 腹 手 術	5(0)	2(0)	3(0)	4(0)	1(0)	3(0)	1(0)	1(0)	0(0)
	進 行		8(0)	6(0)	2(0)	8(0)	6(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	調 査 中		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
手術未施行			0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

釧路がん検診センター

平成28年度

			総 数			一次検診受診者			※その他		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数			9(0)	8(0)	1(0)	7(0)	7(0)	0(0)	2(0)	1(0)	1(0)
手術施行	計		9(0)	8(0)	1(0)	7(0)	7(0)	0(0)	2(0)	1(0)	1(0)
	早期	内視鏡切除術	7(0)	7(0)	0(0)	6(0)	6(0)	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)
		開 腹 手 術	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	進 行		2(0)	2(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)
	調 査 中		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
手術未施行			0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

注) 発見大腸がん数には悪性リンパ腫・肉腫を含む。

※その他の内訳は一次検診を受けずに直接精密検査を受けた方や、他機関の一次検診受診の後、精密検査を受けた方及び医療機関からの紹介患者など。

4 医療機関からの受託検査

昭和45年度～平成28年度

年 度	受 託 総 数	婦 人 科	呼 吸 器	胸 水	腹 水	尿	乳 房	胃	その他	組 織
総 数										
45～23	839,459 (17,722)	676,429 (3,582)	79,358 (4,503)	5,190 (1,350)	5,742 (1,539)	29,608 (1,735)	6,766 (1,127)	136 (8)	9,930 (2,091)	23,402 (1,179)
24	7,803 (185)	6,852 (27)	162 (28)	31 (13)	27 (18)	355 (25)	156 (37)	0 (0)	75 (33)	145 (4)
25	7,296 (80)	6,592 (19)	117 (1)	13 (4)	10 (5)	288 (17)	144 (32)	0 (0)	10 (1)	122 (1)
26	7,090 (56)	6,390 (9)	98 (4)	21 (3)	22 (1)	300 (8)	130 (28)	0 (0)	33 (2)	96 (1)
27	6,674 (71)	5,992 (13)	97 (1)	27 (1)	16 (5)	250 (7)	197 (40)	0 (0)	32 (3)	63 (1)
28	6,309 (129)	5,613 (10)	90 (11)	32 (10)	19 (7)	212 (16)	226 (53)	1 (0)	55 (22)	61 (0)
計	871,733 (17,635)	707,868 (3,660)	79,922 (4,548)	5,314 (1,381)	5,836 (1,575)	31,013 (1,808)	7,619 (1,317)	137 (8)	10,135 (2,152)	23,889 (1,186)
札 幌										
45～23	441,028 (12,697)	357,740 (2,431)	36,349 (2,900)	2,331 (979)	3,100 (1,065)	10,395 (1,199)	3,094 (801)	107 (6)	5,734 (1,791)	19,280 (917)
24	2,187 (140)	1,626 (17)	68 (28)	26 (13)	26 (17)	295 (25)	17 (6)	0 (0)	73 (33)	56 (1)
25	1,733 (37)	1,410 (10)	27 (0)	7 (4)	6 (4)	228 (17)	4 (0)	0 (0)	10 (1)	41 (1)
26	1,329 (19)	974 (2)	38 (4)	7 (3)	13 (1)	255 (8)	0 (0)	0 (0)	27 (1)	15 (0)
27	1,188 (20)	888 (3)	22 (1)	17 (1)	9 (5)	212 (7)	3 (0)	0 (0)	29 (3)	8 (0)
28	1,008 (75)	713 (5)	24 (11)	20 (10)	14 (6)	168 (15)	14 (6)	1 (0)	54 (22)	0 (0)
計	445,575 (12,380)	363,351 (2,468)	36,528 (2,944)	2,408 (1,010)	3,168 (1,098)	11,553 (1,271)	3,132 (813)	108 (6)	5,927 (1,851)	19,400 (919)

注) () 内数字は陽性の再掲

昭和45年度～平成28年度

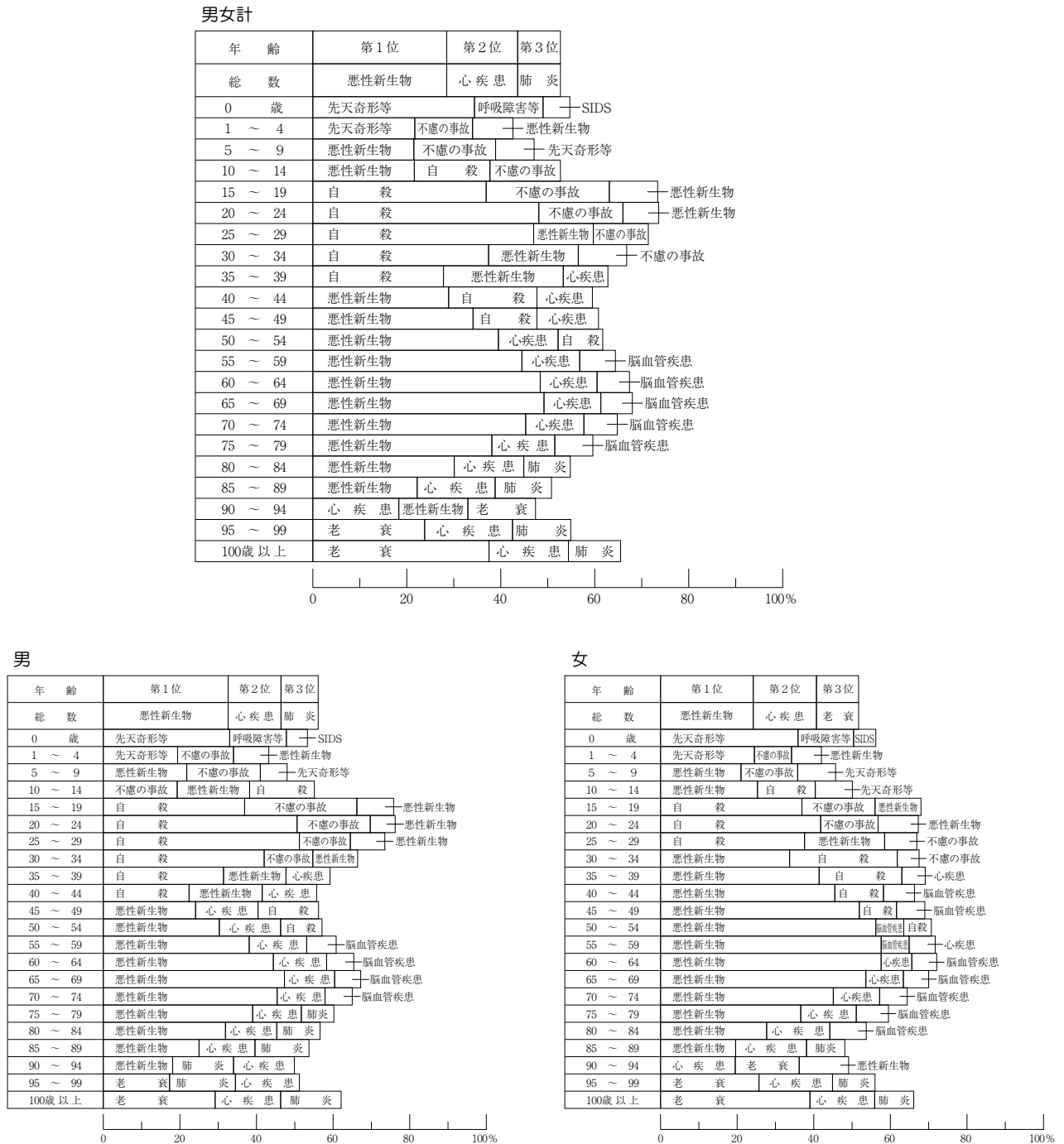
年 度	受 託 総 数	婦 人 科	呼 吸 器	胸 水	腹 水	尿	乳 房	胃	その他	組 織
旭 川										
56～23	329,849 (4,355)	256,983 (853)	39,992 (1,492)	2,724 (342)	2,405 (428)	18,083 (483)	3,529 (316)	21 (2)	3,854 (277)	2,258 (162)
24	4,533 (42)	4,200 (8)	94 (0)	5 (0)	1 (1)	60 (0)	139 (31)	0 (0)	2 (0)	32 (2)
25	4,502 (42)	4,179 (8)	90 (1)	6 (0)	4 (1)	60 (0)	140 (32)	0 (0)	0 (0)	23 (0)
26	4,768 (35)	4,495 (6)	60 (0)	14 (0)	5 (0)	45 (0)	130 (28)	0 (0)	6 (1)	13 (0)
27	4,565 (45)	4,220 (4)	75 (0)	10 (0)	7 (0)	38 (0)	194 (40)	0 (0)	3 (0)	18 (1)
28	4,431 (54)	4,075 (5)	66 (0)	12 (0)	5 (1)	44 (1)	212 (47)	0 (0)	1 (0)	16 (0)
計	352,648 (4,573)	278,152 (884)	40,377 (1,493)	2,771 (342)	2,427 (431)	18,330 (484)	4,344 (494)	21 (2)	3,866 (278)	2,360 (165)
釧 路										
60～23	68,582 (670)	61,706 (298)	3,017 (111)	135 (29)	237 (46)	1,130 (53)	143 (10)	8 (0)	342 (23)	1,864 (100)
24	1,083 (3)	1,026 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	57 (1)
25	1,061 (1)	1,003 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	58 (0)
26	993 (2)	921 (1)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	68 (1)
27	921 (6)	884 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	37 (0)
28	870 (0)	825 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	45 (0)
計	73,510 (682)	66,365 (308)	3,017 (111)	135 (29)	241 (46)	1,130 (53)	143 (10)	8 (0)	342 (23)	2,129 (102)

注) () 内数字は陽性の再掲。

【参考資料】

1 がん対策の背景

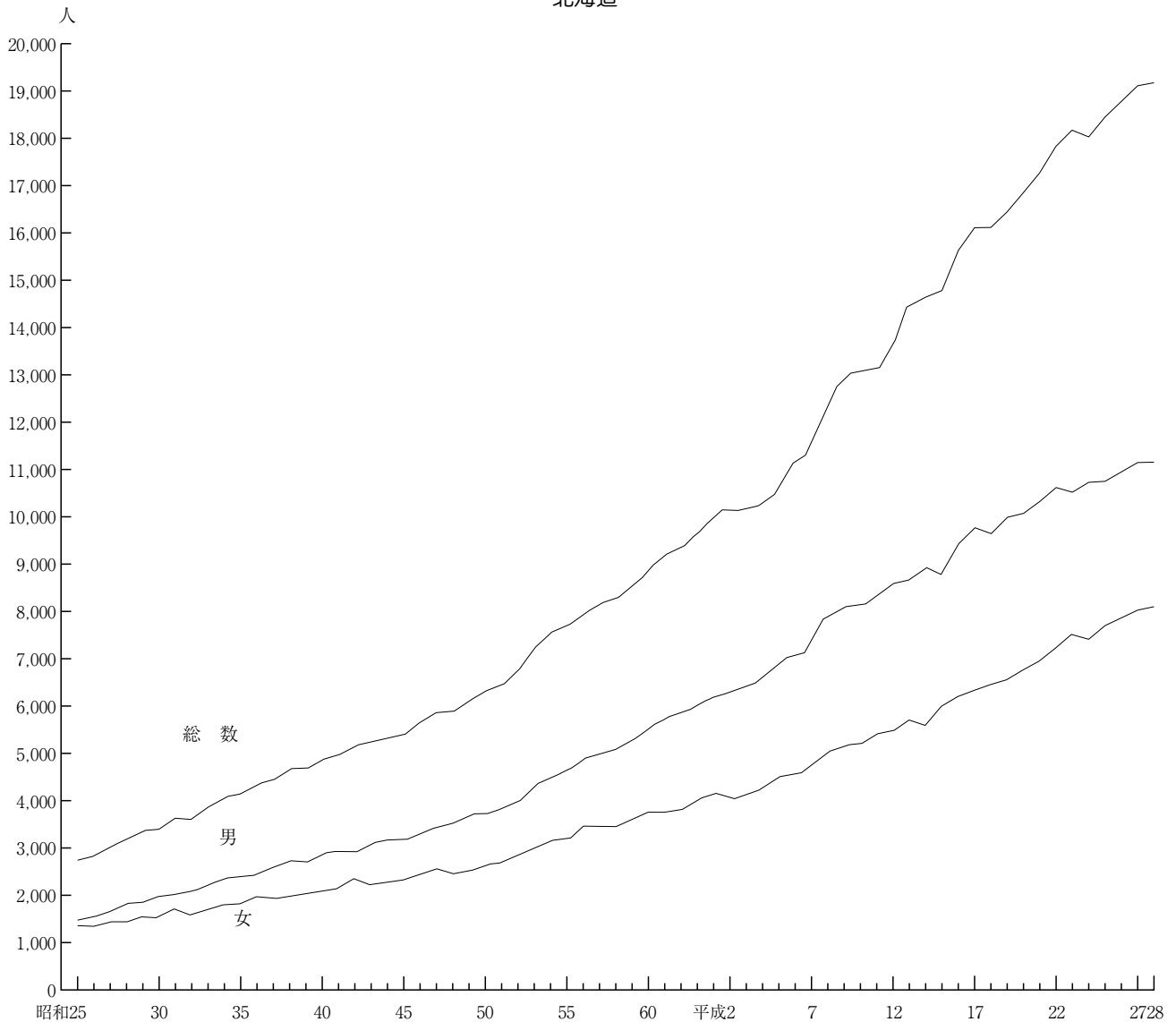
図1 性・年齢別にみた死因順位
平成28年 全国



資料：平成28年人口動態統計（確定数）上巻 死亡 第5. 17表

がんによる死亡は、全ての死因において昭和56年以降（本道においては昭和52年以降）不動の一位であり、その数・割合ともに増え続けている。男性では40代後半から死因の一位となるが、女性においては子宮頸がんや乳がんなど比較的若年で発症するがんの影響を受け、30代前半から一位となっている。

図2 がん死亡者数の年次推移
北海道



北海道におけるがん死亡者数
平成28年

男 性	11,075
女 性	8,104
総 数	19,179

資料：「平成28年人口動態調査（確定数）下巻死亡第4表」

本道においても、全国と同様に、がんによる死亡者数が増え続けている。

増加の主な原因は、高齢者人口の増加によるがん罹患患者数の増加があげられるが、人口の年齢構成の影響を受けない“がん年齢調整死亡率”で見ても、本道は全国ワースト4位である。がん検診の受診率は、子宮頸がん検診を除き、全国ワースト10位以内であり、受診率が低い。がんがある程度進行してから見つかる方がいまだに多いことも、がん死亡者数増加の一因となっている。

表1 部位別がん死亡者数・死亡率の年次推移

北 海 道

部 位	死亡者数					死亡率(人口10万対、乳房、子宮は女子人口10万対)				
	昭 40	昭 60	平 17	平28	全国28	昭40	昭60	平17	平28	全国28
総 数	4,863	9,096	16,133	19,179	372,986	94.0	159.9	287.8	358.4	293.8
食 道	181	357	597	559	11,483	3.5	6.3	10.7	10.4	9.0
胃	1,982	2,147	2,240	2,102	45,531	38.3	37.8	40.0	39.3	35.9
大 腸	268	928	2,186	2,622	50,099	5.2	16.3	39.0	49.0	39.5
肝 臓	357	832	1,328	1,243	28,528	6.9	14.6	23.7	23.2	22.5
膵 臓	181	624	1,357	1,998	33,475	3.5	11.0	24.2	37.3	26.4
気管・気管支・肺	443	1,455	3,205	4,077	73,838	8.6	25.6	57.2	76.2	58.2
乳 房	98	247	530	699	14,015	3.8	8.5	18.0	24.7	21.5
子 宮	311	231	229	301	6,345	12.0	7.9	7.8	10.6	9.7
白 血 病	187	256	314	417	8,801	3.6	4.5	5.6	7.8	6.9
そ の 他	855	2,019	4,147	5,156	100,754	16.5	35.5	74.0	96.3	79.4

資料：死亡数は「平成28年人口動態調査（確定数）下巻死亡第4表」、人口は「平成28年人口推計（総務省統計局）」

※乳がんは女性のみ計上

図3 がん死亡者の部位別割合
平成28年 北海道

【男性】			【女性】		
順位	部位	死亡数	順位	部位	死亡数
／	がん総数	11,075	／	がん総数	8,104
1位	気管、気管支及び肺	2,830	1位	気管、気管支及び肺	1,247
2位	大腸	1,389	2位	大腸	1,233
3位	胃	1,338	3位	膵臓	1,009
4位	膵臓	989	4位	胃	764
5位	肝及び肝内胆管	818	5位	乳房	699
6位	前立腺	574	6位	胆のう及び他の胆道	490
7位	食道	446	7位	肝及び肝内胆管	425
8位	胆のう及び他の胆道	466	8位	子宮	301
9位	悪性リンパ腫	320	9位	悪性リンパ腫	288
10位	口唇、口腔及び咽頭	270	10位	卵巣	234
11位	膀胱	289	11位	白血病	157
12位	白血病	260	12位	膀胱	130
／	その他	1,086	／	その他	1,127

資料：「平成28年人口動態調査（確定数）下巻死亡第4表」

全国の部位別順位は下記の通りである。

順位	1	2	3	4	5
男 性	肺	胃	大	肝	膵
女 性	大	肺	膵	胃	乳

資料：「平成28年人口動態調査（確定数）下巻死亡第4表」

本道の特徴としては、

- ・男女ともに肺がんが1位であること
- ・肺・膵臓などの難治性がんの割合が高いこと

があげられる。

詳しい原因は不明だが、男女ともに喫煙率が高いことなども影響していると考えられる。

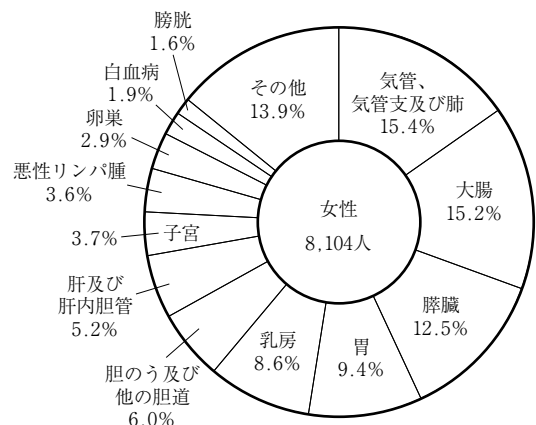
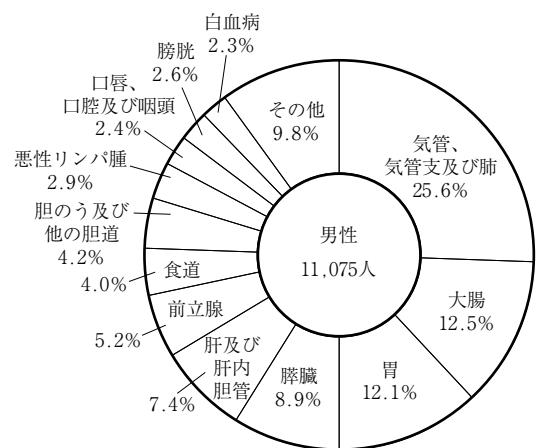
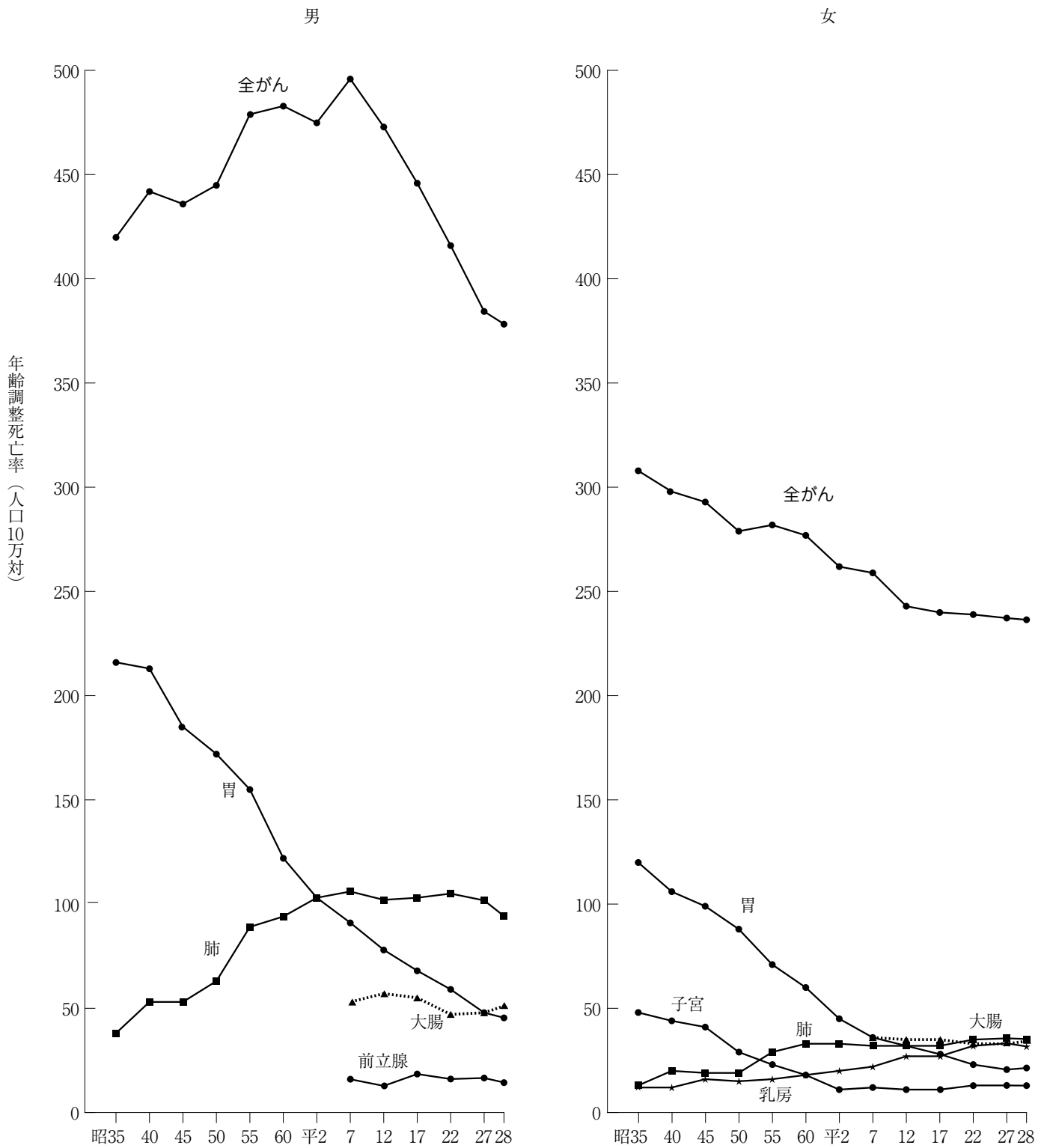
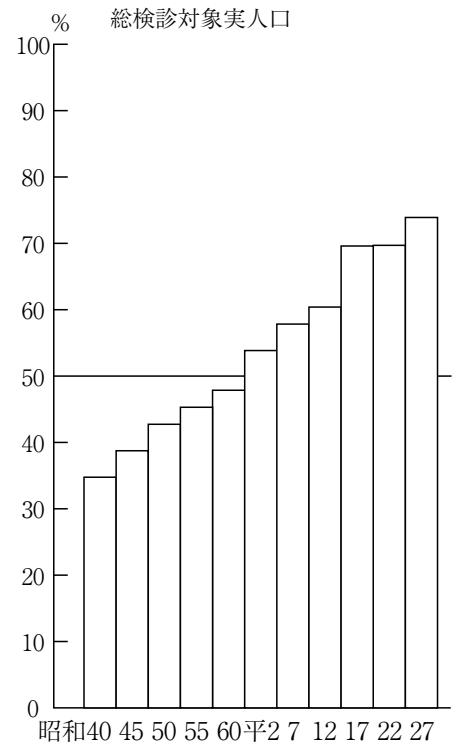
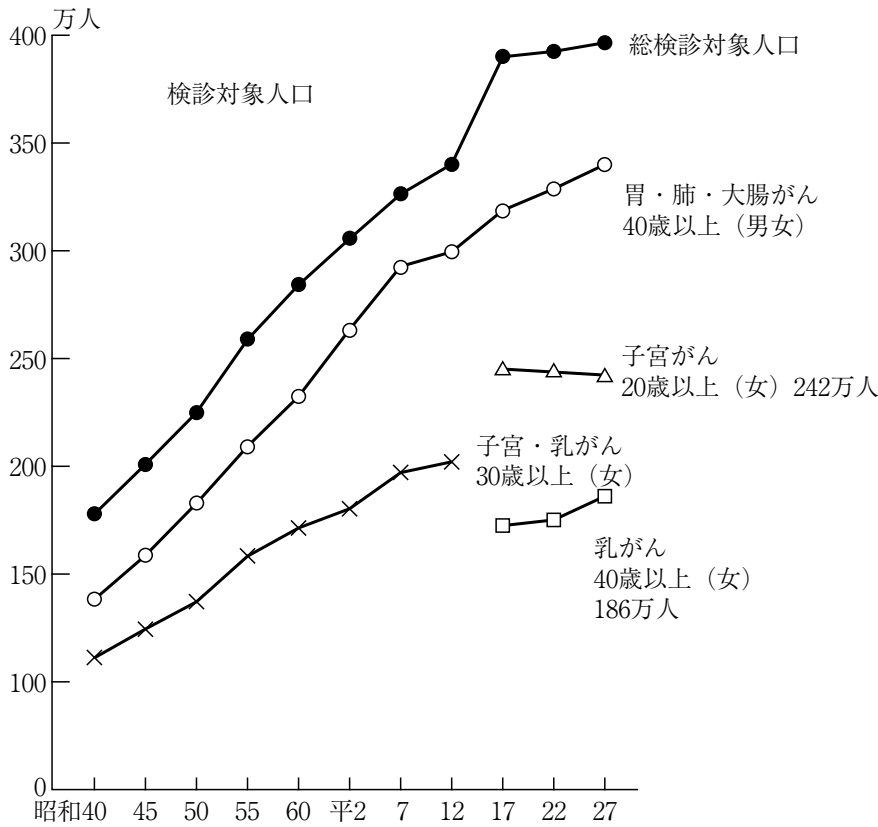


図4 がん年齢調整死亡率の年次推移
40歳以上合計 北海道

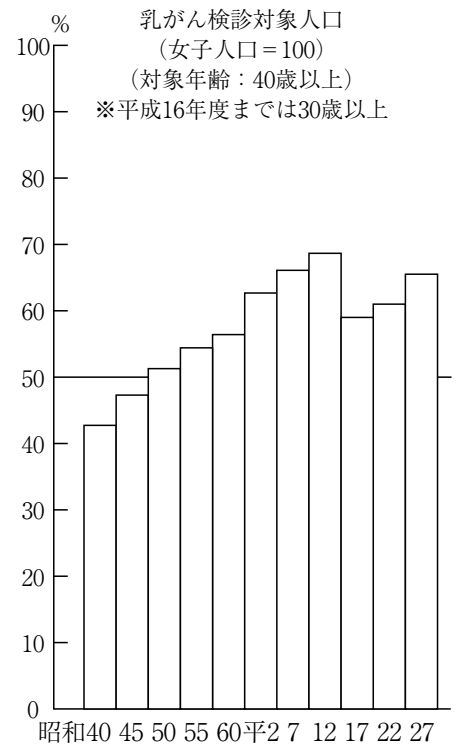
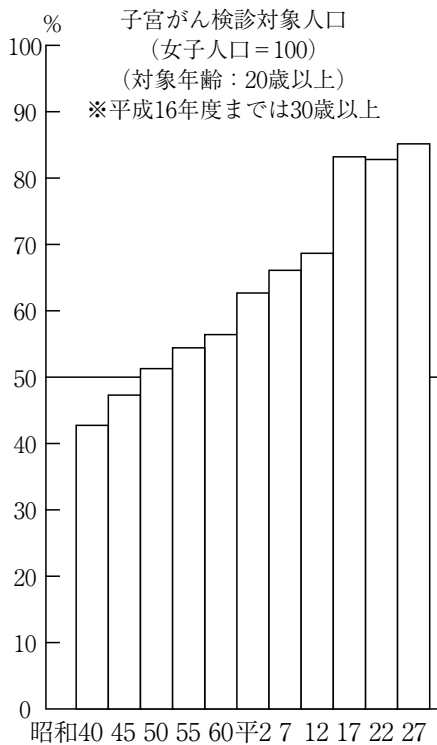
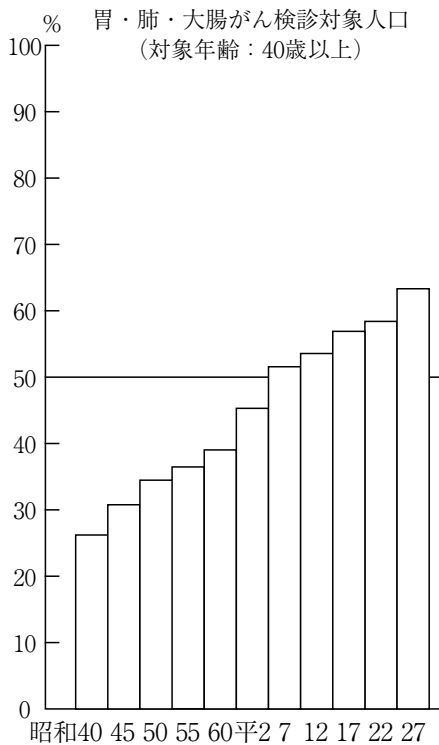


注：死亡率は、人口構成の変動による影響を取り除いて厳密な比較を行うため、昭和60年北海道・性・年齢（5歳階級）別人口を基準人口として、直接法により算出した。（人口10万対）
資料：死亡数は「人口動態統計（確定数）保管統計表 都道府県編 死亡・死因 第2表-01（北海道）」、平成28年人口推計（総務省統計局）

図5 がん検診対象年齢人口の年次推移
北海道



総人口に占める割合



資料：平成27年国勢調査

２ 市町村が実施するがん検診の受託状況について

資料：平成27年度地域保健・健康増進事業報告

胃がん検診

平成27年度の対象者（北海道）は2,061,089人^{注)}で、受診数は165,205人、受診率は8.0%^{注)}であった。
このうち、当協会では127市町村において、検診車と各検診センターで105,620人に検診を実施した。
（受託実施率63.9%）

これに事業所分など11,119人を加え、総数116,739人に実施し、164名のがん（平成29年12月末現在）を発見した。（うち早期がん111名、早期がん割合71.1%）

子宮がん検診

平成27年度の対象者（北海道）は1,554,617人^{注)}である。受診者数は平成27年度171,073人、平成26年度195,580人で、2年合計で366,653人となっている。ここから2年連続受診者数19,186人を除いた347,467人が直近2年間の受診者数であり、受診率は22.3%^{注)}であった。

このうち、当協会では平成27・26年度ともに121市町村において、検診車と各検診センターで113,757人に検診を実施した。（受託実施率32.7%）

これに事業所分など18,865人を加え、総数132,622人に実施し、78名のがん（平成29年12月末現在）を発見した。（うち上皮内がん44名）

乳がん検診

平成27年度の対象者（北海道）は1,247,377人^{注)}である。受診者数は平成26年度126,389人、平成25年度131,019人で、2年合計で257,408人となっている。ここから2年連続受診者数9,505人を除いた247,903人が直近2年間の受診者数であり、受診率は19.9%^{注)}であった。

このうち、当協会では平成27年度は118市町村、平成26年度は115市町村において、検診車と各検診センターで117,823人に検診を実施した。（受託実施率47.5%）

これに事業所分など21,991人を加え、総数139,814人に実施し、323名のがん（平成29年12月末現在）を発見した。（うち早期がん221名、早期がん割合68.4%）

肺がん検診

平成27年度の対象者（北海道）は2,057,342人^{注)}で、受診数は198,641人、受診率は9.7%^{注)}であった。
このうち、当協会では116市町村において、検診車と各検診センターで85,417人に検診を実施した。
（受託実施率43.0%）

これに事業所分など8,598人を加え、総数94,015人に実施し76名のがん（平成29年12月末現在）を発見した。

また、胸部CT検査については、30市町村において、検診車と各検診センターで1,932人に検診を実施した。

これに個人受診（市町村の補助なしで全額自己負担で受診）分など2,206人を加え、総数4,138人に実施し、21名のがん（平成29年12月末現在）を発見した。

大腸がん検診

平成27年度の対象者（北海道）は2,063,091人^{注)}で、受診数は283,000人、受診率は13.7%^{注)}であった。

このうち、当協会では123市町村において、検診車と各検診センターで129,981人に検診を実施した。（受託実施率45.9%）

これに事業所分など10,200人を加え、総数140,181人に実施し、465名のがん（平成29年12月末現在）を発見した。（うち早期がん310名、66.7%）

注）地域保健・健康増進事業報告におけるがん検診の受診率の算定対象年齢は、「がん対策推進基本計画」（平成24年6月8日閣議決定）に基づき、40歳から69歳まで（子宮がん検診は20歳から）となっているが、これは他自治体と比較する場合に使用するものであり、本道のがん検診の受診状況を把握するには不十分であるため、算定対象年齢に上限を設けず計算した。

3 北海道対がん協会

3-1 概要

法 人 名	公益財団法人北海道対がん協会
代 表 者 名	会 長 長 瀬 清
所 在 地	北海道札幌市東区北26条東14丁目 1 - 15
電 話 番 号	0 1 1 - 7 4 8 - 5 5 1 1
設 立 時 期	昭和 4 年 9 月 13 日
従 業 員 数	317名（臨時職員を含む）

職種別職員内訳

職 種	札 幌	旭 川	釧 路	計
医 師	4	2	1	7
診療放射線技師	28	10	4	42
臨床検査技師	20	10	4	34
管理栄養士	1	0	2	3
保健 師	22	9	3	34
看 護 師	22	18	11	51
事 務 員	62	32	23	117
運 転 技 術 員	19	8	2	29
計	178	89	50	317

3-2 目的及び事業

公益財団法人北海道対がん協会は、がんの予防、治療及び研究に関し必要な事業を行い、もって公衆衛生の向上と地域社会の健全な発展を実現し、道民の健康の保持増進に寄与することを目的としています。

このほか、生活習慣病の予防、治療及び研究に関し必要な事業を行なうことができます。

上記の目的を達成するため、次の事業を行います。

- (1) がん及び生活習慣病の予防及び治療に関する知識の普及啓発
- (2) がん及び生活習慣病の予防及び治療に関する相談及び指導
- (3) がん検診及び生活習慣病検診の実施及び推進
- (4) がん及び生活習慣病の予防及び治療に関する調査・研究
- (5) がん及び生活習慣病の予防、治療及び研究を行なう機関の設置
- (6) がん及び生活習慣病の予防を推進する団体との連携及び支援
- (7) 本協会の目的を達成するため必要な事業

3-3 検診センター及び細胞診センターの機能

がん検診センター

1 がん征圧運動の実施

- (1) 日本対がん協会の北海道支部として、毎年9月のがん征圧月間にがん征圧運動を実施
- (2) がん患者支援チャリティウォーク「リレー・フォー・ライフ」への参加・協力
- (3) 国際対がん連合（UICC）運動に参加

2 がんに関する知識の普及

- (1) 地域住民を対象とした講演・研修会、及びがん予防学級の企画・実施
- (2) 普及啓発資料の作成・配布、及び教育教材の貸し出し
- (3) 北海道・市町村と連携した普及啓発事業の実施
- (4) 企業、地区組織、患者団体・ボランティア団体等と連携した普及啓発事業の実施
- (5) がん征圧運動推進のための賛助会員の募集と賛助会員への情報提供

3 検診車による巡回検診の企画実施

検診車派遣の計画・実施

検診項目（胃がん、子宮がん、乳がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、健康診査、その他の検査）

4 検診センターにおける施設検診の企画実施

- (1) 施設検診の計画実施

検診項目（胃がん、子宮がん、乳がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、健康診査、人間ドック、その他の検査）

- (2) 精密検査の実施

5 検診の事後管理（読影・判定・結果通知）

- (1) 胃がん検診フィルムの読影（専門読影委員19名により実施）
- (2) 肺がん検診フィルムの読影（専門読影委員34名により実施）
- (3) 乳がん検診フィルム（SMG）の読影（専門読影委員28名により実施）
- (4) 検診結果の通知と要精密検査者への受診勧奨
- (5) 一次検診及び精密検査結果の集計・分析
- (6) 発見がん患者の管理

6 精度管理に向けた専門職の研鑽（細胞診センター分は次項）

- (1) 読影医師、精検医師の技術研修
- (2) 診療放射線技師の技術研修
- (3) 保健師・看護師のがんに関する専門的技術研修

細胞診センター

1 子宮がん細胞診の実施

- (1) 巡回検診における子宮がん検診細胞診
- (2) 検診センターにおける子宮がん検診細胞診
- (3) 日本母性保護医協会、その他受託子宮がん検診の細胞診
- (4) 細胞診標本の保管、管理

2 組織診の実施

- (1) 胃がん組織診
- (2) 子宮がん組織診
- (3) 乳がん組織診
- (4) 大腸がん組織診
- (5) 受託組織診

3 喀痰細胞診の実施

- (1) 巡回検診における喀痰細胞診
- (2) 検診センターにおける喀痰細胞診
- (3) 受託喀痰細胞診

4 その他諸検査の実施

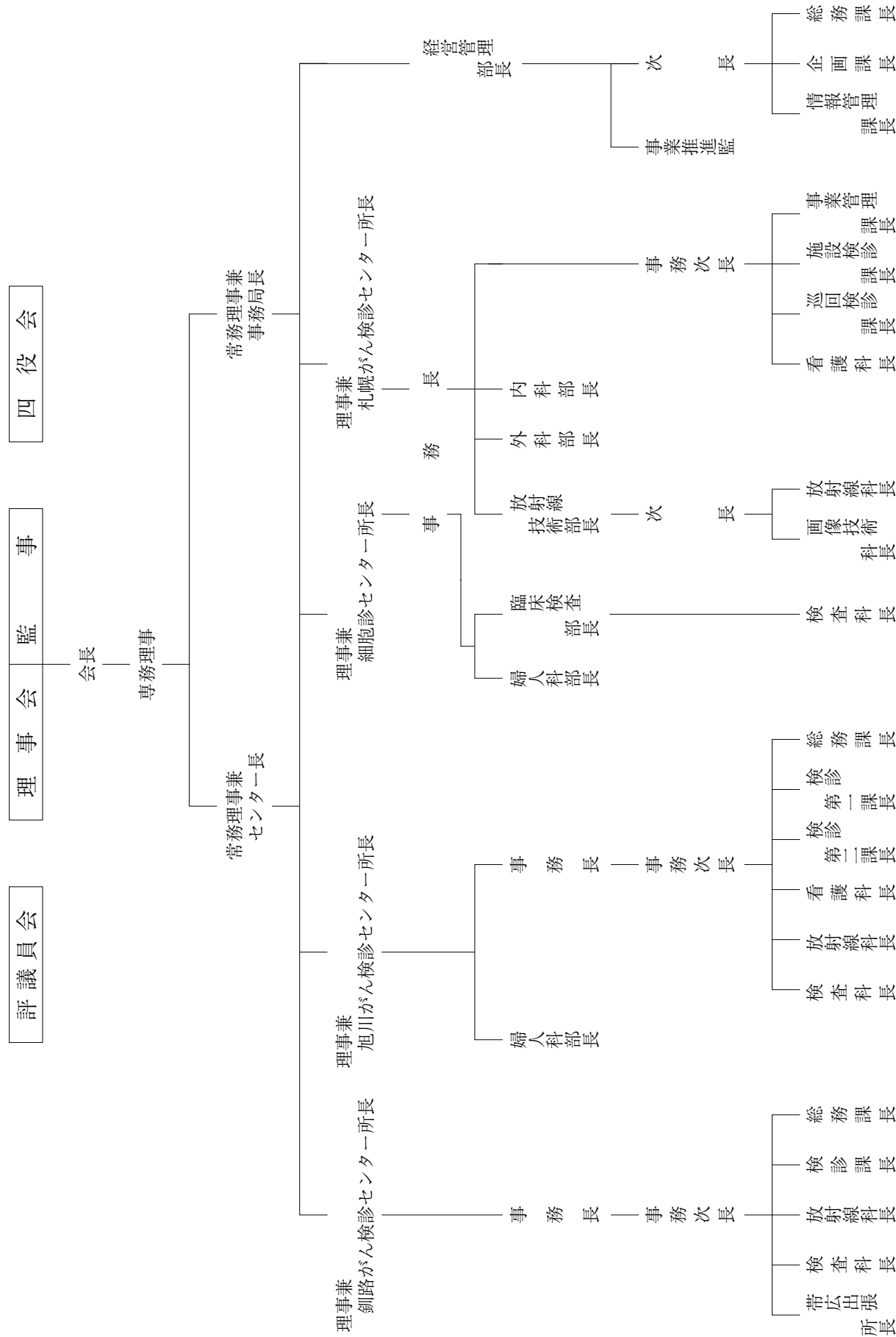
- (1) その他の受託細胞診
- (2) 超音波検査
- (3) 免疫学的便潜血反応検査
- (4) 尿検査
- (5) 心電図検査
- (6) 眼底検査
- (7) 聴力検査
- (8) 視力検査
- (9) その他の諸検査

5 細胞検査士の養成研修の実施

6 がん集団検診従事技術者の研修の実施

3-4 公益財団法人 北海道対がん協会 機構図

平成29年10月1日現在



3-5 役員等名簿

平成29年6月1日現在

名誉会長	菊地浩吉	北海道対がん協会前会長・札幌医科大学名誉教授
会長 (代表理事)	長瀬清	北海道対がん協会会長・北海道医師会会長
副会長	石子彭培	北海道国民健康保険団体連合会理事長
〃	小熊豊	北海道医師会副会長
〃	佐藤昇志	札幌医科大学名誉教授
〃	平田哲	旭川医科大学病院長・副学長
専務理事 (業務執行理事)	白川賢一	北海道対がん協会専務理事
常務理事	相澤信之	北海道対がん協会事務局長
理事	秋田弘俊	北海道大学大学院医学研究科腫瘍内科学分野教授
〃	磯部宏	KKR札幌医療センター病院長
〃	加藤淳二	札幌医科大学腫瘍・血液内科学講座教授
〃	近藤啓史	独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター院長
〃	坂本直哉	北海道大学大学院医学研究科内科学分野教授
〃	櫻木範明	小樽市立病院特任理事
〃	平田公一	JR札幌病院顧問・札幌医科大学客員教授
〃	矢上尚寿	北海道対がん協会前専務理事
〃	河原崎暢	北海道対がん協会札幌がん検診センター所長
〃	藤田博正	北海道対がん協会細胞診センター所長
〃	菅野普子	北海道対がん協会旭川がん検診センター所長
〃	松浦邦彦	北海道対がん協会釧路がん検診センター所長
監事	秋山孝二	公益財団法人秋山記念生命科学振興財団理事長
〃	佐竹啓一	税理士

参 与 評 議 員	畑	島	久	雄	北海道保健福祉部健康安全局地域保健課がん対策等担当課長
	川	上	敏	正	札幌市保健福祉局保健所健康企画担当部長
	谷	田	光	弘	旭川市保健所長
	柏	木	恭	美	釧路市こども保健部長
	大	場	久	夫	全国健康保健協会北海道支部支部長
	岸		不	盡 彌	東日本学園北海道医療大学理事
	齋	藤	芳	子	北海道健康をまもる地域団体連合会会長
	竹	内	伸	仁	北海道薬剤師会会長
	谷	本	辰	美	北海道町村会常務理事
	傳	法	公	磨	藤女子大学名誉教授
〃	三	宅	浩	次	札幌医科大学名誉教授

3-6 公益財団法人北海道対がん協会の沿革概要

昭 和	4	年	癌の原因、早期診断及び治療の研究を行うと同時に最善の治療を実施し、且つ公衆に癌の知識を普及するため、昭和4年9月13日財団法人北海道対癌協会を創立する。事務所は北海道帝国大学比較病理学教室に置く。
昭 和	21	年	がん以外の循環器系疾患の予防事業を加え名称を改め財団法人北海道保生協会とする。
昭 和	34	年	日本対ガン協会の設立（昭和33年）との関連およびがん死亡数の急激な増加に対処し「がん」対策の飛躍的推進を図るため、設立当初の本旨にもどり財団法人北海道対がん協会に名称を復元するとともに事務所を北海道衛生部に移す。
昭 和	37	年	日本対ガン協会北海道支部を兼ねる。
昭 和	38	年	日本対ガン協会より胃検診車の配置を受け胃集団検診を開始する。同時に専任職員を置き事務所を独立する。
昭 和	41	年	子宮がん検診車による婦人科検診を開始する。
昭 和	44	年	北海道全域におよぶ対がん活動の拠点として検診センターを建設する。同時に施設及び人員を充実し検診事業を拡大強化する。
昭 和	46	年	日本対ガン協会と本協会の主催でがん征圧全国大会を札幌市民会館で開催する。
昭 和	48	年	集団検診数の増加にともない検診センターを増改築し機能の強化をはかる。 乳房検診用X線装置を整備し乳房検診事業を開始する。
昭 和	51	年	肺がん検診用X線撮影装置を整備し主としてハイリスクグループを対象に肺がん検診を開始する。
昭 和	52	年	消化管検診用X線撮影装置を新設し腸管検診を開始する。
昭 和	53	年	「広域積雪寒冷の悪条件下におけるがん対策に創意工夫をこらし、みるべき成果を挙げた」として保健文化賞及び厚生大臣表彰を受賞する。 乳がん検診車「すずらん号」を整備し活動を開始する。

昭	和	54	年	「がんの予防及び治療の普及啓発に努力を重ね、本道の発展に偉大な業績を挙げた」として北海道開発功労賞を受賞する。 本会創立50周年記念式典及び記念行事を実施する。
昭	和	56	年	道北・道東北の拠点となる旭川がん検診センターが業務を開始する。 旭川市において東日本ガン対策連絡協議会を開催する。
昭	和	57	年	検診センター内に細胞診センターを併設する。
昭	和	58	年	札幌市と対がん協会とのがん対策連絡会が発足する。
昭	和	59	年	胃がん検診数の増加にともないデータ処理の迅速正確性をはかるためコンピュータを導入する。
昭	和	60	年	道東南の拠点となる釧路がん検診センターが業務を開始する。
昭	和	61	年	わが国で、最初の対癌協会として昭和4年創立以来、半世紀にわたる歴史を刻んだ「北海道対がん協会50年史」を発行する。 検診車による肺がん集団検診を開始する。
昭	和	62	年	大腸がん検診を開始する。
平	成	元	年	本会創立60周年記念式典及び記念行事を実施する。
平	成	2	年	釧路がん検診センター5周年記念行事を実施する。 がん征圧全国大会が北海道厚生年金会館で開催され、全国から3,000余名が参加する。
平	成	3	年	旭川がん検診センター10周年記念行事を実施する。 北海道の委託を受けてがん登録評価事業を開始する。
平	成	4	年	旭川がん検診センター待合室、婦人科診療室などの増改築をする。 がん予防学級開講20周年を記念し講演会を開催する。
平	成	5	年	昭和38年11月に検診車による胃がん検診を開始して30年「しらかば記念号」を発行する。
平	成	6	年	「がん電話相談」を開設して10年。相談件数は延べ4,964人に達した。
平	成	7	年	釧路がん検診センター10周年記念行事を実施する。

平	成	8	年	「集団検診などによるがん早期発見・治療への成果と予防知識の普及」活動に対し、道新文化賞第50回記念賞を受賞する。
平	成	10	年	札幌がん検診センターを東区に移転新築し、業務を開始する。
平	成	11	年	本会創立70周年記念式典及び記念行事を実施する。
平	成	13	年	旭川がん検診センター20周年記念行事を実施する。
平	成	19	年	道内初のヘリカルCT肺がん検診車を導入する。 個人情報保護法の施行に伴い施設プライバシーマークを取得する。
平	成	21	年	本会創立80周年を迎え、第42回がん予防道民大会を80周年記念大会として音更町で開催。 沿革と事業をまとめた創立80周年記念誌を発刊した。
平	成	23	年	旭川がん検診センター30周年記念行事及びがん予防学級開校30周年記念講演会を実施する。 道内初の最新式フラットパネルデジタルマンモグラフィ車を導入する。
平	成	24	年	公益法人制度改革に基づく公益財団法人として北海道知事から認定を受け、名称を「公益財団法人北海道対がん協会」へと変更する。
平	成	25	年	9月13日、さっぽろ芸術文化の館（ニトリ文化ホール）にて「2013年度がん征圧全国大会」を開催し、大会史上最多の約2,000名の参加を得て、盛会裡に終了した。
平	成	27	年	釧路がん検診センター30周年記念行事を実施する。 創立30周年記念誌「30年のあゆみ」を発刊した。 2月9日、北海道が中心となり、道内企業をはじめ各種団体や道民の皆様などからの募金や寄付を財源とした「北海道がん対策基金」を設立。 当協会が事務局を担う。
平	成	29	年	札幌がん検診センター受診者用駐車場を50台から80台に拡張する。

4 個人情報保護方針

これからの情報社会において、個人情報の保護は非常に重要な課題です。北海道対がん協会は、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考え、個人情報保護に関する方針を以下の通り定め、役員、職員及び関係スタッフに周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。

1. 個人情報の取得・利用・提供

検（健）診の内容と規模を考慮して、個人情報を保護・管理する体制を確立し、適切な個人情報の取得、利用及び提供に関する内部規程を定め、これを遵守します。

2. 個人情報の安全対策と教育

当会は、個人情報の重要性について、職員に対する教育啓発活動を実施するほか、個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏洩などに関する万全の予防措置を講ずることにより、個人情報の安全・正確性の確保を図り、万一の問題発生時には速やかな是正対策を実施します。

3. 個人情報に関する法令・規範の遵守

個人情報に関する日本の法令及びその他の規範を遵守します。

4. 継続的改善

当会は、以上の活動を実施するに当たり、個人情報保護を適切に維持するための規程を策定・運用し、運用状況について監査し、これを継続的に見直し改善してゆきます。

5. 個人情報に関するお問い合わせ

個人情報に関するお問い合わせは、下記の相談窓口にてお受けいたします。

公益財団法人 北海道対がん協会

個人情報保護相談窓口（総務課長）

電話011-748-5511（平日午前9時～午後5時）

E-mail office@hokkaido-taigan.jp

平成29年4月1日 制定

公益財団法人 北海道対がん協会

会 長 長 瀬 清

5 検診センターにおける各種検診日

札幌がん検診センター

(第2・第4・第5土曜日休診)(日・祝日休み)

	が ん 検 診					その他の検診
	胃	子 宮	乳	肺	大 腸	
検診日	毎 日	毎 日	毎 日	毎 日	毎 日	・胸部CT検査 ・前立腺がん検診 ・各がん検診の精密検査※ ・特定健康診査 ・定期健康診断 ・人間ドック ・生活習慣病予防健診 ・骨密度測定 ・内臓脂肪CT検査 ・腹部超音波検査
受付 時 間	月～土 8:30～11:00	月～土 8:30～11:00	月～土 8:30～11:00	月～土 8:30～11:00	月～土 8:30～11:00	
	月～金 13:00～15:00	月～金 13:00～14:00	月～金 13:00～14:00	月～金 13:00～15:00	月～金 13:00～15:00	

札幌がん検診センター 〒065-0026
札幌市東区北26条東14丁目1番15号
電話(予約)(011) 748-5522

旭川がん検診センター

(第2・第4・第5土曜日休診)(日・祝日休み)

	が ん 検 診					その他の検診
	胃	子 宮	乳	肺	大 腸	
検診日	毎 日	毎 日	毎 日	毎 日	毎 日	・胸部肺CT検査 ・前立腺がん検診 ・各がん検診の精密検査※ ・特定健康診査 ・定期健康診断 ・人間ドック ・生活習慣病予防健診 ・骨密度測定
受付 時 間	8:30～11:00	月～土 8:30～11:00	月～土 8:30～11:00	月～土 8:30～11:00	月～土 8:30～11:00	
		月～金 13:00～14:00	月～金 13:00～14:00	月～金 13:00～15:00	月～金 13:00～15:00	

旭川がん検診センター 〒071-8122
旭川市末広東2条6丁目6番10号
電話(代)(0166) 53-7111
予約専用フリーダイヤル 0120-972-489

釧路がん検診センター

(第2・第4・第5土曜日休診)(日・祝日休み)

	が ん 検 診					その他の検診
	胃	子 宮	乳	肺	大 腸	
検診日	毎 日	月・水・木	月～木	毎 日	毎 日	・前立腺がん検診 ・各がん検診の精密検査※ ・特定健康診査 ・定期健康診断 ・人間ドック ・生活習慣病予防健診 ・骨密度測定
受付 時 間	9:00～11:00	月 9:00～10:00	9:00～13:00	月～土 9:00～11:00	月～金 9:00～16:00	
		水・木 9:00～13:00		月～金 13:00～15:00	土 9:00～11:00	

釧路がん検診センター 〒085-0058
釧路市愛国東2丁目3番1号
電話(代)(0154) 37-3370

※受診の際は、ご希望の日時と科目を、お電話でご予約下さい。

※各がん検診の精密検査はセンターによって実施している科目が異なります。詳細はお問い合わせください。

6 北海道がん対策基金のご案内



北海道がん対策基金への 募金をお願いします！

～がんに負けない社会の実現を目指して～



「がん」は、本道においても死因の第1位を占め、道民の生命や健康への脅威であり、がんの克服は多くの道民の願いでもあります。

北海道では、「がんになっても安心して暮らせる社会づくり」を目標に、全ての道民が一体となってがん患者やその家族の方々を社会全体で支える仕組みとして、平成27年2月、北海道が中心となり、道内企業をはじめ各種団体や道民の皆様などからの募金や寄付を財源とした基金を設立いたしました。

今後、本基金をもとに、皆様とともに「がんに負けない社会」の実現を目指して様々な取組みを進めてまいりますので、継続的なご支援・ご協力をお願い申し上げます。

募金の方法 ※この募金は法人税、所得税、個人住民税の優遇措置があります。

- 口座への振り込みによる募金
- 協賛商品の購入による募金
- イベント会場での募金
- 直接寄付・募金

振込口座 次の銀行口座で受け付けております。

北洋銀行 札幌南支店
(口座番号)普通 4591650
(口座名)北海道がん対策基金

北海道銀行 札幌駅前支店
(口座番号)普通1877125
(口座名)北海道がん対策基金

ゆうちょ銀行
(口座番号)02740-9-102016
(口座名)北海道がん対策基金

※北洋銀行、北海道銀行については、本・支店に備え付けの振込用紙により窓口で振り込んだ場合及び現金自動預け払い機(ATM)で振り込んだ場合、振込手数料が無料となります。

クレジットカード募金 当協会ホームページからご利用いただけます。<http://hokkaido-taigan.jp/kikin07/>

基金のしくみ



♥ 北海道がん対策基金に寄せられた善意は、こんな事業に役立てられます

◎がん患者・家族への支援

患者やご家族の方々の身体的、経済的な負担を軽減するための療養生活や就労の相談のほか、ピアサポーターの派遣等に活用

※ピアサポーターとは…がん患者や家族を仲間（ピア）として支援するがん患者



◎小児がん患者・がん教育への支援

小児がんの子供への学習支援や家族との交流、幼少期からのがんの知識を深めるためのがん専門医を学校に派遣するがん教育等に活用



◎情報提供・普及啓発

がんの知識や理解を深めるための様々なイベントの開催や啓発素材の作成、地域の療養施設の情報提供等に活用



◎がん検診の受診促進、予防対策

がんになるリスクを減らすため、日頃の生活習慣の改善やがん検診受診の必要性を理解していただくためのイベントの開催や広報活動等に活用



募金状況(H27.2月～H29.9月末)

区 分	金 額
個 人	4,312,692 円
企 業 ・ 団 体 等	8,513,094 円
自 販 機	2,882,201 円
常 設 募 金 箱	211,184 円
臨 時 募 金 箱	210,928 円
これまでの募金総額	16,130,099 円

基金支援自販機設置状況（H29.9月末）

北海道キリンビバレッジ株式会社

所 在 地	設 置 場 所	台数	設置月日
旭川市	株式会社モロオ 旭川	1	H27.6.1
旭川市	旭川がん検診センター	1	H28.5.31
岩内町	ワタキューセイモア梯岩内協会病院	1	H29.6.27
岩見沢市	株式会社モロオ 岩見沢	1	H27.6.1
恵庭市	山崎製パン株式会社 札幌工場	1	H27.5.29
江別市	江別保健所	1	H28.6.2
小樽市	株式会社モロオ 小樽	1	H27.6.1
帯広市	株式会社モロオ 帯広	1	H27.6.1
北見市	株式会社モロオ 北見	1	H27.6.1
北見市	北見保健所	1	H28.6.3
釧路市	株式会社モロオ 釧路	1	H27.6.1
釧路市	釧路がん検診センター	1	H28.5.26
札幌市	独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター	1	H27.2.10
札幌市	公益財団法人 北海道対がん協会	1	H27.2.10
札幌市	一般社団法人 北海道医師会	1	H27.2.10
札幌市	リヴィノールシステム株式会社(動医協西区ひだまりクリニック)	1	H27.4.3
札幌市	次世代ゴルフフィットネス AQUA札幌	1	H27.5.1
札幌市	日本データサービス株式会社	1	H27.5.1
札幌市	ノルデン薬局北栄店	1	H27.5.29
札幌市	株式会社モロオ	8	H27.5.28～
札幌市	(株)ほくやく・竹山ホールディングス	4	H27.7.22～
札幌市	徳州会 札幌病院	1	H27.7.31
札幌市	株式会社 マルベリリー (3台)	3	H27.8.31～
札幌市	社会医療法人北楡会 札幌北楡病院	1	H27.10.5
札幌市	(有)タック・コーポレーション(美園7・4メディカル)	1	H27.11.25
札幌市	株式会社ムトウ	1	H27.11.26
札幌市	一般社団法人 北海道歯科医師会	1	H28.1.7
札幌市	公益財団法人 北海道対がん協会 1F	1	H28.1.7
札幌市	北海道庁本庁舎13F	1	H28.2.8
札幌市	手稲溪仁会病院	1	H28.2.25
札幌市	岩田地崎・岩倉・丸竹・竹田特定建設工事共同企業体	1	H28.4.28
札幌市	北海道キリンビバレッジ(株)	1	H28.12.1
札幌市	トランスコスモス(株)	2	H29.4.28～
札幌市	竹中工務店(北海道がんセンター工事現場)	1	H29.7.5
札幌市	五月会 小笠原クリニック	1	H29.7.7
新ひだか町	静内保健所	1	H28.6.2
滝川市	株式会社モロオ 滝川	1	H27.6.1
滝川市	株式会社北谷組 滝川事務所	2	H29.5.30～
滝川市	滝川保健所	1	H28.6.8
当別町	エームサービス(株)(北海道医療大学)	1	H29.5.1
苫小牧市	株式会社モロオ 苫小牧	1	H27.6.1
苫小牧市	苫小牧保健所	1	H28.6.2
中標津町	中標津保健所	1	H28.6.7
名寄市	名寄保健所	1	H28.6.2
根室市	根室保健所	1	H28.6.6
函館市	株式会社モロオ 函館	1	H27.6.1
深川市	深川保健所	1	H28.6.3
富良野市	富良野保健所	1	H28.6.1
北斗市	太平洋セメント	1	H27.9.15
室蘭市	株式会社モロオ 室蘭	1	H27.6.1
室蘭市	日鋼記念病院	1	H27.8.24

室蘭市	室蘭保健センター	1	H27.8.29
室蘭市	パルス薬局東室蘭店	1	H27.11.27
室蘭市	室蘭リゾート開発(株)(室蘭市役所)	1	H29.4.20
室蘭市	室蘭リゾート開発(株)(市立室蘭総合病院)	1	H29.8.28
紋別市	紋別保健所	1	H28.9.5
八雲町	八雲保健所	1	H28.6.9
	合 計	71台	

サントリービバレッジサービス株式会社

所 在 地	設 置 場 所	台数	設置年月日
札幌市	社会医療法人北楡会 札幌北楡病院	4	H27.6.18
札幌市	独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター	1	H28.3.26
札幌市	(株)ほくやく・竹山ホールディングス	2	H28.6.19
札幌市	KKR札幌医療センター	7	H29.4.1
札幌市	社会福祉法人 愛全会	12	H29.7.1
札幌市	竹中工務店(工事現場)	1	H29.7.1
洞爺湖町	洞爺湖温泉病院	2	H28.10.1
	合 計	29台	

北海道コカ・コーラボトリング株式会社

所 在 地	設 置 場 所	台数	設置年月日
帯広市	帯広協会病院	1	H28.7.1
札幌市	(株)ほくやく・竹山ホールディングス	5	H28.5.1～
札幌市	一般財団法人 弘仁会	1	H28.6.16
札幌市	一般社団法人 北海道歯科医師会	1	H28.7.29
札幌市	有限会社 富実正	1	H28.8.4
札幌市	株式会社保健科学研究所	1	H28.10.19
札幌市	株式会社HBA	1	H29.4.3
札幌市	社会福祉法人 愛全会	13	H29.6.29
長沼町	東陽上村アドバンス株式会社	2	H28.5.1～
函館市	トヨタ部品北海道共販 函館支社	1	H29.5.31
室蘭市	大川原脳神経外科病院	1	H28.4.25
	非公開	1	H28.6.28
	合 計	29台	

株式会社ジャパンビバレッジホールディングス

所 在 地	設 置 場 所	台数	設置年月日
札幌市	(株)ほくやく・竹山ホールディングス	3	H28.5.1
函館市	市立函館病院	1	H28.4.1
	合 計	4台	

ネオス株式会社

所 在 地	設 置 場 所	台数	設置年月日
札幌市	公益財団法人 北海道対がん協会	2	H28.11.22
	合 計	2台	

PSビバレッジ

所 在 地	設 置 場 所	台数	設置年月日
江別市	東陽上村アドバンス株式会社	1	H29.1.1
	合 計	1台	

(株)大沼

所 在 地	設 置 場 所	台数	設置年月日
札幌市	(株)ほくやく・竹山ホールディングス	5	H29.1.1
	合 計	5台	

常設募金箱設置状況（H29.9月末）

NO	区 分	病 院 名	所 在 地
1	拠点病院	北海道がんセンター	札幌市
2	〃	手稲溪仁会病院	札幌市
3	〃	JA札幌厚生病院	札幌市
4	〃	恵佑会札幌病院	札幌市
5	〃	砂川市立病院	砂川市
6	〃	日鋼記念病院	室蘭市
7	〃	王子総合病院	苫小牧市
8	〃	市立旭川病院	旭川市
9	〃	北見赤十字病院	北見市
10	指定病院	函館中央病院	函館市
11	〃	札幌北楡病院	札幌市
12	〃	札幌共立五輪橋病院	札幌市
13	〃	北海道医療センター	札幌市
14	〃	深川市立病院	深川市
15	〃	市立室蘭総合病院	室蘭市
16	〃	製鉄記念室蘭病院	室蘭市
17	〃	伊達赤十字病院	伊達市
18	〃	苫小牧市立病院	苫小牧市
19	〃	旭川赤十字病院	旭川市
20	一般病院	札幌秀友会病院	札幌市
21	〃	道東勤医協釧路協立病院	釧路市
22	薬局	ふよう調剤薬局	苫小牧市
23	行政	北海道保健福祉部地域保健課	札幌市
24	行政	厚岸町	厚岸町
25	〃	福島町	福島町
26	法人	(株)セイショウ	札幌市
27	〃	(公財)北海道対がん協会(事務局)	札幌市
28	〃	(公財)北海道対がん協会札幌がん検診センター	札幌市
29	〃	〃 旭川がん検診センター	旭川市
30	〃	〃 釧路がん検診センター	釧路市

お問い合わせ

○(管理・運営)公益財団法人北海道対がん協会 Tel(011)-748-5511

○北海道保健福祉部健康安全局地域保健課がん対策グループ Tel(011)-204-5117

北海道のホームページ

http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kth/kak/gan_fund_toppage.htm

7 がん征圧賛助会へのご入会案内

北海道対がん協会は、昭和4年に全国で初めて創立された対がん組織です。その使命には、がんに関する正しい知識の普及と早期発見のための検診事業の推進、がんの研究等があります。

現在、当協会が行っている検診から発見されるがんは、8割以上が治し得るがんです。そのことから、がん検診事業は多くの人命を救う事業と言えます。

北海道においても、がんは年々増え続け、今や2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで亡くなる時代となりました。

当協会では、がん征圧運動を広げるため、賛助会制度を設けております。

ご入会いただいた会員の皆さまから寄せられる会費は、がんに関する正しい知識を知ってもらうための教材を作成することに使用するほか、がん検診機器の整備、がん研究の援助などに使わせていただきます。

がん征圧事業の拡大強化のため、皆さまのあたたかいご支援をお願い申し上げます。

1. 賛助会員（継続して会費を納めて頂き、支援して下さる方）

個人会員 年1口 1,000円

（3口以上で税控除対象）

法人会員 年1口 10,000円

（口数に制限はありません）

2. 特別会員（寄付金を寄せられた方）

金額の多少にかかわらずお受けしております。

多くは香典返しに替えてのご寄附ですが、快気祝、還暦、古希など個人のお祝いや、チャリティイベントにちなんだご寄附などが寄せられております。

※賛助会費は、法人税、所得税、個人住民税の優遇措置があります。寄附金の税控除の手続きには領収書のみで対応できます。必要な場合は、各がん検診センターへお問い合わせください。

3. ご入会後は

がん征圧賛助会員として登録し、パンフレットや当協会の機関誌「しらかば」（年3回発行）等、がんに関する印刷物を作成ごとにお送りいたします。

4. お申し込み・お問い合わせ

詳細は最寄りのがん検診センターへご連絡ください。

公益財団法人北海道対がん協会 札幌がん検診センター 011-748-5511

旭川がん検診センター 0166-53-7111

釧路がん検診センター 0154-37-3370

日本人のためのがん予防法

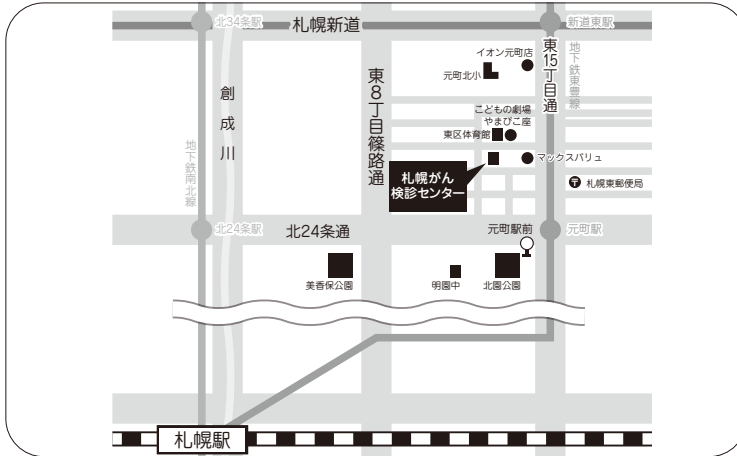
～現状において日本人に推奨できる科学的根拠に基づくがん予防法～

喫	煙	タバコを吸わない。他人のタバコの煙を避ける。
飲	酒	飲むなら、節度ある飲酒をする。
食	事	食事は偏らずバランスよくとる。
		*塩蔵食品、食塩の摂取は最小限にする。
		*野菜や果物不足にならない。
		*飲食物を熱い状態でとらない。
身体活動		日常生活を活動的に。
体形		適正な範囲に維持する。
感染		肝炎ウイルス感染検査と適切な措置を。機会があればピロリ菌検査を。

国立がん研究センターがん対策情報センター
「日本人のためのがん予防法」より抜粋



各がん検診センターの所在地



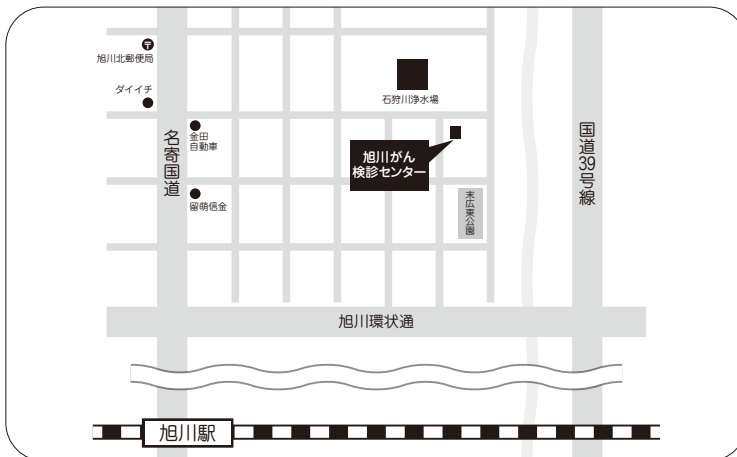
〒065-0026 札幌市東区北26条東14丁目1-15

予約専用Tel 011-748-5522

札幌がん検診センター

【アクセス】

- 地下鉄東豊線元町駅下車
(2番出口) 徒歩7分
- 中央バス(東70)元町駅前下車
徒歩7分



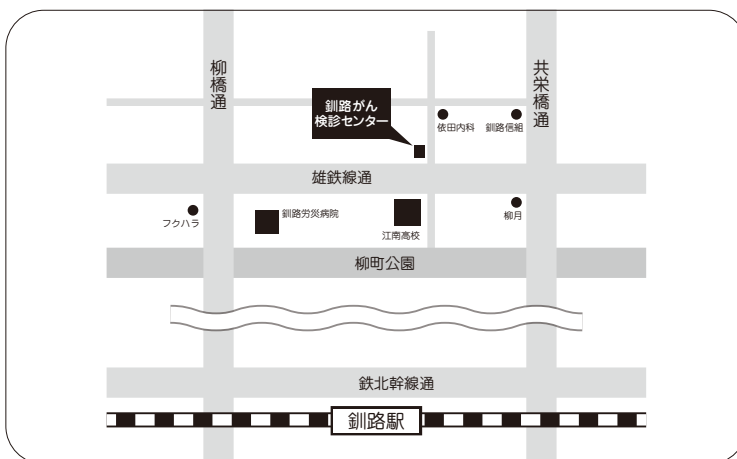
〒071-8122 旭川市末広東2条6丁目6-10

予約専用Tel 0120-972-489

旭川がん検診センター

【アクセス】

- 道北バス
「末広1条7丁目」下車 徒歩10分
(2、5、6、7、12、14、15、32系統) ほか
「末広2条7丁目」下車 徒歩4分
(103、106系統)



〒085-0058 釧路市愛国東2丁目3-1

Tel 0154-37-3370

釧路がん検診センター

【アクセス】

- くしろバス
○美原線(63番)
「癌検診センター」下車 徒歩1分
- イオン昭和線(77番)
「愛国東2丁目」下車 徒歩1分
- 南北線(55番)
「愛国」下車 徒歩3分
- イオン釧路線(101番)
「愛国」下車 徒歩3分

平成 30 年 2 月 28 日

編集発行

公益財団法人 北海道対がん協会

札幌市東区北 26 条東 14 丁目
電話代表（011）748-5511